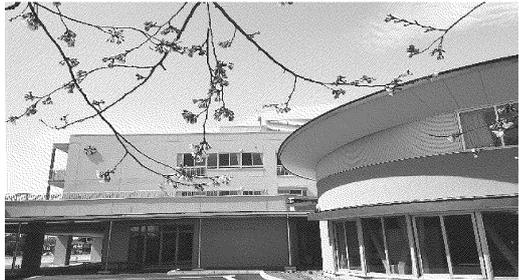


2 学校紹介

(1) 小学校

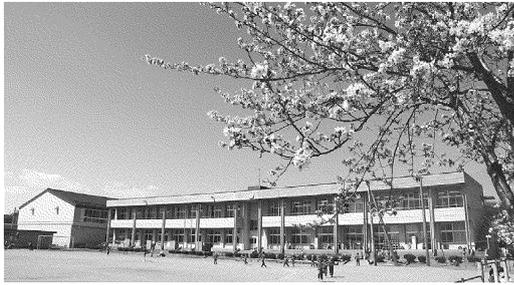
<h1>一関小学校</h1>	〒021-0836 一関市宇鳴神33-1 TEL : 23-5016 FAX : 23-5615 E-mail : kansho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：菅原正樹 副校長：柳原和歌子 教職員数：49名 児童数：600名 学級数：23
	<p>教育目標 「豊かな心をもち、たくましく生きる、心身ともに健康な子ども」 (1) よく学び 工夫する子ども (2) 健康で 明るい子ども (3) きまりを守り 助け合う子ども (4) 責任をもち やりぬく子ども</p> <p>研究主題 「主体的に学ぶ児童を育てる学習指導のあり方」 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学力向上 学びフェストとその評価を生かした指導、Q Uを活用した望ましい学級集団の育成、「ことばの時間」「陰山メソッド」を活用した基礎力の向上 2. 生徒指導の充実 生徒指導「三機能」を取り入れた学級経営と児童会活動の取組、異年齢集団での活動を通じた社会性や望ましい人間関係の育成 3. 特別支援教育の充実 ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営や教科指導の推進、教育機関との効果的な情報共有と個に即した対応 4. 健全育成を図るPTA活動 児童の健全育成に向け、保護者、教師が一体となった教育活動の推進と実態に応じた会則の改訂 5. 地域連携 学校運営支援協議会と連携した学校運営の改善と児童の健全育成学習ボランティア、学校支援地域本部事業の活用と一斉おはようDayの実施 	
<p>沿革</p> <p>明治6年7月1日、村藩校であった教成館の建物及び地所を使用して開校し、一関村立一関小学校となり、普通教育を始めた。以来、一関尋常小学校、一関尋常高等小学校、一関国民小学校、一関小学校と校名を改めてきたが、昭和40年4月1日一関市立孤禅寺小学校と統合し、昭和43年4月1日、敷地を改め現在の校舎に移転した。昭和48年10月21日には、創立記念事業として100周年記念式典が挙行され、記念事業として記念庭園造成や100周年誌編集等の事業を実施した。その後、平成2年度から4カ年にわたり大規模改修が行われ、平成6年3月に竣工した。平成19年度には耐震補強工事が行われた。</p> <p>平成25年7月5日には、創立140周年記念行事として「いわてフィルハーモニーオーケストラ」と演奏会を開催した。平成27年度、給食がセンター化され、学校プールが完成した。平成30年4月に駐車場、5月に新しい遊具が完成した。令和5年創立150周年記念式典事業として、5月航空写真撮影、7月学校一般公開・全校親子レク、10月仙台フィルハーモニーオーケストラコンサートと記念式典を行い、陸上ユニフォームを新調した。令和6年「ことばの教室」巡回訪問開始。</p>		

<h1>山目小学校</h1>	〒021-0024 一関市幸町2-47 TEL : 23-2257 FAX : 23-7627 E-mail : yamasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：菊池正人 副校長：馬場直幸 教職員数：47名 児童数：443名 学級数：20
	<p>教育目標</p> <p>◎たくましく現代を生き、未来を創造する人間の育成</p> <p>○ゆたかな心で、助け合う子ども（なかよく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく元気にあいさつする子 ・責任をもって行動する子 ・よさを認め合い助け合う子 <p>○よく学び、よく考える子ども（かしこく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組む子 ・よく見、よく聴き、判断する子 ・課題解決に向かい、続ける子 <p>○健康で、ねばり強い子ども（たくましく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体をきたえる子 ・自分で健康と安全を守る子 ・目標に向かって努力する子 <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童の学習状況を把握し、ICT機器活用、TT・家庭学習強化週間の取り組みなどを通して、基礎・基本の確実な定着を目指し、指導方法や指導体制の改善に努めている。 2. 開放的な空間を利用しながら、学年集会や異年齢集団による縦割り活動、ALTとの協力指導による国際理解教育などの活動を通して、他者とのかかわり方や望ましい人間関係の育成を経営の重点としてとらえている。 3. ペースランニング・縄跳び・鉄棒・ボール投げなどの体力づくりの仕組みを整えたり、取り組み期間を設定したりすることにより、意欲を高めながら体力面の向上を図っている。 	
<p>沿革</p> <p>明治7年、蘭梅山麓に開校、公立山目小学校と称す。明治28年、山目尋常高等小学校と改称。昭和22年、学制改革により一関市立山目小学校と改称する。昭和32年、養護学級を設置。昭和48年、ことばの教室を設置。昭和50年創立100周年式典挙行。同年、一関市立笹谷小学校と統合。昭和52年から平成5年までNHK全国音楽コンクールに連続出場。昭和63年、幼児ことばの教室開設。昭和62年から平成9年まで県南マーチングフェスティバルに連続出場。平成16年創立130周年記念式典挙行。平成20年度LD等通級指導教室開設。平成20年度体育館新築。平成26年北校舎解体。同年12月新校舎完成。平成28年7月、新プール完成。同年12月新校舎落成式挙行。令和4年11月、一関市教委指定学校公開研究会開催。令和6年度創立150周年。</p>		

赤荻小学校

〒021-0041
一関市赤荻字桜町181-1
TEL : 25-2130 FAX : 25-4296
E-mail : akosho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：小笠原 浩
副校長：菊池 睦子
教職員数：19名
児童数：262名 学級数：14



沿革

明治 5年 1月 公立赤荻村小学校を赤荻荻野に置く
6年 7月 公立赤荻小学校創立
20年 赤荻簡易小学校と改称
22年 2月 赤荻尋常小学校と改称（4年制）
36年 4月 赤荻尋常高等小学校と改称
41年 4月 赤荻尋常小学校（6年制）と改称
大正 3年 校歌を制定
昭和16年 4月 赤荻国民学校と改称
21年 4月 山目村立赤荻小学校と改称
28年 4月 校章、校旗制定
42年11月 完全給食開始
47年10月 創立100周年記念式典
61年 7月 新校舎竣工
平成 6年 2月 創立120周年記念式典並びに祝賀会
13年 9月 県教委、市教委研究指定学校公開「総合的な学習の時間」
19年 4月 特別支援学級「そらいろ学級」設置
20年 4月 特別支援学級「にじいろ学級」設置
27年 7月 「赤小図書ボランティア」創設
30年12月 県学校安全優良校受賞
令和元年 8月 普通教室エアコン設置
2年 2月 県書写書道作品コンクール学校賞受賞
12月 防災物置設置、トイレ改修
3年 7月 タブレット端末配備
4年 2月 新体操着移行開始
4年10月 校庭整備（暗渠）工事完了
5年 3月 体育館地震被害修繕工事完了
5年 7月 創立150周年

教育目標

校訓 「明るく、かしこく、たくましく」を基調に、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図る。

- ・明るく おもいやりのある子ども
- ・自ら学ぶ かしこい子ども
- ・根気強く たくましい子ども

研究主題

自ら考え、表現し、学び合う児童の育成
—ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を通して—

研究内容

1. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業づくり
2. 表現力を高めるための日常実践
3. 効果的なICT活用のための教師のスキル向上

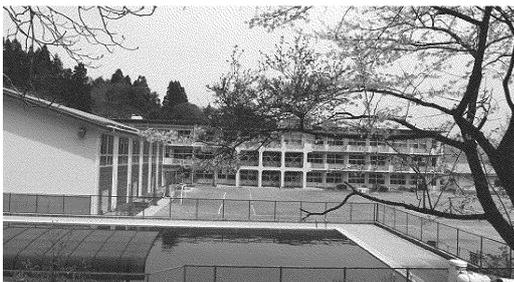
特色ある教育活動

1. 人との関係を築く基になる「あいさつ」の推進
児童会活動を主として、あいさつ運動に取り組んでいます。家庭や地域と協力して、いつでも、自分から進んで、さわやかにあいさつができる子どもを目指しています。
2. 新たな「表現活動」の推進
昨年度、伝承芸能「鶏舞」と伝統の「金管」活動の在り方を見直しました。「鶏舞」は、運動会での披露で活動の締めくくりを行いました。「金管」活動は、新たに「特設金管クラブ」を立ち上げ、地域の指導者の下で、保護者会が主体となり新たな活動をスタートしています。「鶏舞」「金管」での活動で培ってきた表現力をベースに、表現朝会において学年ごとに授業や「言海」で学んだことを発表し、感想を交流し合うなど、新たな方法や新たな場で「表現すること」を楽しむ活動を通して、子どもたちの表現力を育てていきます。
3. 地域連携を生かした教育の推進
スクールガード、赤荻地区防犯交通安全協議会、PTA安全委員会、区長会と連携して安全教育、あいさつ運動を推進しています。また、区長会の協力を得て校報学区内回覧を実施しています。今年度から学校運営支援協議会を立ち上げ、さらに地域の学校として連携を深めていきます。

中里小学校

〒021-0014
一関市蘭梅町7-1
TEL : 23-2231 FAX : 23-7919
E-mail : nakasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐藤 弘幸
副校長：千田 祐子
教職員数：14名
児童数：179名 学級数：8



沿革

明治 6. 7. 1 公立中里小学校と称し民家をもって校舎とする
20. 4. 1 中里尋常小学校と改称する
昭和 7. 5. 14 中里村中里字太平山5-1に本校改築移転する
22. 4. 1 一関市立中里小学校と改称する
48. 9. 20 創立100周年記念式、祝典
平成10. 1. 28 全日本交通安全協会全国表彰
12. 3. 30 プール改修工事完了
14. 9. 10 大規模改修工事（水洗化）完了
17. 8. 10 学校評議員設置
18. 1. 11 岩手県学校歯科保健優良校表彰
21. 3. 2 校舎耐震補強及び防火設備等改修完了
23. 3. 11 東日本大震災により体育館被災
25. 2. 20 新体育館建設工事完了
25. 11. 18 岩手県交通安全功労者表彰
30. 1. 31 校旗新調
令和 1. 1. 31 全教室エアコン設置
2. 10. 6 手洗い自動水洗化
6. 11. 1 創立150周年記念「感謝の会」

教育目標

◎「人間性豊かで、自ら学び、心身ともにたくましい子どもの育成」

- 心豊かで、助けあう子ども（徳）
- よく考え、学びあう子ども（知）
- ねばり強く、鍛えあう子ども（体）

研究主題

主体的に学ぶ児童の育成
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを通して～

特色ある教育活動

自主性・自発性を育てる教育活動の創造

- ① あいさつと返事の徹底
- ② 人間関係づくりの推進
- ③ 生徒指導・道徳教育の充実
- ④ 地域を大切にする心の育成

主体的・対話的で深い学びによる表現力の育成

- ① 授業改善と指導の工夫
- ② 学習内容（基礎基本）の定着
- ③ 読書活動の推進
- ④ 特別支援教育の充実

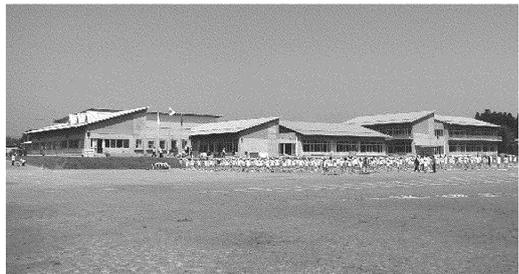
自ら進んで健康・体力づくりに取り組む態度の育成

- ① 自ら健康づくりに励む態度の育成
- ② 進んで体力づくりに取り組む態度の育成
- ③ 望ましい学習環境づくりに励む態度の育成

<h1>滝沢小学校</h1>	〒029-0132 一関市滝沢字寺下46 TEL : 23-4090 FAX : 23-5229 E-mail : takisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：佐藤 紀夫 副校長：白川 太一 教職員数：17名 児童数：136名 学級数：8
		教育目標 1. 基本目標 未来に向かって、知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む子どもの育成 2. 具体目標 確かな学力（知力）……わかるまで考える子 豊かな人間性（心情）……思いやりのある子 健やかな心身（体力）……元気で活動する子
沿革	研究主題 「主体的に学び、共に高め合う児童の育成」 ～学びをつなげるための発問の工夫を通して～	
明治 6. 7 寺院長寿寺に滝沢小学校として創設 16. 6 公立滝沢小学校と称す 29. 6 校舎を信託（寺下2、横5間、縦15間） 昭和27.10 真滝中学校独立新校舎に移転 平成 4. 8 現在地に校舎新築供用開始 4.12 運動場供用開始 5. 2 校舎・体育館落成式典挙行 10. 6 特別養護ホーム（明生園）との「体験学習」開始 13. 4 「豊かな心を育む教育」推進事業で牧沢神楽の伝承活動開始 22. 7 「小さな親切実行章」受賞 25.10 道徳教育学校公開研究会開催 31. 4 学校敷地内に滝沢児童クラブ開設 令和元.10 空調設備工事竣工 2. 4 学校支援地域本部開始 5.11 滝沢小学校創立150周年記念講演会	特色ある教育活動 1. 重点 ・朝学習…日課表の工夫による学力向上に向けての取り組み ・教育相談の充実…ハイパーQ Uの活用 ・火・木曜 5校時前…ことばの時間・読書タイム ・滝小ハートフルウィーク（毎月第2週）…復興教育の充実 ・健やかな心身づくり…60プラスの取り組み 2. 地域との連携を図る教育活動 ・学区探検（1・2年生） ・里孫交流学習（特別養護老人ホームとの交流 4年生） ・ふるさと学習（地域の祖父母との交流 全校児童） ・鶏舞伝承活動（4年生以上） ・稲作体験（5年生） ・滝小昔の道具資料館の活用（2・3・5年生） ・滝小学習や体験学習のボランティアによる支援活動	

<h1>南小学校</h1>	〒021-0863 一関市南町3-3 TEL : 23-3218 FAX : 23-7942 E-mail : nansho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：山村 淳 副校長：梁瀬 太志 教職員数：27名 児童数：322名 学級数：15
		『吹け！南の風 豊かな未来へ』のスローガン達成に向けて 教育目標 たくましく生き、郷土と国際社会の未来を創造できる、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成をめざす。 1. 明るく思いやりのある子ども（あかるく） 2. 進んで学びよく考える子ども（かしこく） 3. 強い体で実行力のある子ども（たくましく）
沿革	研究主題 互いに認め合い、よりよい学級生活を築こうとする児童の育成 ～よりよい合意形成に向かう話し合い活動の工夫～	
本校の前身は明治6年創立の真柴小学校である。校舎の老朽化と戦後の一関小学校児童の急増を考慮し、昭和32年10月、真柴小学校学区と萩荘小学校区、一関小学校区の一部を併合する形で、現在地に一関市立南小学校として開校した。 その後、昭和34年に6つの民区、43年には4つの民区と二度にわたり一関小学校学区の一部を加え、南小学校学区として現在に至る。 現校舎等の建設は平成9年～12年にかけて行われ、平成9年度新プール落成、11年度屋内運動場と校舎落成。12年度には「ことばの教室」、14年度には「幼児ことばの教室」が新たに開設された。13年度には県の事業で進められた吸川親水ゾーン「すいすい公園」が完成。18年度には「LD等通級指導教室」も開設され、創立50周年記念式典及び記念事業が行われた。24年度には岩手県教育センターにて「キャリア教育」の実践発表を行っている。25年度には、学校支援本部事業を開始。26、27年度には一関市教育委員会指定による「ことばの力を育む教育」に取り組み、28年度には「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣賞を受賞した。令和5年度に、一関市教育委員会指定による「特別活動」の学校公開研究大会を行った。	特色ある教育活動 1. 基礎的学力の確実な定着を目指した取組 ・基礎計算力を高めるために、習熟の時間を明確に位置付けた授業づくりとICTの活用を進める。 ・言海や教科書の音読、読み聞かせ活動を通して「読む力」を育成する。 2. 児童の言語環境の充実と図書館活用の取組 ・友だちを「さん」づけて呼び、お互いを認めあう温かい人間関係の構築をすすめる。 ・図書ボランティアや読書普及員と連携した学校図書館の環境整備、読書意欲を喚起する工夫した取組により、児童の心の健やかな成長を促す。 3. 音楽と体育における児童の興味や能力に沿った創造的活動の取組 ・担当教諭を中心に月毎の歌の指導や業間マラソンへの取組等、日常的に児童の音楽性や運動能力を高めるための活動を推進する。 ・課外陸上への取組等、児童の特性を生かし、より力を伸ばすための活動を実施する。 4. 学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進 ・三あ運動+1+1の実践。（挨拶・安全・後始末・歩いて登校・ノーマディア） ・コミュニティ・スクールの取組を通し、地域の教育力を積極的に取り入れた教育活動を推進する。	

<h1>弥栄小学校</h1>	〒029-0211 一関市弥栄字大奈良33-4 TEL : 43-3129 FAX : 43-2928 E-mail : yasasho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長: 栃内 宏之 副校長: 熊谷 利春 教職員数: 13名 児童数: 40名 学級数: 6
	<p>教育目標 進んで学び 心豊かで たくましい子どもの育成 学ぶ子ども (知) 助け合う子ども (徳) きたえる子ども (体)</p> <p>研究主題 「自分の考えを広げ、深める子どもの育成」 ～「学び合い」の工夫を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 「生きる力」の育成を目指した学級経営の充実 <ul style="list-style-type: none"> 各学年の発達段階に応じた学校教育目標の実践化・具現化 社会で生きていくのに必要な規範意識の醸成とソーシャルスキルの習得 活躍の場を保障し、課題の改善を図る一人ひとりに寄り添った支援の実現 確かな学力の育成 <ul style="list-style-type: none"> 個別最適な学習と協働的な学習の一体的な充実を目指した授業改善 複式指導を見据えた自ら学びを進める力と主体的な態度の向上 「わかる授業」を考慮した学習環境の整備（ユニバーサルデザイン） 発達段階を考慮した家庭学習の内容の充実と習慣化 豊かな人間性の育成 <ul style="list-style-type: none"> 異年齢による交流活動の意図的な実施による社会性の育成 地域の教育資源を活用した体験活動のねらいに基づいた推進 主体的・実践的な力を育む特別活動の推進 自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性の養成 たくましい心身の育成 <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた運動習慣の形成と体力の向上を図る取組の充実 健康に関する課題解決に向けた健康教育（保健指導・食に関する指導）の充実 「命を守る力」を育む安全教育的充実と安全管理の徹底 家庭や地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の形成（挨拶、早寝、早起き、朝ご飯、適切なメディア利用） 必要な情報の共有を図るための家庭や地域への積極的な情報発信 P.T.A活動、学校運営支援協議会の活動の充実 連携・協働して職務を遂行する職員集団の育成 <ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談の徹底と情報の共有化 教職員としてコンプライアンス意識の保持と高揚に係る相互啓蒙を促す取組の実施 働き方改革の推進 	
<p>沿革</p> <p>平成 2. 4 旧弥栄小学校、平沢小学校が学校統合 一関市立弥栄小学校として創立</p> <p>2. 9 プール新設</p> <p>3. 3 「いやさか太鼓」披露発表会</p> <p>5.10 文部省指定体力づくり公開研究会</p> <p>6.10 全国保健体育優良校文部省表彰</p> <p>11. 1 「よい歯の学校」県表彰</p> <p>11.10 学校給食優良校文部大臣表彰</p> <p>12. 2 開校10周年記念事業実施</p> <p>15. 5 日本善行賞（社会福祉部門）受賞</p> <p>18. 6 P.T.A、一関防犯協会より感謝状</p> <p>21. 1 一関こども文化祭「いやさか太鼓」市長受賞</p> <p>22. 3 体力・運動能力一関教育事務所表彰</p> <p>23. 8 「小さな親切運動」受賞</p> <p>24. 8 校庭表土入れ替え</p> <p>26.12 プール改修</p> <p>28.11 「蚕を学ぶ奨励賞」受賞</p> <p>30. 7 全国共同募金会 感謝状受賞</p> <p>令和 2.11 創立30周年事業記念式典開催</p> <p>3.11 県教育表彰 弥栄小P.T.A団体の部受賞</p> <p>5.11 優良P.T.A文部科学大臣表彰受賞</p>		

<h1>萩荘小学校</h1>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神253 TEL : 24-2350 FAX : 24-3299 E-mail : hagisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長: 熊谷 浩二 副校長: 似内 織江 教職員数: 34名 児童数: 304名 学級数: 15
	<p>教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 相手を思いやり助け合う子 → やさしい子 <ul style="list-style-type: none"> 自己との違いを認め、他者を尊重する子ども 弱者をいたわり、あったか言葉を使う子ども 自他の生命を大切にす子ども ◎ 自ら学び自ら考える子 → かんがえる子 <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持ち、意欲的に学習に取り組む子ども 目標を持ち、工夫しながら学習する子ども 互いの良さを認め、友達の考えを大切にす子ども ◎ 健康でたくましい子 → たくましい子 <ul style="list-style-type: none"> 正しい判断をし、行動する子ども がまん強く、最後までやりぬく子ども 進んで体を動かし、鍛える子ども <p>研究主題 思いやりの心を育む道徳教育の創造 ～考えを深めるパッケージ型ユニット道徳の実践を通して～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域の素材をいかした環境教育 久保川・自鏡山、凍み豆腐作り等、生活科・理科・総合的な学習の時間等に活用 伝承活動としての神楽「鶏舞」 地域の教育力を活かした「鶏舞」の伝承 	
<p>沿革</p> <p>平成17年4月、旧萩荘小学校と市野々小学校を統合し、一関市立萩荘小学校として創立。</p> <p>【校章】地区民から公募した代表作品をもとに、「萩荘を象徴している萩の葉と花で小学校を包み、萩荘地区の方々に見守られている学校であるように」という願いを込めてデザインをとりまとめ、制定。</p> <p>【校歌】「空飛ぶ教室」あんべ光俊作詞・作曲、太田代政男編曲</p> <p>平成17.12 スクールガード「はぎっ子サポートチーム」立ち上げ</p> <p>18. 2 プール建設工事竣工</p> <p>18. 3 敷地整備他、外構工事完了</p> <p>18. 8 徳文施設協会の「教育環境の新設部門」協会賞受賞</p> <p>19. 7 日本スポーツ振興センター学校安全優良校表彰</p> <p>22.11 東北地区小学校特別活動研究協議会岩手大会会場校</p> <p>25.11 一関市教育委員会指定学校図書館公開</p> <p>26. 4 文部科学大臣「子どもの読書活動優秀実践校」表彰</p> <p>29. 9 一関市教育委員会指定学校公開研究会（道徳）</p> <p>29.11 東北特別支援教育研究大会授賞会場（生活単元学習）</p>		

敵美小学校

〒021-0101
一関市敵美町字上ノ台55-2
TEL : 29-2114 FAX : 29-2115
E-mail : gensho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：鈴木 有希
副校長：赤塚 知秋
教職員数：13名
児童数：86名 学級数：8



沿革

- 明治 6. 8 公立五串小学校と称し開校
- 大正12. 3 猪岡小学校と統合
- 13. 12 現在地に新校舎が完成
- 昭和12. 12 校章・胸章を制定
- 22. 12 創立25周年を記念し校歌制定
- 30. 1 市町村合併により一関市立敵美小学校と改称
- 42. 11 完全給食開始
- 49. 8 プールが完成
- 53. 10 市教委指定学校公開研究会開催（勤労体験学習）
- 54. 10 市教委指定学校公開研究会開催（図工科、特別活動）
- 55. 12 本校舎三階建てが完成
- 57. 3 屋内運動場が完成
- 58. 9 敵美地区道徳教育研究協同推進校
- 平成14. 8 25年間継続の敵美溪畔清掃小さな親切実行賞受賞
- 15. 11 県及び市教育委員会指定幼・小連携公開研究会開催
- 17. 4 山谷小学校と統合
- 23. 1 敵美溪畔清掃「小さな親切運動」実行賞受賞
- 23. 10 市教委指定学校公開研究会開催（算教科）
- 24. 4 敵美児童クラブ開設
- 25. 4 達古袋小学校と統合
- 30. 4 本寺小学校と統合
- 31. 4 「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣賞受賞
- 令和 5. 10 一関市教育委員会指定公開研究会開催（国語）
- 5. 11 敵美小学校創立100周年記念式典開催

教育目標

知性を磨き、情操を豊かにし、健康でたくましく生きる子どもの育成

1. 進んで勉強をする子ども……知性を磨く子ども
2. 生き生きとして思いやりのある子ども
……情操を豊かにする子ども
3. 丈夫でたくましい子ども……健康でたくましい子ども

研究主題

「主体的に学習に取り組む児童の育成」
～対話的活動を効果的に取り入れた授業づくりを通して～

特色ある教育活動

1. ぐんぐんタイム等による基礎・基本の定着と、個に応じた指導の推進を図り、確かな学力の育成を図っている。
2. 子どもたちの実践活動交流や教員の授業交流など、幼・小・中連携教育に力を入れて実践している。
3. ボランティア活動や福祉活動、縦割り班活動、スポーツ・音楽活動を通じて、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図っている。
4. 敵美溪畔清掃や巣箱清掃の取り組みを通じて、地域とともに自然愛護・環境美化に努めている。
5. 岩手宮城内陸地震学習や震災沿岸学習などの取り組みを通じて、震災の教訓を継承するとともに、未来の社会を創造していく児童の育成を図っている。
6. 開かれた学校づくりを目指し、積極的に地域に情報を発信するとともに、様々な体験活動を企画・運営したり、地域の活動に積極的に参加したりするなどして、家庭や地域との連携を深めている。

舞川小学校

〒021-0221
一関市舞川字館ノ越20-4
TEL : 28-2121 FAX : 28-2122
E-mail : maisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：及川 宇雄
副校長：佐藤 良史
教職員数：15名
児童数：71名 学級数：9



沿革

- 平成 7年 4月 舞草小学校と相川小学校が統合し、一関市立舞川小学校として創立
- 13年10月 学校給食文部科学大臣表彰受賞
- 17年 9月 創立10周年記念事業
- 18・19年 「我が国の伝統文化を尊重する教育に関するモデル事業」文部科学省指定
- 19年 7月 第9回全国子ども民俗芸能大会、第4回文化セミナーに鹿子躍り・鶏舞出演
- 24年10月 一関市指定研究学校公開（算数）
- 27年11月 創立20周年記念事業
- 29年11月 一関市教育委員会指定「英語が好きになる学校づくり」学校公開
- 令和元年11月 普通教室等エアコン設置完了
- 2年11月 校庭外トイレ設置工事完了
- 3年 9月 1人1台タブレット端末導入活用開始
- 令和 4年 4月 難聴学級設置
- 令和 6年 1月 大谷翔平選手グループ寄贈
- 令和 6年 2月 屋外遊具改修工事完了（ブランコ、ジャングルジム）

※一関市花いっぱいコンクールでは、学校花壇の部で平成7年から令和5年まで毎年のように、最優秀賞や優秀賞・優良賞・審査員特別賞等を受賞している。
※鶏舞と鹿子踊りの2つの伝承芸能に取り組んでいる。

教育目標

「郷土をこよなく愛し、たくましい実践力を持って、主体的・創造的に生きていく、心豊かな子」

- [ゆたかに] 心豊かで 助け合う子
- [かしこく] よく考え 学習に励む子
- [たくましく] 健康で 粘り強く頑張る子

研究主題

自ら考え、進んで表現する子どもの育成
～思考し続ける算教科の指導の工夫を通して～

特色ある教育活動

- どの子も参加しやすい授業、どの子にも居場所のある学校を目指し、きめ細かな指導に取り組む。
- (1) 人権教育や特別支援教育の充実
 - ・ Q・U等で学級生活での満足度を知り、経営に活かす。
 - ・ 個の状況を的確に把握し、課題の改善に努める。
 - (2) 基礎・基本の定着、学力の向上
 - ・ 舞小タイムを設定し、基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導に取り組む。
 - ・ 朝読書、隙間読書、読み聞かせを通して読書に親しむ態度を育てる。（読書普及員・巡回図書を活用）
 - ・ 保護者と連携して、家庭学習の充実に努める。
 - (3) 地域に根ざした学校
 - ・ 地域学習を通して地域文化や歴史を学ぶ。
 - ・ 鶏舞・鹿子躍の伝統芸能を継承する。
 - ・ 環境美化や栽培活動、花いっぱい運動を通して、世代間交流を図り、環境教育や福祉教育を推進する。
 - ・ 地区防犯協会や保護者と一緒に挨拶運動に取り組む。

花泉小学校

URL: <https://ichinoseki-hanasho.edumap.jp>

〒029-3205
一関市花泉町涌津字下原304
TEL: 82-3322 FAX: 82-5338
E-mail: hanasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 門田 徹
副校長: 小岩 類
教職員数: 37名
児童数: 470名 学級数: 26



沿革

明治5年の学制発布から間もなく、各地域に村立小学校が開校された。その後、昭和30年からの花泉町立小学校、平成17年からの一関市立小学校の時代と、140有余年にわたり統合・合併、学制の変遷による校名の変更等を経験しながら、それぞれの地域で学校教育が営まれてきた。平成28年、児童数の減少・学校教育規模の適正化等の観点から「花泉地区統合学校づくり推進委員会」が組織され、行政と地域代表者による検討が重ねられた。令和5年3月をもって、永井・涌津・油島・花泉・老松・金沢の6小学校が開校し、統合・新設された花泉小学校として令和5年4月1日に開校した。令和5年7月22日に開校・落成式を行った。

教育目標

よりよい暮らしをめざし、創意工夫する子供
◇進んで考える子 ◇共に助け合う子 ◇元気でたくましい子

研究主題

「よりよい暮らしをめざし創意工夫する子ども」の育成

特色ある教育活動

統合するにあたってのキャッチフレーズは「夢が花さき知の泉わく 地域が結び合う みんなの学校」である。
地域に唯一の小学校として、保護者、地域の期待に応えるため
・「聴くこと」を大切に「学び合い」のある授業づくり
・地域の自然、産業、文化、歴史を材料にした体験とふれあいの活動
・家庭・地域と連携した健康安全の取組等
新たな学校文化、伝統づくりに取り組んでいる。

大原小学校

URL: <https://ichinoseki-oharasho.edumap.jp>

〒029-0711
一関市大東町大原字七切63-1
TEL: 72-2132 FAX: 72-3931
E-mail: oharasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 佐藤 啓
副校長: 菊地 綾子
教職員数: 15名
児童数: 86名 学級数: 9



沿革

平成22. 4. 1 一関市立大原小学校創立
一関市立大原小学校と一関市内野小学校を統合し、大原字七切地内に新校舎を建設、開校する。
24. 7 落成式
25. 4 一関市教育委員会指定研究校(25～26年度 算数)
26. 11 一関市教育委員会指定学校公開
～数学的な表現力を育てる指導～
29. 4 一関市ことばの力を育てる教育実践指定校
31. 3 校庭改修工事完了
令和元. 11 校舎空調設備設置工事完了
2. 10 全国川サミットin一関 実践発表
3. 3 校庭遊具更新工事完了
5. 2 60プラスプロジェクト優良実践校
6. 5・10 創立15周年記念運動会・学習発表会

教育目標

- 考える子
- きたえる子
- 思いやる子

研究主題

児童が主体的に取り組む授業づくり
～算数科授業における学び合いの充実をとおして～

特色ある教育活動

1. 確かな学力・豊かに表現
基礎・基本の確実な定着(モジュール「スマイルプリント」実施)
家庭学習の習慣化(授業との連動、個に応じた内容の工夫)
ことばの力を育てる教育(ことばの時間、先人教育との連携)
効果的なタブレット活用(生活科・総合の発信で生かす)
2. 健やかな身体
60プラスプロジェクト推進(運動・睡眠・食事の安定を家庭と連携)
安全指導の徹底(登下校、校内外の安全、防災教育の推進)
健康管理能力の育成(肥満率減少、むし菌のない比率向上)
3. 豊かな心
明るくあいさつが響く学校(あいさつ運動)
異年齢交流活動の推進(縦割り班清掃、なかよし集会)
温かい人間関係づくり(学級経営の充実、児童アンケート)
4. 家庭や地域との連携
学校・親子で取り組むがんばり週間(歩いて登校・メディア使用)
地域素材の活用(鉄づくり、だるま祭り、水かけ祭り、砂鉄川)
情報発信(ホームページ、校報の回覧、学級通信等の発行)
地域団体との連携(市民センター、保育園、中学校)

大東小学校

〒029-0523
一関市大東町摺沢字上塚ノ沢70
TEL : 75-2234 FAX : 75-2667
E-mail : daisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：真壁 岳夫
副校長：下村 知信
教職員数：17名
児童数：181名 学級数：10



教育目標

薫り高い歴史と文化を育んできた室蓬瀧水の里に誇りを持ち、明日への夢や希望に向かって、逞しく挑戦する児童の育成をめざす。
○かしこく（学び合う子）
○ゆたかに（助け合う子）
○たくましく（鍛え合う子）

研究主題

「互いの思いや考えを汲み、伝え合おうとする児童の育成
—主体的に学び、表現し合う活動を通して—」

特色ある教育活動

- 安心・安全な学校づくり
・自他の命や人権を大切にすることの育成
・危機管理を意識した施設管理
・保護者への情報提供
- 学力の向上
・基礎基本の確実な定着
・外国語活動・外国語科・算数科を重点とする授業改善
・特別支援教育の充実
・復興教育の充実
・キャリア教育の推進
- 生徒指導・学級経営の充実
・自己肯定感を土台とした、挑戦意欲の向上
・「学級力」の向上
- 地域・家庭との連携・協働の推進
・学校運営支援協議会を中心とした地域学校協働活動の推進

沿革

平成25年4月1日 一関市大東町摺沢字上塚ノ沢地内に新校舎を建設し、開校。
26年5月 校庭、プール、外構、駐車場等完成。
26年12月 外倉庫完成。
27年11月20日 学校公開研究会（理科・生活科）
29年4月 大東児童クラブが校舎の一部に開設
令和元年12月 県学校歯科保健優良校表彰 優秀校

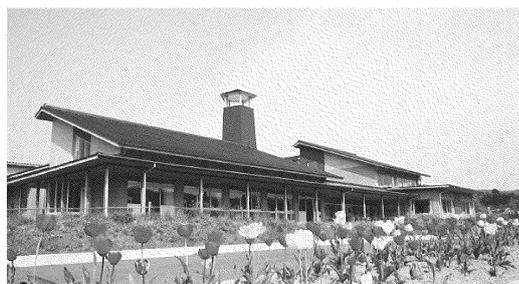
〈開校の精神より〉

この地に育つ子供達は、「教え伝えて学びあう・決まりを守り温かく・身体を鍛え健やかに」の地域の願いを集めた大東地域の未来を担う子供達である。
よって、本校で学ぶ子供達・教職員・保護者・地域民は互いに切磋琢磨する中で、「和合・譲り合いの精神」を持ちながら、「共に学び共に歩み共に育つ」ことを基軸に、豊かな人間社会の構築に貢献し、「室蓬瀧水の里」を更に飛躍・発展させるべく使命感をもって努めなければならないことを本学「開校の精神」とする。

興田小学校

〒029-0602
一関市大東町鳥海字鞭柳104-1
TEL : 74-2514 FAX : 74-2855
E-mail : okisho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：及川 祥子
副校長：伊東 裕美
教職員数：13名
児童数：54名 学級数：7



教育目標

- 基本目標
豊かな心と自ら学ぶ力をもち、たくましく生きる子どもの育成
- めざす子ども像
思いやりのある子ども（徳）
進んで学ぶ子ども（知）
健康でたくましい子ども（体）

研究主題

「主体的な学びを支える授業の創造」
～算数科における言語活動を重視した授業実践を通して～

特色ある教育活動

- 学力向上
・基礎・基本の定着（朝活動時間の算数・漢字チャレンジ）
・主体的な学びをつくる授業づくりの研究
・よい生活リズムの徹底と学力向上をリンクさせた取組
- 豊かな心の育成
・異学年交流活動の推進（縦割班清掃・縦割班交流）
・「明日も来たい興田小」を目指した取組
・自然愛護の精神を育む活動（自然愛護少年団活動）
- 開かれた学校づくり
・スクールボランティア等地域人材の活用（学習・環境・読書）
・校報の地域全戸配布

沿革

本校は、興田地区内の興田、天狗田、中川、京津畑、丑石の小学校を統合し、鳥海字鞭柳地内に新校舎を建設し、平成18年4月1日に開校、一関市立興田小学校と称す。同年8月に落成式、祝賀会を開催する。平成19年3月31日、校庭及び外倉庫が完了する。平成20年4月1日、特別支援学級（さわやか学級）が設置される。平成21年4月23日、読書活動実践優秀校文部科学大臣表彰を受ける。同年11月6日、県学校図書館教育研究大会を本校会場で開催する。平成24年度より2年間、市教委より「ことば」の力を育てる研究指定を受け、平成25年11月22日学校図書館公開を開催する。平成26年4月1日、特別支援学級（すこやか学級、きこえの学級）が設置される。平成28年10月22日、創立10周年記念式典・祝賀会を開催する。平成31年1月に「水環境・水資源部門岩手県知事表彰」を受賞。令和2年度より、複式学級開始。特別支援学級（すこやか学級・きこえの学級）は閉鎖。令和4年12月22日、環境省より「水・土壌環境保全活動功労者表彰」を拝受。

猿 沢 小 学 校

〒029-0431
 一関市大東町猿沢字上ノ洞12-1
 TEL : 76-2022 FAX : 76-2767
 E-mail:sarusho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 大 竹 博 行
 副 校 長 : 吉 田 佳 世
 教 職 員 数 : 13 名
 児 童 数 : 50 名 学 級 数 : 6



沿 革

明治6年3月31日、上ノ洞金氏所有の一屋を借用し、町方に公立猿沢小学校創立。下猿沢、新渡戸、峠の3分校設置。明治16年下猿沢、新渡戸両分校を本校に合併。昭和30年町村合併により大東町立猿沢小学校と改称。昭和46年峠分校を廃止し本校に統合。昭和61年現校舎新築移転。平成6年屋内運動場完成、平成7年プール完成。平成17年9月、合併により一関市立猿沢小学校となる。平成21年11月、全国体育研究会より研究優良校を受賞。平成23年11月、一関市教育委員会指定による体育科の学校公開研究会を実施する。平成24年3月、県南教育事務所長表彰を受賞する。平成25年4月特別支援学級（知的）を開設する。平成30年4月特別支援学級（情緒）を開設する。令和元年10月、一関市教育委員会指定による算数科の学校公開研究会を実施する。

教育目標

「かしこく やさしく たくましく」
 （かしこく） 進んで学ぶ子
 （やさしく） 思いやりのある子
 （たくましく） 心も体も健康な子

研究主題

どの子ども「わかる」「できる」を実感できる授業の創造
 ～算数科における対話から考えを深める学び合いを通して～

特色ある教育活動

- 基礎学力定着のための取組
 - ・チャレンジテスト
 - ・音読・暗唱検定、2年九九検定
 - ・家庭学習強化週間「がんばる子カード」の取組
- 豊かな心の育成
 - ・年間を通した「あいさつ運動・ふわふわ言葉」の取組
 - ・互いの個性を尊重し合って活動する意識を高める取組
 - ・主体的に絆を紡いでいける居心地のよい学級づくり
- 健康教育の充実
 - ・目標をもって運動に取り組む習慣づくり
 （マラソン大会・60プラスプロジェクト）
 - ・家庭と連携した「睡眠・食事・メディア利用」の取組
 - ・学校の立地条件に応じた避難訓練や防災教育

千 厩 小 学 校

〒029-0803
 一関市千厩町千厩字上駒場10-2
 TEL : 34-5102 FAX : 34-5103
 E-mail:sensho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 伊 東 洋 司
 副 校 長 : 小 島 睦
 教 職 員 数 : 37 名
 児 童 数 : 337 名 学 級 数 : 17



沿 革

平成30年4月1日 千厩地域内の千厩、小梨、清田、奥玉、磐清水の5つの小学校が統合し、一関市立千厩小学校創立
 千厩町千厩字上駒場地内に新校舎を建設し開校
 30年7月18日 プール完成
 30年12月1日 落成式開催
 令和元年7月 普通教室冷房設備工事
 2年3月 校庭整地、駐車場階段設置
 2年8月 普通教室エアコン設置
 2年11月25日 令和元年・2年度一関市教育委員会指定算数科学校公開研究会

教育目標

自ら学び新しい時代を拓き心豊かにたくましく生きる児童の育成
 ○心かよい合う子（徳育）
 ○まなび合う子（知育）
 ○きたえ合う子（体育）

研究主題

「自ら学ぼうとする児童の育成」
 ～自他との「対話」の充実に向けた授業改善～

特色ある教育活動

- 豊かな人間性の育成をめざした、心かよい合う学級経営と生徒指導
 - (1) 思いやりの気持ちを持ち、互いを尊重し合える児童の育成
 - (2) 責任をもち、協力して活動できる児童の育成
 - (3) 場に応じた言葉づかいや挨拶、行動ができる児童の育成
- 学び合う姿勢の育成と分かる授業づくりによる確かな学力の定着
 - (1) ICTを活用した授業デザインの構築
 - (2) 集中して話を聞き、自分の考えをもち、積極的に表現できる児童の育成
 - (3) 基礎的・基本的な学力を身に付ける児童の育成
- たくましい心と体、健康・安全意識の育成
 - (1) 生活リズムを整え、健康で生活できる児童の育成
 - (2) 目標をもち、根気強く体を鍛える児童の育成
 - (3) 決まりの意味を考え、安全を意識して生活できる児童の育成
- 特別支援教育の充実と清明支援学校「ハビきら」学級との交流・共同学習の充実
 - (1) 特別支援教育の充実
 - (2) 「ハビきら」学級との交流
- 家庭・地域との連携協働
 - (1) 家庭との連携協働
 - (2) 地域人材や資源を活用した教育活動の推進
- 学校安全と教育環境整備
 - (1) 学校安全
 - (2) 教育環境整備
 - (3) 児童、職員のウェルビーイングの向上

東山小学校

〒029-0302
一関市東山町長坂字東本町12
TEL : 47-2144 FAX : 47-2119
E-mail : higasho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：金里 徹
副校長：奥山 由香
教職員数：16名
児童数：193名 学級数：9



沿革

平成26年4月に、長坂・田河津・松川の3小学校を統合し「一関市立東山小学校」として開校した。

- 平成30年4月 LD等通級指導教室設置
- 30年12月 仮設校舎への引越
- 31年1月 校舎他長寿命化改修等工事開始
- 令和2年1月 新校舎への引越
- 2年12月 落成式
- 3年10月 岩手県生活科・総合的な学習教育研究会一関大会開催

教育目標

- ・豊かな心をもち 思いやりのある子ども
- ・自ら考え 進んで学ぶ子ども
- ・たくましく 健康な子ども

研究主題

「主体的に学び、豊かに表現できる子どもの育成」
— 国語科の授業改善の在り方 —

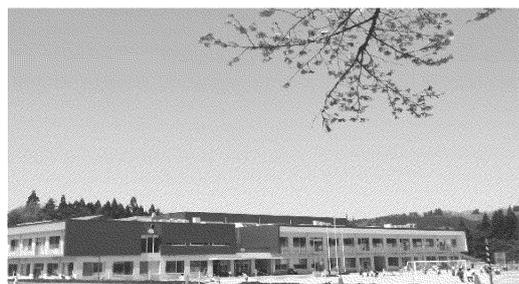
特色ある教育活動

- 1 心豊かで希望と笑顔にあふれる子どもの育成
 - ・一人一人のよさや可能性を伸ばす学級経営
 - ・心を育てる授業・特別活動・体験活動の推進
 - ・特別支援教育におけるきめ細やかな児童理解
 - ・基本的生活習慣の確立と命を守る指導の推進
- 2 学習指導の充実と学力向上
 - ・わかる授業と基礎学力・学習規律の定着
 - ・ことばの力を育み、学力向上を図る校内体制の構築
 - ・ICT機器を効果的に活用した授業改善
- 3 体力向上と健康・安全への取組の充実
 - ・基礎体力づくりの推進
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき等」の習慣作り
- 4 家庭・地域・異校種間の連携
 - ・積極的な情報発信と共有の場の設定
 - ・地域人材や資源を活用した教育活動の推進
 - ・こども園・保育園・中学校との連携強化
- 5 施設・設備・教育環境の整備充実
 - ・校舎内の美化や花壇・樹木等管理

室根小学校

〒029-1202
一関市室根町矢越字五反田73-1
TEL : 48-4435 FAX : 48-5201
E-mail : murosho@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：佐藤 泰彦
副校長：千葉 英悦
教職員数：16名
児童数：142名 学級数：7



沿革

令和4年4月、室根東小学校と室根西小学校が統合し室根小学校となった。
本校の学区は、一関市街地から東に33km離れた一関市最東端に位置し、東は宮城県気仙沼市、西は千厩町と隣接し、北には気仙沼港に注ぐ大川（太田川）に沿ってJR大船渡線と国道284号線が走っている。南は、宮城県本吉町と接しており、県道18号室根本吉線沿いに南北に伸びている地域である。
商工業を生業としている家庭や米作、酪農、果樹等の兼業農家もあるが、会社員や団体職員、公務員が多く、地元の室根町内や気仙沼、一関などで働く家庭が多い。1300年以上の歴史を有する室根神社が鎮座する霊峰室根山、「森は海の恋人」植樹祭活動の矢越山をシンボルとし、自然豊かな地域である。

- 令和4年4月1日 一関市立室根小学校創立
室根東小と室根西小の2校の統合による。
旧室根東小学校校舎を仮校舎とする。
- 4月7日 一関市立室根小学校開始式
- 8月6日 新校舎への移転
(室根中学校の西側敷地内に整備した新校舎)

教育目標

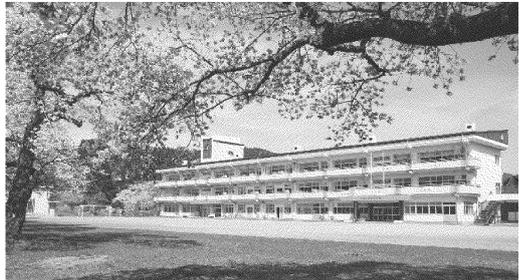
- 豊かな心でやりぬく室根の子
- ・考える子
 - ・明るい子
 - ・強い子

研究主題

「わかる・できる」を実感する子どもの育成
～算数科における主体的な学びができる授業づくりを通して～

特色ある教育活動

- 1 学習指導の充実による学力向上
 - (1) 学指導要領をふまえた授業改善
 - (2) 基礎的・基本的な内容の定着と基礎学力の向上
 - (3) 校内研究・現職研修による指導力の向上
- 2 心の教育の充実
 - (1) 児童理解に基づく学級経営の充実
 - (2) 好ましい人間関係の醸成と基本的生活習慣の形成
 - (3) 道徳教育の充実
 - (4) 体験活動の充実
- 3 体力向上・健康安全教育の充実
 - (1) 体力向上の取組
 - (2) 望ましい健康習慣の形成
 - (3) 安全指導と事故防止の徹底
- 4 特別支援教育の充実
 - (1) 教育支援体制の整備
 - (2) 指導・支援の充実
- 5 いわての復興教育の推進
 - (1) 教育課程に位置付けた復興教育の推進
 - (2) 実情に合わせた防災教育の推進
- 6 家庭・地域とともにある学校づくりの推進
 - (1) 保護者・地域及び関係機関との積極的連携の推進
 - (2) 地域と学校の連携・協働の充実

<h1>川崎小学校</h1>	〒029-0202 一関市川崎町薄衣字泉台50 TEL : 43-3113 FAX : 43-3398 E-mail : kawasakisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：菅原秀文 副校長：佐藤伸子 教職員数：16名 児童数：125名 学級数：8
 <p>沿革</p> <p>平成25. 3 一関市立薄衣小学校閉校 一関市立門崎小学校閉校</p> <p>25. 4 一関市立薄衣小学校・門崎小学校統合により一関市立川崎小学校開校 旧薄衣小学校校舎使用</p> <p>26. 4 復興教育推進校として県から指定を受ける</p> <p>28. 4 市から2年間の研究指定を受ける</p> <p>29.10 学校公開研究会開催(算数)</p> <p>令和 4. 3 校庭遊具改修工事</p> <p>5. 3 防火シャッター・プール改修工事</p>	<p>教育目標 「かしこく やさしく たくましく」 ～ふるさとを愛し、未来を創る川崎の子～</p> <p>研究主題 自分の思いや考えをもち、主体的に学ぶ子どもの育成 ～学ぶ楽しさを感じさせる算数科の指導～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな学力 授業力の向上（わかる授業の展開、授業公開） 基礎基本の徹底（漢字・算数テスト、学力テストの活用、習熟時間の確保） 家庭学習の習慣化・学習時間（家庭学習ガイドの活用、強化月間の設定） 言葉を大切に学習指導（自ら考える、話し合う場の設定、読書に親しむ） 「ことばの力を育てる教育」の推進（ことばのテキストを活用し、感性を養う） 2. 豊かな心 あいさつができる（あかるく・いつでも・さきに・つづけて） 望ましい人間関係づくり（個を生かす学級経営、Q-U調査と教育相談） 思いやりや協力・感謝の気持ちを育む（道徳の時間の充実、体験活動、行事を通しての感動体験、縦割り班活動の充実（遊び・清掃）） 3. 健やかな体 基礎体力の向上（マラソン・なわとび、外遊びの励行、教科体育の充実） 健康教育の推進（望ましい生活習慣の啓発、むし菌予防と肥満対策、食育指導） 安全教育の推進（交通安全指導、防災・防犯学習・避難訓練） 	

<h1>藤沢小学校</h1>	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷50-1 TEL : 63-2011 FAX : 63-2018 E-mail : fujisho@city.ichinoseki.iwate.jp	校長：菊地桂子 副校長：佐藤和博 教職員数：15名 児童数：174名 学級数：9
 <p>沿革</p> <p>平成21年4月1日 旧藤沢・徳田・保呂羽・大籠の4つの小学校が統合し、新「藤沢町立藤沢小学校」として開校。</p> <p>平成23年3月11日 東日本大震災により校舎が損傷し、3階が使用不能となる。</p> <p>平成23年9月26日 市町合併により「一関市立藤沢小学校」となる。</p> <p>平成24年3月 校舎の復旧工事が終了する。</p> <p>平成25年10月22日 一関市教育委員会指定学校公開研究会を開催。</p> <p>平成27年4月1日 聴覚障がい特別支援学級が開設。</p> <p>平成29年4月1日 肢体不自由特別支援学級が開設。</p> <p>令和3年3月31日 聴覚障がい特別支援学級が閉鎖。</p> <p>令和5年3月31日 肢体不自由特別支援学級が閉鎖。</p> <p>令和5年4月1日 新沼小学校が編入統合。</p>	<p>教育目標 「明るい笑顔」と「学ぶ喜び」にあふれた学校 ○課題を追求する子ども ○思いやりの心をもつ子ども ○体と心をきたえる子ども</p> <p>研究主題 自ら考え、表現し、学び合う児童の育成 ～対話的な活動を通して学びを深める授業づくり～</p> <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎学力定着のための指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・「読み・書き・計算」の徹底反復とことばの力を育てる活動 ・漢字、計算等の定着に向けた「休み明けテスト」の実施 ・小中連携による家庭学習強化週間の取組 2 心を育む生徒指導と心の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・児童主体の児童会行事 1年生を迎える会 6年生を送る会 児童総会 あいさつ運動 ・縦割り班による異学年交流 縦割り班清掃 縦割り班遊び ・お年寄りや地域の方々との交流 藤沢野焼祭への参加 運動会、学習発表会への招待 祖父母交流会 3 健やかな体を育む健康安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立 体力向上と運動習慣の確立 	

黄 海 小 学 校

〒029-3311
一関市藤沢町黄海字天堤11-1
TEL : 63-2017 FAX : 63-3430
E-mail : kinosho@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 佐々木 伸
副 校 長 : 後 藤 純 一
教職員数 : 12名
児 童 数 : 66名 学級数 : 7



沿 革

明治6年長昌寺本堂を借用し公立黄海小学校創立。
昭和22年黄海村立黄海小学校となる。昭和30年町村
合併により藤沢町立黄海小学校、昭和48年に曲田小
学校が黄海小学校と統合、平成23年には市町合併に
より一関市立黄海小学校と改称し現在に至っている。
昭和49年創立100周年記念式典挙。昭和50年に
新校舎、平成2年屋内体育館竣工。平成23年東日本
大震災により校舎、体育館が被害を受け改修。
平成3年には博報賞並びに文部大臣奨励賞を受賞
している。
令和5年創立150周年記念式典挙。

教育目標

心身ともに健康で、自主的精神に満ちた人間性豊かな児童の育成
【めざす児童像】
よく考える子ども 助け合う子ども たくましい子ども

研究主題

主体的に学び、表現しようとする子どもの育成
～タブレットを活用した授業を探って～

特色ある教育活動

- 1 勤労体験学習（キャリア教育の一環として）
「びかびか田んぼ」における稲作体験と高齢者との交流活動
並びに学校園における畑作体験活動
- 2 挨拶の響き合う学校
P T A、地域と連携した挨拶運動の推進
- 3 地域との絆活動（餅文化を中心とした食育教育の一環として）
地域の方々を招き、餅会食による収穫感謝の会の実施
- 4 縦割り班活動
児童会縦割り班での清掃活動や集会活動の実施
- 5 環境美化活動
学校花壇作りを中心とした花いっぱい学校づくり
- 6 伝統的文化活動の取組
黄海源大鶏舞継承会から学ぶ鶏舞の伝承

(2) 中 学 校

一 関 中 学 校

〒021-0901
一関市真柴字中田18
TEL : 23-5120 FAX : 23-4864
E-mail : kanchu@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 小 岩 孝 朗
副 校 長 : 野 田 満 哉
教職員数 : 21名
生 徒 数 : 183名 学級数 : 8



沿 革

昭22. 4. 1 学制改革により一関町立一関中学校創立
23. 4. 1 市制施行により一関市立一関中学校と改称
27. 7. 11 旧校舎に新築移転
42. 10. 9 創立20周年記念事業を実施
56. 1. 16 新校舎竣工し、移転
平 6. 3. 16 屋内運動場改築竣工
16. 7. 29 第51回県中総体軟式野球優勝
20. 3. 22 文部科学省英語教育優良校受賞
20. 7. 1 第57回読書教育賞外国語教育部門最優秀賞
21. 4. 1 文部科学省キャリア教育支援事業指定校
23. 3. 25 武道場・新部室完成
23. 8. 10 第41回東北中総体男子バスケットボール部第3位
25. 9. 15 全日本吹奏楽コンクール東北大会銅賞
26. 9. 27 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞
27. 9. 26 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞
28. 9. 24 全日本合唱コンクール東北支部大会優良賞
29. 9. 30 全日本合唱コンクール東北支部大会優良賞
29. 11. 27 一関市教育委員会指定学校公開研究会
29. 12. 9 創立70周年記念式典開催
30. 9. 29 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞
令 1. 9. 28 全日本合唱コンクール東北支部大会銅賞
4. 8. 9 剣道部東北大会出場

教育目標

自ら求めて知性を磨き、心身を鍛え、心豊かに生きる生徒の育成を期す。

目指す生徒像

- (1) 「知」… 知性豊かな生徒
- (2) 「徳」… 心の温かい生徒
- (3) 「体」… 体力のみなざる生徒
- (4) 「気」… 気力あふれる生徒

研究主題

「主体的に学び続ける生徒の育成
～ICTの効果的な活用場面を意識した単元（題材）づくりを通して～」

特色ある教育活動

- (1) 安全・安心な学校づくりの推進
○いじめ防止の徹底、思いやり宣言の浸透
安全バッジ・ヒヤリマップの活用、関中安全宣言等による安全意識の高揚
いじめ防止基本方針・思いやり宣言に基づく安心な学校づくり
- (2) 学力向上
○研究テーマを核とした授業改善とそれを下支えする学習習慣の定着
単元づくりにおけるICTの位置づけと実践的活用 宿題と自主学習の工夫
各種調査結果の分析と効果的な活用
- (3) 学校適応の工夫
○行事・諸活動の活性化、特別支援・教育相談の充実
カウンセリングマインドを基盤とした生徒理解・学級経営
行事・諸活動の活性化による集団づくりと居場所づくり 特別支援・教育
相談のスキルアップと組織的対応 関係機関との連携強化と家庭への啓発
- (4) キャリア教育の推進
○系統立てた活動の充実から適切な進学指導へ
1年「フィールドワーク」 2年「5日間の社会体験学習」
3年「修学旅行でのキャリアリサーチ」
- (5) 復興教育の推進
○「命を考える活動」（いきる） 「ボランティア意識の高揚」（かかわる）
「防災意識の高揚」（そなえる）
命の大切さ 心身の健康意識の醸成 キャリア教育の地域貢献
自然災害・感染症の理解 非常時に生き抜く技能の習得

磐井中学校

〒021-0061
一関市山目字館46-1
TEL : 23-5233 FAX : 23-7957
E-mail : iwaichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：須藤 淳
副校長：立花 公樹
教職員数：38名
生徒数：471名 学級数：19



南校舎(平成27年完成)

沿革

平成27年3月末をもって一関市立山目中学校と一関市中里中学校を閉校し、平成27年4月に、統合校として山目中学校校地内に新設。

平成27年度1学期 南校舎使用開始
平成27年度3学期 北校舎使用開始
平成28年度8月 体育館屋根改修工事終了
平成28年度末 テニスコート完成

1年生5学級、2年生5学級、3年生5学級、特別支援学級4学級の計19学級である。

令和5年度は、地方中総体で2種目の団体競技と個人競技で優勝をしており、地方新人大会では3種目の団体競技と2種目の個人競技で優勝をしている。県中総体では特設水泳部が3種目で優勝し、体操部男子とともに東北中総体に出場している。文化部では、吹奏楽部、合唱部がともに県大会に出場している。

教育目標

豊かな心と創造性を持ち、心身共に逞しく自己を鍛える生徒の育成

- (1) 磨く知性…自ら求めて学び、未来を拓く生徒
- (2) 豊かな感性…自他を敬愛し、思いやりのある生徒
- (3) 鍛える身体…自ら心身を鍛え、逞しく実行する生徒

研究主題

主体的・対話的で深い学びに向けた授業の在り方
～生徒指導の機能を生かした、学び合いの工夫～

研究内容と方法は以下の通り

- (1) 授業研究会の実施（「道徳の時間」の全体研を年に2回実施）
- (2) 指導・授業実践
- (3) 他校の公開研究会等への積極的な参加

特色ある教育活動

磐井中学校「魅力ある学校づくり」＝「Encourage school」構想

- (1) 「総合的な学習の時間」の充実
探求学習を通して、自分を見つめ、社会とつながり、地域に貢献する磐井中生を育てる
- (2) 「学び」の保障と「多様化」への対応
課題解決学習とICT活用
「指導の個別化」と「学習の個性化」
「学び方改革」を促す「スケジュール指導」
- (3) 特別支援教育を生かした「生徒指導」の実現
特別支援教育の考えを持ちながら、愛情をもって思考・判断・表現(行動)させる生徒指導
- (4) 目標やビジョンを共有する「地域とともにある学校」の構築

一関東中学校

〒029-0132
一関市滝沢字寺田下81-2
TEL : 23-3411 FAX : 23-5430
E-mail : higashichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：菅原理日
副校長：小林 義幸
教職員数：15名
生徒数：94名 学級数：6



沿革

- 平20. 4. 1 一関市立真滝中学校、同弥栄中学校の統合により一関市立一関東中学校創立
20. 4. 5 開校式（真滝中学校敷地内に校舎設立）
- 21.12. 6 落成式（講演 上智大学 西澤潤一先生）
22. 4. 19 学校給食開始
- 23.11.27 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
- 24.11.22 全国小中学校PTA広報誌コンクール佳作
- 25.12. 1 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
- 26.11.19 全国小中学校PTA広報誌コンクール日本教育新聞社社長賞
- 26.11.30 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
27. 3 一関市立一関東中学校同窓会設立
- 27.11.29 岩手県PTA広報コンクール最優秀賞
29. 4 文部科学省人権教育研究指定校
- 令3. 4 一関市教育委員会ICT活用研究指定校

校訓

「識己研能」（己を識り、能を研く）

教育目標

- ・ 知の研鑽 「自ら求め、研学する生徒」
- ・ 清澄な心 「自ら求め、心を耕す生徒」
- ・ 壮健な体 「自ら求め、身体を鍛える生徒」

今年度の重点

- (1) 実効性ある「まなびフェスト」の徹底
 - 1 「わかる授業」に向けた研修の充実
 - 2 授業規律の確立と徹底
 - 3 いじめ防止基本方針に基づく未然防止の取り組みの徹底
 - 4 自治的な生徒会活動の支援
 - 5 共生社会（ダイバーシティ、インクルージョン）の理解と環境づくり
 - 6 体力向上や運動に親しむ環境づくり
 - 7 各種通信・ホームページによる教育活動の周知と意識啓発
 - 8 学校評価の適切な運用
- (2) 授業等におけるICTの効果的な活用による授業実践
 - 1 ICT活用による学習の効率化
 - 2 学習意欲の向上
 - 3 個別最適な学び
 - 4 協働的な学び

研究主題

自ら学び続ける生徒の育成
～見通しをもたせる学習指導を通して～

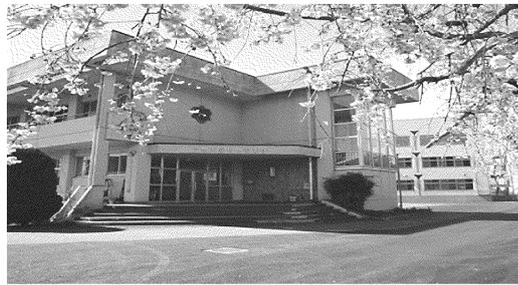
特色ある教育活動

統合17年目を迎える。真滝、弥栄両地区に伝わる郷土芸能「鶏舞」を、伝承活動の一つとして全校生徒で取り組んでいる。R4年度からICTを活用した授業の展開ができるよう積極的に取り組んでいる。

桜町中学校

〒021-0821
一関市三関字桜町39-2
TEL : 23-5249 FAX : 23-8023
E-mail : ochu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：勝部孝行
副校長：千葉孝行
教職員数：25名
生徒数：273名 学級数：13



沿革

- 昭和26.11 一関市立桜町中学校創立
- 34.4 学区により上の橋以北を編入
- 58.3 新校舎落成
- 59.3 保健体育優良校全国表彰
- 平成5.8 新体育館完成
- 10.10 第51回全国合唱コンクール全国大会銅賞
- 13.11 創立50周年記念式典
- 15.7 若手県中学校総合体育大会バスケットボール男子優勝
- 15.11 第56回全国合唱コンクール全国大会銅賞
- 19.8 全国中学校ソフトテニス大会出場
- 20.10 第61回全国合唱コンクール全国大会金賞
- 21.10 第62回全国合唱コンクール全国大会金賞
- 21.11 若手県教育表彰(音楽活動)
- 22.7 若手県中学校総合体育大会女子ソフトテニス優勝
- 25.7 若手県中学校総合体育大会バスケットボール男子優勝
- 25.8 東北中学校総合体育大会バスケットボール男子準優勝
- 25.8 若手県中学校総合体育大会バスケットボール大会男子出場(ベスト16)
- 28.2 特別教室棟完成
- 30.7 若手県中学校総合体育大会水泳競技女子総合優勝
- 30.8 第58回全国中学校水泳競技大会男子400m個人メドレー第8位
- 令和元.7 若手県中学校総合体育大会女子バレーボール優勝
- 3.7 若手県中学校総合体育大会水泳競技男子総合優勝
- 3.11 創立70周年記念講演会
- 4.7 若手県中学校総合体育大会水泳競技男子総合優勝
- 8 東北中学校総合体育大会水泳競技男子総合2位
- 8 全国中学校総合体育大会水泳競技出場 滝澤裕成 菊池桃和 湊男子400mフリーリレー全中参加 標準記録突破 (橋浦 松村 滝澤 森松)
- 4.10 創立70周年記念式典
- 5.7 若手県中学校総合体育大会水泳競技男子・女子総合優勝
- 5.8 第63回全国中学校水泳競技大会男子1500m自由形第4位

教育目標

知育・徳育・体育の調和ある発達を図り、心身共に健康で人間性豊かな行動力のある生徒を育成する。

- (1) 思慮深く創造性のある生徒 (知育)
- (2) 心豊かで思いやりのある生徒 (徳育)
- (3) 健康で明るく気力のある生徒 (体育)
- (4) 規律を重んじ協力して実践する生徒 (行動力)

研究主題

思慮深く創造性のある生徒の育成
～根拠を持って思考・判断・表現する活動の実践を通して～

特色ある教育活動

- 確かな学力をつける学習指導
 - ・授業の基本…3分前学習、自治的活動による学習集団づくり、授業改善の推進
 - ・家庭学習…平日2時間以上、授業と連動した家庭学習、家庭での生活リズム、宿題と自主学習
 - ・各種検定…自己の可能性に挑戦、学習意欲の喚起、個に応じた学習の支援
 - ・生活の自律…居間9ルールの徹底、情報モラル教育の推進、家庭との連携
- 豊かな心を育てる活動
 - ・爽やかな挨拶…4原則の意識(アイコンタクト、聞こえる声、スマイル、積極的)
 - ・思いやりの心…いじめの撲滅、道徳教育の充実、自己肯定感の醸成、互いを認め合う雰囲気、師弟同行の清掃
 - ・ハーモニーの美…積極的に合唱、学級合唱の日常化、特設合唱部の取組
 - ・心を耕す読書…月2冊以上、図書館の活用促進、朝読書の取組
- 健全な体を育てる活動
 - ・心身の健康…元気に毎日登校、生と性の授業、教育相談の充実、皆勤賞の奨励
 - ・生活リズム…7時間睡眠で朝食、毎日の健康観察、規則正しい生活、食育指導
 - ・生命の尊重…登下校の無事故、危険箇所の点検、実践的避難訓練の実施
 - ・部活動…無断欠席ゼロ、異年齢集団による活動、自主的自治的活動、個性の伸長、学校生活の充実

萩荘中学校

〒021-0902
一関市萩荘字境ノ神240
TEL : 24-2324 FAX : 24-3294
E-mail : hagichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：村上正和
副校長：大友一篇
教職員数：19名
生徒数：176名 学級数：8



沿革

- 昭和45.4 一関市立萩荘第一中学校と同第二中学校が統合し、一関市立萩荘中学校を創立
- 46.7 新校舎、プール竣工
- 57.8 奈良県での全国大会に雞舞出演
- 平成元.7 若手県中学校総合体育大会卓球女子5連覇達成
- 12.11 統合30周年記念式典挙行
- 13.7 大規模改修工事完成
- 18.8 若手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子団体・個人優勝、東北中学校ソフトテニス大会男子個人優勝
- 19.7 若手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子個人優勝
- 20.7 若手県中学校総合体育大会ソフトテニス男子個人優勝
- 21.9 全国中学校ソフトテニス大会男子団体5位
- 21.9 若手県中学校英語弁論大会第3位、全国大会に出場
- 23.3 体育館完成
- 24.9 平成24年「わたしの主張」一関地区大会最優秀賞
- 25.3 ソフトテニスコート3面整備
- 26.11 若手県新人大大会卓球男子団体準優勝
- 27.7 若手県中学校総合体育大会卓球男子団体優勝
- 28.7 若手県中学校総合体育大会卓球男子団体優勝
- 29.7 女子個人優勝、全国大会に出場
- 30.7 若手県中学校総合体育大会卓球女子個人3位、全国大会に出場
- 8 東北中学校総合体育大会卓球女子団体準優勝
- 9 福井団体卓球競技少年女子出場
- 令和元.11 普通教室他にエアコン設置
- 3.10 萩荘中学校統合50周年記念式典挙行
- 5.7 若手県中学校総合体育大会ソフトテニス女子個人優勝、全国大会出場

教育目標

知識を求め、よく考え、他者と協調し、力強く歩む生徒

具体目標

- 明るく 心豊かな生徒 ……………【誠実】
- 礼儀、あいさつ、思いやり
- 意欲に燃え 学習にひたむきな生徒 ……………【探究】
- 好奇心と向学心
- 気力に満ち 体力のある生徒 ……………【健強】
- 気力、体力、持続力

研究主題

共によりよく生きようとする生徒の育成
～お互いの考えを可視化した話し合い活動を通して～

特色ある教育活動

- 1 郷土芸能伝承活動(鶏舞)
郷土芸能委員会を中心に練習や衣装管理を行い、毎年運動会で生徒全員による鶏舞を披露している。
- 2 親子ふれあい共同奉仕作業
毎年春、親子による校地内環境整備作業を行っている。
また、秋には親子で資源回収作業に取り組んでいる。
- 3 地域との連携
萩荘野焼きまつりへの参加や老人クラブの方を講師に招いてのしめ縄作りなど、地域との連携に力を入れている。

厳美中学校

〒021-0101
一関市厳美町字上ノ台45-1
TEL : 29-2016 FAX : 29-3190
E-mail : genchu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：青沼 徹
副校長：鈴木 智行
教職員数：19名
生徒数：53名 学級数：5



沿革

昭和49年 旧厳美・山谷・達古袋の中学校が統合し、新設の厳美中学校として開校、学校給食開始（市内唯一）
50年 校章、校歌制定・校旗樹立式
58年 統合10周年記念式典挙行
平成 5年 統合20周年記念式典挙行
8年 新校舎完成・移転完了
9年 体育館完成・新校舎落成記念式典
15年 学校評議員設置
統合30周年記念式典挙行
22年 県中文祭鶏舞舞台発表
29年 男子卓球全国大会出場
30年 旧本寺中学校が厳美中学校に編入統合
令和元年 男子卓球個人全国大会出場
5年 新デザインの制服開始
統合50周年記念式典挙行

教育目標

- ・理想に燃え、たくましい生徒
- ・よく学び、よく考える生徒
- ・明るく、心豊かな生徒

めざす生徒像

理想に燃え、仲間と共に励ましあい、自己を磨く生徒

研究主題

学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図る学習活動のあり方
～わかる授業作りと学習の基礎・基本を意識した指導を通して～

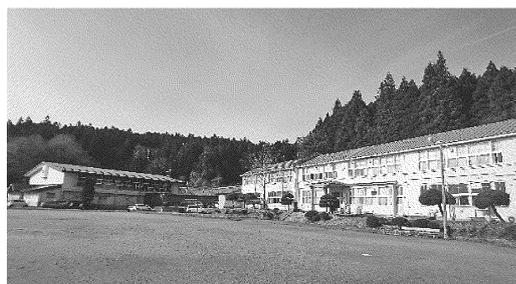
特色ある教育活動

1. 心身共に健康な生徒の育成
望ましい人間関係、自主的な判断と行動を実践活動を通し育成
2. 確かな学力の定着
進んで学ぶ意欲を育てる授業の創造
3. 復興教育の推進
命を大切に生き抜く力、自らの在り方、生き方を考えさせるための復興教育の推進
4. 特別支援教育の推進
特別支援会議の定例化により、支援を要する生徒の教育的ニーズを把握し、適切な支援を共通理解のもと行う
5. 開かれた学校づくりの推進
学校運営支援協議会立ち上げ、継続的な小中連携、校報等による情報発信と、「ふるさと隊」等を通じての地域行事への積極的参加

舞川中学校

〒021-0221
一関市舞川字中入92-8
TEL : 28-2823 FAX : 28-2118
E-mail : maichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：今川 晋
副校長：岸田 真一
教職員数：11名
生徒数：39名 学級数：5



沿革

昭和22年 4月 1日 舞川村字相川中入110番地、舞川青年学校内に舞川村立舞川中学校を創設
27年 8月16日 舞川村字相川中入108番地2に新校舎が完成
30年 1月 1日 町村合併により一関市立舞川中学校と改称
53年 9月17日 創立30周年記念式典挙行
62年 3月22日 新屋内体育館落成
平成 9年11月30日 創立50周年式典挙行
23年 4月 図書館・技術室耐震工事完了
25年 3月 校長室・会議室耐震工事完了
26年 1月 保健室耐震工事完了
27年 2月 校舎内バリアフリー工事完了
29年11月19日 創立70周年記念行事挙行
31年11月 職員室耐震工事終了
令和 2年 1月 普通教室空調設備工事完了
3年 1月 特別教室棟耐震工事完了
3年 9月 トイレ改修及び浄化槽設置工事完了
5年 1月 生徒活動室改修工事完了
6年 3月 普通教室床改修工事完了

教育目標

1. 基本目標
「心豊かで、知性を磨き、たくましい実行力のある生徒」
2. 具体目標
(1) 豊かな心を持ち、互いに励まし合う生徒
(2) 深く考え、進んで学習に取り組む生徒
(3) 心身共に健康で、進んで奉仕する生徒

研究主題

1. 研究主題
主体的に学ぶ生徒の育成
2. 研究内容
・「いわての授業づくり3つの視点」を取り入れた授業実践
※今年度の重点「学習の見直し」
・各種調査結果による学力の実態把握と活用

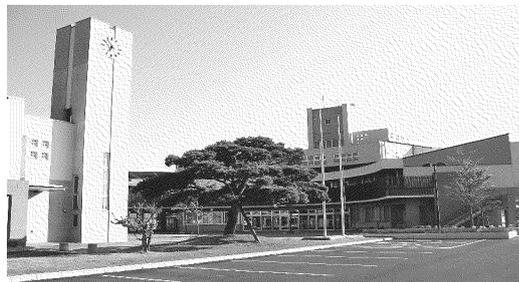
特色ある教育活動

1. 愛郷心、思いやりの心の育成
2. 花と緑に包まれた花いっぱい運動の実践
3. 地域にも働き掛ける530（ゴミゼロ）運動の推進
4. 郷土に伝わる文化を伝承する郷土芸能学習
5. 勤労、責任、礼儀を学ぶ中でふれあいを深める地域体験学習
6. 学校運営支援協議会との連携による教育活動の充実

花泉中学校

〒029-3105
一関市花泉町涌津字古川8番地
TEL: 82-5411 FAX: 36-1072
E-mail: hanachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 佐藤 拓史
副校長: 阿部 寿春
教職員数: 38名
生徒数: 302名 学級数: 12



沿革

平成17年4月1日、花泉南中学校と花泉北中学校が統合し、町内唯一の中学校として開校した。令和5年度から町内6つの小学校（永井、涌津、油島、花泉、老松、金沢）が統合し、令和6年度からは統合した花泉小学校を卒業した児童が本校へ進学する。学校に対する地域住民の関心も高く本校の教育活動への期待が大きい。

「文武両道・花と歌」を合い言葉に教育活動を展開している。特に合唱活動では、特設合唱部が令和4年度全日本合唱コンクール東北大会へ出場するなど実績を重ねており、あいさつ運動と合わせ本校の伝統として脈々と引き継がれている。

また、運動部の活動も活発で、これまで多くの部が各種大会で成果を挙げている。特に、平成30年度は、ソフトボール部が東北大会優勝、全国大会に3年連続出場し、第3位という輝かしい成績を残した。また、令和4年度は、女子卓球部が岩手県中学校新人大会で団体戦優勝を果たした。

学校教育目標

人間性豊かな心を持ち、たくましい実践力のある生徒の育成
自ら考え、進んで学ぶ生徒
礼節を重んじ、勤労と奉仕に励む生徒
心身を鍛え、向上意欲に燃える生徒

伸ばしたい力・身につけさせたい力

- 基礎・基本となる知識・技能を習得する力
- 学んだことをもとに自らの考えを持ち、表現する力
- 課題解決に向け、協動的に取り組む力
- 授業の振り返りをもとに、進んで家庭学習に取り組む力
- 場に応じたあいさつや返事、言葉遣いができる力
- 思いやりの気持ちを持ち、相手に接することができる力
- お互いのよさや困難さを認めあい、共生できる力
- 清掃やボランティア活動に進んで取り組める力
- 健康で安全に生活するための習慣を身につける力
- 問題に直面した時に、立ち直る力（助けを借りる力）
- 適切な目標を持ち、達成に向け粘り強く取り組む力
- 命を大切にし、安全な行動をとる力

校内研究計画

- スローガン
生徒も教師も意欲溢れる「わかる授業」「できる授業」の創造
- 学校全体で育成を目指す資質・能力
・学んだことをもとに自らの考えを持ち、表現する力
・基礎基本となる知識や技能を習得する力

大東中学校

〒029-0523
一関市大東町摺沢字上塚ノ沢21-1
TEL: 75-2227 FAX: 75-2593
E-mail: daichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長: 菅原 正浩
副校長: 菊池 啓志
教職員数: 24名
生徒数: 223名 学級数: 10



沿革

- 昭22. 4 大原町立大原中学校創立 興田村立興田中学校創立（中川分校、天狗田分室、丑石分室設置）
- 昭23. 1 内野分校開校
- 昭30. 4 町村合併により大東町立大原中学校と改称、同じく大東町立興田中学校と改称
- 昭32. 4. 1 摺沢中学校・浜田中学校を統合。大東町立大東中学校開校
- 昭44. 4 曾慶中学校を大東町立大東中学校に一部統合
- 平17. 1. 1 曾慶全域を大東町立大東中学校へ編入
- 平17. 9. 20 一関市立大東中学校に校名変更（市町村合併）
- 平26. 4. 1 猿沢中学校閉校に伴い、猿沢地区を学区に編入
- 令5. 4 大東地域三中学校統合、新生大東中学校開校
- 令5. 10 増築棟完成

教育目標

校訓: 切磋琢磨 自他共栄
～ふるさと大東を愛し、主体的に考え、心豊かに、心身を鍛える生徒の育成～
知 ○主体的に学び、広く深く考え、知性を高める生徒
徳 ○思いやりをもち、互いに認め合う、しなやかな生徒
体 ○自ら粘り強く鍛え、健康でたくましい生徒

研究主題

- (1) 研究主題
「主体的に学びに向かう生徒の育成」
～個別最適な学びと協動的な学びを活かした指導を通して～
- (2) 研究の内容
① 各教科の学習活動、単元構想等において「個別最適な学び」と「協動的な学び」を位置付け、ねらいに応じた体系的な充実を図る。
② ICTを活動した「指導の個別化」「学習の個性化」「協動的な学び」の実践と学び合いを通して、育成したい資質能力の育成を目指す。
③ ねらいを明確にした学習課題の設定と振り返りによる自己調整力の育成を目指す。
④ 「協動的な学び」を支える温かい人間関係を構築（学級学年経営・生徒会活動・行事）

特色ある教育活動

1. 生徒同士の望ましい人間関係づくりを図るとともに、集団の一員としての自覚と自己肯定感・自己有用感並びに成就感を育むために、節目となる行事を中核に据えた6期による教育活動を展開する。
<テーマ> 年間テーマ「多様性を認め、より高い自分に挑戦し続ける！」
第1期 新しい出発 第4期 連帯の喜び
第2期 目標への挑戦 第5期 自己実現への飛躍
第3期 自律の生活 第6期 誇りある大東中
2. 体験学習の充実
社会体験学習（大東地域内） 校外体験学習
3. 活発な生徒会活動
(1) 集団規律の高揚
(2) 委員会活動による生活の質の向上
(3) ボランティア、福祉・奉仕活動、学区内の地域行事への参加・協力

千 厩 中 学 校

〒029-0803
一関市千厩町千厩字上駒場195-5
TEL : 53-2146 FAX : 53-2301
E-mail : senchu@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 菊 池 弘 明
副 校 長 : 高 橋 走
教職員数 : 21名
生 徒 数 : 221名 学級数 : 10



沿 革

平成12年 4月 統合千厩中学校開校
8月 ソフトボール部県大会、東北大会優勝 全国大会出場
14年11月 校舎等落成式
15年 4月 学力向上フロンティアスクール県指定 (2年間)
16年 4月 少年数学級指定
8月 ソフトボール部県大会、東北大会優勝 全国大会出場
17年 3月 校舎南側校庭整備
9月 新市誕生 一関市立千厩中学校に改名
18年 4月 数学教科研究・市教委指定 全国大会出場
19年 8月 ソフトボール部県大会優勝 全国大会出場
21年 4月 岩手県立清明支援学校千厩分校設置
22年 4月 教育課程一般市教委指定 (2年間)
23年10月 学校公開研究会 (教育課程一般)
24年 7月 通信陸上県大会 低学年女子 4×100mリレー1位
25年 8月 太陽光発電パネル工事着工 (26年2月稼働)
26年 8月 ソフトボール・バドミントン男子ダブルス県大会優勝 東北大会出場
26年 9月 県新聞教育研究大会
27年 7月 ソフトボール部県大会優勝
28年11月 県新人大会男子バドミントン部優勝
29年 7月 バドミントン部県中学校総合体育大会 男子団体優勝
11月 バドミントン部県新人大会 男子団体・シングルス・ダブルス優勝
30年 7月 エアコン設置完了
令和元年10月 野球部県新人大会 優勝
創立20周年記念生徒会歌「開歌」制定
ソフトボール部県新人大会優勝
令和 4年10月 (千厩・大東・奥田・東山・藤沢中学校 合同チーム)
令和 5年11月 令和4・5年度 一関市教育委員会指定 学校公開研究会開催

教育目標

東山の雄としての誇りを持ち
豊かな人間性に支えられたよりよい中学校生活を目指し
知恵と心と体を鍛える生徒を育成する

研究主題

自ら考え、主体的に判断し、表現できる生徒の育成
～カリキュラム・マネジメントを生かした復興教育の推進を通して～

特色ある教育活動

千厩中学校まなびフェスト
(次代を担う千中生の『生きる力』を育みます)

確かな学力の定着

- 1 学習内容が定着していると思う生徒の割合を75%以上にします。
- 2 目標をもって家庭学習に取り組む生徒の割合を75%以上にします。

豊かな人間性の育成

- 1 復興教育を意識した生活を送る生徒の割合を70%以上にします。
- 2 「時を守り 場を清め 礼を正す」ができている生徒の割合を90%以上にします。
- 3 将来の夢やつきたい仕事など具体的な目標を持つ生徒の割合を70%以上にします。

健やかな心身の育成

- 1 日ごろから健康を意識した生活を送る生徒の割合を90%にします。
- 2 新体力テストで「A・B・C」の段階の生徒の割合を80%以上にします。

家庭や地域から信頼される学校

- 1 子供が学校から満足して帰ってきていると思う保護者の割合を70%以上にします。
- 2 地域行事への参加、地域でのボランティア活動に参加する生徒の割合を90%以上にします。
- 3 学校自己評価及び学校評価結果を公表し、学校経営の改善に努めます。

東 山 中 学 校

〒029-0302
一関市東山町長坂字北山谷46
TEL : 47-2108 FAX : 47-3956
E-mail : higachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 藤 原 洋
副 校 長 : 村 上 花 恵
教職員数 : 18名
生 徒 数 : 122名 学級数 : 8



沿 革

昭43. 4 長坂、田河津、松川の三中学校を統合(名目)し、東山中学校創立。
44.12 校歌制定。(鈴木林蔵氏作詞、作曲)
45. 4 実質統合東山中学校発足。生徒数626名
48.10 県「道徳」講習会公開研究会開催。
49.10 県「理科」公開研究会開催。
53.10 文部省指定「生徒指導」公開研究会開催。
55.10 文部省指定「道徳」公開研究会開催。
平 2.11 県指定「教育課程」公開研究会開催。
9.11 創立30周年記念式典挙行。
17. 9 一関市との合併により一関市立東山中学校となる。
21. 3 第一体育館及びクラブハウス改築工事完了。
24.11 仮設校舎竣工。
25. 3 教室棟解体。
26. 3 新校舎完成。
27. 9 大規模改修等工事完了。
29.10 創立50周年記念式典挙行。
30.11 一関市教委指定「教育課程」学校公開研究会開催。
令和 4・5年度 地域交通安全モデル校 及び ハンドコミュニケーションモデル校指定。

教育目標

- (1) 確かめる学習 「知育」
- (2) 豊かな心 「徳育」
- (3) 逞しい体 「体育」
- (4) 節度ある生活 「規律」

めざす生徒像

自らの生活を高める生徒
みんなと協力できる生徒
きまりや約束を守る生徒

研究主題

「自分の思いや考えを豊かに表現できる生徒の育成」
～根拠をもとに表現する活動を通して～

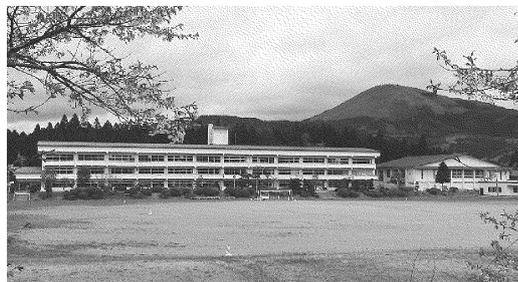
特色ある教育活動

- 1 読書活動の推進
・全校朝の10分間読書の実施
- 2 ボランティア活動の推進
・全校生徒による通学路美化や清掃活動等のボランティア
・生徒会主催による資源回収を、PTAとの連携のもとに実施
- 3 地域行事への生徒の積極的な参加
・「唐梅館絵巻」祭の行列・軍議に3年生が参加
- 4 総合的な学習における地域学習
・1学年「東山を知る」～調査、研究活動
(東山和紙や紫雲石硯の講演、見学や体験学習を通して)
・2学年「生き方を学ぶ」～地域内社会体験学習
(働くことの意義、人々の生き方や職業観に触れる体験を通して)
・3学年「生き方を考える」～課題研究と提言
(被災地訪問や修学旅行から地域を見つめ直す体験を通して)

室根中学校

〒029-1202
一関市室根町矢越字五反田41-2
TEL : 64-2131 FAX : 64-3934
E-mail : murochu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：菅原 宰喜
副校長：那須 聡
教職員数：12名
生徒数：75名 学級数：4



教育目標

- 心身共に健康で、自ら行動できる人間性豊かな生徒の育成
(生きる力)
- (1) 意欲をもち、主体的に学ぶ生徒 (確かな学力)
 - (2) 心豊かで、思いやりのある生徒 (豊かな人間性)
 - (3) 体を鍛え、最後までやり抜く生徒 (健康・体力)

研究主題

主体的な学習を支える確かな学力を育成する学習指導のあり方
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、
基礎基本の定着と学習意欲の高まりを目指して～

特色ある教育活動

- (1) 学力向上を目指し、生徒個々の能力の伸長を図る学習の展開
- (2) 信頼を深め、心の豊かさを育てる生徒指導
 - ・生徒理解に努め、温かい人間関係の基に展開される生徒指導
 - ・挨拶・歌声の響く学校、美しい学校を目指し、充実感・存在感もてる活動の展開 (合唱集会、生徒集会、花壇整備)
- (3) 自主的・積極的に実践する態度を育てる特別活動
 - ・喜び・充実感を味わえる2大行事 (体育祭、文化祭) の実施
 - ・自主性を育て、連帯感を高める宿泊研修、修学旅行の実施 (1、3年)
 - ・生き方指導に根差した進路指導・キャリア教育の充実 (2年生：社会体験学習 3年生：上級学校説明会)

沿革

- 昭46. 4. 1 統合室根中学校創立
48. 1. 30 新校舎落成
48. 4. 1 実質統合中学校として発足
48. 8. 13 屋内体育館完成
57. 11. 28 統合10周年記念式典
58. 1. 12 柔剣道場完成
平 4. 12. 5 統合20周年記念式典
9. 10. 24 文部省指定生徒指導総合推進校学校公開
10. 11. 30 クラブハウス完成
14. 11. 30 統合30周年記念式典
17. 9. 20 一関市立室根中学校改称
17. 12. 18 全国中学校駅伝大会出場 (男子)
19. 12. 9 岩手県学校歯科保健最優秀校受賞
21. 11. 16 校舎耐震補強 (建築) 工事竣工
25. 4. 21 盛岡一周継走大会優勝 (女子)
25. 10. 10 一関市教育委員会指定学校公開
27. 10. 4 東北PTA連絡協議会長表彰受賞
令 5. 11. 5 統合50周年記念式典

川崎中学校

〒029-0202
一関市川崎町薄衣字上段1
TEL : 43-3115 FAX : 43-3608
E-mail : kawachu@city.ichinoseki.iwate.jp

校長：眞島 繁明
副校長：高木 由子
教職員数：12名
生徒数：51名 学級数：4



教育目標

豊かな心と進んで学ぶ心を持ち、明るく逞しく生きる生徒の育成

よく学びとる生徒 (知)
よく思いやる生徒 (徳)
よく鍛えみがく生徒 (体)

か…賢く
わ…和・輪を大切に
さ…最高を目指す
き…規律ある楽しい学校

研究主題

主体的に学習に取り組む生徒の育成
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践を通して～

特色ある教育活動

- (1) 習熟と活用のバランスに配慮した「わかる授業」授業と困り感や生徒の特性に対応した「個別の指導」
 - ・資質・能力の向上に向けた授業時間の確保と授業展開の工夫
 - ・授業展開での個別最適な学び (指導の個別化・学習の個性化) の工夫
 - ・家庭学習と宿題の工夫と継続
 - ・各種調査等の分析と活用
- (2) 読書活動の推進
 - ・テーマ読書の推進、「読書通帳」の活用
- (3) 個々の違いを認め、尊重する思いやりのある学校生活づくり
 - ・明るい挨拶と温かい言葉づかいの徹底
 - ・いじめ撲滅集会、いじめ撲滅宣言の実施
 - ・統制り班による活動の充実
 - ・自己の考えを発信し、他者の考えを尊重する「道徳」の時間の充実
- (4) 生徒会活動等への積極的参加促進
 - ・「挨拶、清掃、時間、合唱」の向上
 - ・自主的なボランティア活動、地域行事の推進
- (5) 規則正しい生活習慣、健康習慣の確立
 - ・スクラ手帳による計画的な家庭学習と質の向上
 - ・テレビ、ゲーム、スマホ等、家庭におけるルールづくりの推進
- (6) キャリア教育・いわての復興教育の充実
 - ・進路学習、職場体験学習、防災学習の充実
 - ・キャリア教育の土台である「時を守り」「場を清め」「礼を正す」の啓発と徹底・継続

沿革

- 昭22. 4. 1 薄衣村立薄衣中学校、門崎村立門崎中学校開校
37. 4. 1 両校統合し、川崎村立川崎中学校と改称
40. 4. 1 川崎村立川崎中学校校舎落成
41. 2. 1 川崎中学校校歌制定
平 3. 10. 16 文部省指定 武道指導推進校学校公開
8. 11. 1 文部省指定 道徳教育推進校道徳教育研究発表会
9. 6. 18 環境省水質保全局 水環境賞受賞
14. 10. 25 創立40周年記念式典開催
15. 4. 1 岩手県内初の二学期制開始
17. 1. 13 岩手県学校歯科保健最優秀校受賞
17. 9. 20 市町村合併により一関市立川崎中学校と改称
21. 1. 27 新グラウンド完成
21. 4. 23～ 県内初の沖縄学習旅行
23. 11. 9 新校舎落成
24. 3. 9 新体育館落成
24. 11. 10 落成式・創立50周年記念事業開催
25. 3. 22 外構工事完了
27. 11. 6 一関市教育委員会指定学校公開研究会開催
30. 10. 19 「社会を明るくする運動」法務大臣表彰
令 4. 11. 12 創立60周年記念式典挙行
5. 4. 23 読書活動優秀実践校 文部科学大臣表彰

藤 沢 中 学 校

〒029-3405
 一関市藤沢町藤沢字狩野40-3
 TEL : 63-2323 FAX : 63-2611
 E-mail : fujichu@city.ichinoseki.iwate.jp

校 長 : 大 川 憲 一
 副 校 長 : 菅 野 太 郎
 教職員数 : 19名
 生 徒 数 : 148名 学級数 : 9



沿 革

- 平16. 4. 1 旧藤沢・黄海の2中学校が統合し、藤沢町立藤沢中学校創立
 11. 8 技術棟改修工事完了
 20. 8. 3 校舎移転
 仁郷から藤沢字狩野40-3への校舎移転
 23. 9.26 合併により一関市立藤沢中学校となる
 24. 3. 7 東日本大震災災害復旧工事完了
 25. 7.10 創立10周年記念講演会実施
 26. 8.18 屋内運動場耐震改修工事完成
 30. 4. 1 難聴学級新設
 令 2. 4. 1 一関市教育委員会研究指定（教育課程一般）
 2. 4.30 屋外トイレ完成
 3.10.27 一関教育委員会指定学校公開研究会開催

教育目標

人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と創造性に富み、最後までやりとげるたくましい生徒を育成する。

	東阜の書より	目指す生徒像
知育	為己…己のために為す	学習に意欲的に取り組み自己実現を図る生徒
徳育	遂志…志を遂げる	目標を持って努力する生徒
体育	躍清…清々しく躍る	心豊かでたくましい生徒

研究主題

見通しをもって粘り強く学習に取り組む生徒の育成
 一貫拠をもって自分の考えを表現する授業実践を通して一

特色ある教育活動

- まなびフェストの取り組みを通して、「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成、「生きる力」を育む教育課程の展開を図る。
- 教職員が課題意識を持ち、連携して学校力向上（生徒の力をつける指導）を図る。
- 家庭・地域と連携し、協力を得ながら相互交流の指導を行う。
 - ・野焼祭への参加（作品制作、セレモニーへの参加）
 - ・オーストラリア・セントラルハイランズ市やベトナム・ホーチミン市の高校生・大学生との交流

県立 一関第一高等学校附属中学校

URL:<http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/index.html>

〒021-0894
 一関市磐井町9-1
 TEL : 23-4411 FAX : 23-4413
 E-mail : ic-h@iwate-ed.jp

校 長 : 三 浦 立
 副 校 長 : 小 原 亮
 教職員数 : 20名
 生 徒 数 : 211名 学級数 : 6



沿 革

- 平成21年 4月 1日 岩手県立一関第一高等学校附属中学校創立
 21年 4月 7日 開校式、入学式
 21年 4月 25日 P T A 結成総会
 24年 3月 18日 第 1 回卒業式

教育理念

中高一貫教育のもと、特色ある教育活動を展開し、豊かな人間性と高い知性を合わせ持ち、社会の進歩と発展に貢献する次世代のリーダーを育成する。

教育目標

岩手で、日本で、世界で活躍するリーダーの育成

特色ある教育活動

- 主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業の充実と学力向上
 - ・他者との協働による学習活動の充実
 - ・モジュールによる「国語・数学・英語」の時数増
 - ・レポート作成やプレゼンテーション等の学習活動の充実
 - ・探求的な学習の推進（中3と高1合同）
- 「高志タイム」を中心としたキャリア教育の充実
 - ・「職業や自分の将来に関する課題」、「学校の特色に応じた課題」、「生徒の興味・関心に基づく課題」について探究的な学習を展開
- 中高一貫校としてのメリットを生かした取組
 - ・高校生や大学生から学ぶ機会の設定
 - ・高校進路課との連携
 - ・体育祭の中高合同実施
- 生徒一人ひとりに寄り添う生徒指導の充実
 - ・全生徒を対象に年間4回以上の教育相談を実施
 - ・アンケート調査等による諸問題の早期発見
 - ・保護者との希望面談、三者面談の実施
- 品格と活力のある学校づくり
 - ・中学生段階で身につけさせたい生活習慣の徹底
 - ・「附中三氣」を意識した学校生活
 - ・生徒会活動や部活動を自主的、自発的な活動として支援

(3) 高等学校

県立 一関第一高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/ic1-h/	〒021-0894 一関市磐井町9-1 TEL : 23-4311 FAX : 23-4661	校長：三浦 立也 (全日制) 副校長：竿代 愛 淳 (定時制) 教職員数：全日制 44名 定時制 8名 職員数：57名 生徒数：全日制559名 定時制22名 学級数：全日制 15 定時制 4
 <p>沿革 本校は、明治31(西暦1898)年に岩手県一関尋常中学校として創設された。現在の校名に改称され、定時制課程が併設されたのは昭和23年であった。昭和25年には商業科が設置されたが、47年に同科の募集は停止となり、新たに理数科が設置され現在に至っている。 平成16年には、選抜高等学校野球大会で「21世紀枠」に選ばれ、49年ぶりに甲子園大会出場を果たした。 平成19年には県内に誇る最新式設備を備えた新校舎が完成した。 また、平成21年には、県内初の併設型中高一貫校となり、同じ敷地内で高校生と中学生がともに学んでいる。</p>	<p>教育目標 岩手で、日本で、世界で活躍するリーダーの育成</p> <p>特色ある教育活動 (全日制) 1 1年生は普通・理数科として募集しているが、2年生からは生徒の多様な進路に対応するため、2つの学科(普通科・理数科)と、普通科の中に3つのコース制(文Ⅰ・文Ⅱ・理系)を設けている。 2 「文武両道」を具現化するため、50分7校時授業を実施し、授業時間の確保と、部活動・委員会活動等の充実を図っている。また、生徒会主催の行事についても、多様な行事を企画・実施している。 3 SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)に指定され、国際科学技術関係的な人材の育成に取り組んでいる。</p> <p>(定時制) 1 『生きる力』を育むため、「総合的な探究の時間」に学校と地域社会を結ぶ様々な体験学習を年10回程度実施している。 2 45分授業を実施し、放課後に「バドミントン」等の部活動を実施している。</p>	

県立 一関第二高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/ic2-h/	〒021-0041 一関市赤荻字野中23-1 TEL : 25-2241 FAX : 25-2921	校長：佐藤 禎 信 副校長：千葉 武 徳 教職員数：65名 生徒数：588名 学級数：15
 <p>沿革 明治40年5月、郡立西磐井女子職業学校として創立。その後大正8年に県に移管され、一関実科高等女学校となり、その後一関高等女学校と改称される。昭和23年には一関第二高等学校となり普通科、農業科、土木科の学科を持つ総合高校として男女共学でスタート。昭和43年に農業科、生活科が一関農業高等学校として分離独立。さらに昭和53年には土木科が分離し、一関工業高校へ移管になる。 平成2年になり福祉教養科が新設される。平成16年に旧一関農業高校と統合し、総合学科が新設され、新一関第二高等学校が開校する。 平成29年に創立110周年を迎えた。</p>	<p>教育目標 真理と正義を愛し、自主的精神と強い意志を持ち、豊かな創造力に富む人間の育成 (1) 個性の尊重と調和 心身の健全な発達をはかり、個性を磨くとともに、社会の一員として調和のとれたたくましい人間を育成する。(自主の心) (2) 自主と自立 主体的、意欲的に学習する態度を身につけ、真理を探究し、社会に貢献できる人間を育成する。(意志の力) (3) 豊かな感性と創造力 豊かな感性と創造力に富み、他者の考えを尊重しながら多様な変化に柔軟に対応できる力を育成する。(創造の意欲)</p> <p>特色ある教育活動 (1) 学習活動 総合学科高校として、「自分の未来をプロデュース」のスローガンのもと、5つの系列に別れ多様な進路目標の実現を可能にする学習活動を行っている。また、農業高校の流れをくんだ農業実習では、命にふれながら農業を実践的に学ぶとともに、福祉教養科の流れをくんだ介護実習や支援学校との交流も行っている。 (2) 多彩な学校行事 クラスマッチや二高祭、関西方面への修学旅行と多彩。また卒業式における全校生徒による「第九」合唱は、「合唱のまち」一関を象徴する伝統として継承されている。 (3) 盛んな部活動 フェンシング部・陸上競技部・バドミントン部・卓球部などの運動部、音楽部、吹奏楽部・演劇部・太鼓道場部などの文化部、ともに活動が盛んである。</p>	

<p>県立 一関工業高等学校 URL:http://www2.iwate-ed.jp/ict-h/</p>	<p>〒021-0902 一関市萩荘字釜ヶ淵50番地 TEL : 24-2331 FAX : 24-4540 E-mail : ict-h@iwate-ed.jp</p>	<p>校長：菅原 基 副校長：菊池 平 教職員数：43名 生徒数：309名 学級数：9</p>
 <p>沿革 昭和34年、一関市立工業高等学校として電気科と電気通信科の2学科で開校、昭和49年には岩手県立一関工業高等学校となり、昭和53年には一関第二高等学校から土木科が移管、昭和62年には電子機械科が設置され、電気科・電子科・電子機械科・土木科の4学科となり、令和2年度には電気電子科・電子機械科・土木科の3学科の工業高校として現在に至っている。 同窓生は9千人を超え、両磐地区は及ばず広く県内外に有為の人材を輩出し、まさに工業立国日本を支えてきた学校である。</p>	<p>教育目標 地域と協働したスペシャリストの育成 「知識力」・「技術・創造力」・「人間力」を充実させ、工業人としての基礎力の向上 (1) 基礎学力と技術力の育成 (2) 豊かな人間性・創造性の育成 (3) 健全な心身の育成</p> <p>特色ある教育活動 専門を生かした地元企業への就職をはじめ、県外大手企業、国家・地方公務員、四年制大学を始めとする上級学校への進学など、「高い学力を誇る工業高校」として県内のみならず全国的にも知られている。また、地域と連携した学校運営協議会を活用し、地域産業を学び郷土愛を持って地域に貢献できる人材を育成している。 企業・大学・官庁等とも連携しており、地域の企業経営者等からの講義や企業と協働した取組、大学から講師を招いての出前授業、一関市長講話など、実践的な知識・技術も習得させている。 資格取得においては、国家資格や技能士など資格取得へ向けた取組を強化している。</p>	

<p>県立 花泉高等学校 URL:http://www2.iwate-ed.jp/han-h/</p>	<p>〒029-3101 一関市花泉町花泉字林の沢17-9 TEL : 82-3363 FAX : 82-5448</p>	<p>校長：橋本 ゆかり 副校長：及川 総司 教職員数：17名 生徒数：86名 学級数：3</p>
 <p>沿革 昭和23年 県立一関第一高等学校定時制課程普通科流れ分校発足 24年 県立花泉高等学校となる。開校式 26年 校舎落成記念式典 47年 商業科新設 51年 新体育館竣工 52年 創立30周年記念式典 62年 創立40周年記念式典・第二校舎落成 平成元年 情報処理科新設 9年 創立50周年記念式典 12年 セミナーハウス竣工 18年 商業科閉科 19年 創立60周年記念式典 29年 創立70周年記念式典</p>	<p>校訓 知行合一</p> <p>教育目標 1 幅広い知識と教養、真理を求めめる態度を身につけた生徒を育成する 2 豊かな情操と道徳心を持ち、心身の調和のとれた生徒を育成する 3 進んで働くとする意欲を持ち、社会に貢献できる生徒を育成する 4 伝統と文化を尊重し、国と郷土を愛する心を持った生徒を育成する</p> <p>目指す学校像 1 学力向上に向けて積極的に努力する学校 2 規律ある生活態度、責任感と品位を重んじる学校 3 生徒の個性を尊重し、生徒の社会性の育成と多様な進路希望を実現できる学校 4 生徒の安全安心を確保し、保護者や地域から信頼される学校</p> <p>特色ある教育活動 1 各学年1学級の募集定員であるが、一人ひとりに手をかけ、目をかけ、丁寧に指導を行うために各学年2学級の編成にしている。数学・英語では習熟度による授業を行ったり、学校設定科目「ベーシック」では進路別に細やかな指導を行ったりと、生徒の学力向上に成果をあげている。 2 「地域に根ざし、地域を支える存在」として、PTAや地域と連携し様々な行事に参加したり、ボランティア活動に積極的に参加したり、生徒はいきいきと活動している。地域の方々のご協力をいただきながら「地域課題研究」を行っており、新たな発見と郷土愛を膨らませている。 3 進路においては就職希望者内定率100%達成はもとより、進学面でも国公立大学合格者を出すなど、充実した成果をあげている。一人一人の個性を生かし、能力を伸ばす教育を目指し、生徒自らが考え行動する機会をさらに増やして、昨年を上回る活動や実績を目指していく。</p>	

<p>県立 大東高等学校 URL: https://www2.iwate-ed.jp/dai-h/ URL: https://dai-hs.note.jp</p>	<p>〒029-0523 一関市大東町摺沢字堀河ノ沢34-4 TEL: 75-3369 FAX: 75-3117</p>	<p>校長: 大石 敦子 副校長: 曾根 達也 教職員数: 33名 生徒数: 161名 学級数: 9</p>
 <p>沿革 大正15年 私立摺沢家政女学校として設立 昭和23年 組合立摺沢高等学校と改称 県立移管、岩手県立摺沢高等学校となる 定時制課程大原分校(夜間制普通科)設置 39年 岩手県立大東高等学校(全日制課程・普通科)と改称 大原分校(全日制課程・商業科)と改称 48年 大原分校が岩手県立大原商業高等学校として開校 平成10年 大原商業高校創立50周年記念式典挙行 18年 大東高校および大原商業高校の統合により新岩手県立大東高等学校開校 27年 大東高校創立90周年記念式典挙行</p>	<p>目指す学校像</p> <ol style="list-style-type: none"> 本校での教育・諸活動を通じて、知性を高め、豊かな心を磨き、生徒一人ひとりの笑顔が輝く学校 自己実現に向けて常に可能性に挑戦し、自他の良さを認め合いながら切磋琢磨する学校 一人ひとりの個性や資質・能力を最大限引き出す教育により、持続可能な社会を担う人材を育成する学校 地域に発信し、地域から信頼される学校 <p>特色ある教育活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 普通科6学級、情報ビジネス科3学級の計9学級の編成となっています。本校教育活動の最大の特徴は、生徒一人ひとりの多様な進路目標実現にきめ細かに対応出来る体制を堅持していることです。また、地区で唯一の商業系学科を有する高校でもあります。 「文武両道」を目標として日々切磋琢磨し、進路実績では昨年度岩手大学等の国公立大学をはじめ、私立大学、短大、専修学校等へ34名が進学を果たしています。また、就職では希望者24名が、公務員はじめ県内大手企業の製造・販売等多岐にわたって就職しています。部活動は、運動部では弓道部が令和5年12月に全国高等学校弓道選抜大会全国大会に出場しました。文化部では、昨年度岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展立休部門で特賞を受賞し、今年度全国高等学校総合文化祭岐阜大会に推薦されるなど、地域に密着した活動をしています。 模擬株式会社「DjoB」を立ち上げ、地元企業と連携し、様々なイベントへの参加や企画の提案、ボランティア活動の推進をしています。また、岩手県の「高校の魅力化・ふるさと創生事業指定校」、一関市社会福祉協議会の「ボランティア協力校」として、地域との共働に積極的に取り組んでいます。 	

<p>県立 千厩高等学校 URL: http://www2.iwate-ed.jp/sen-h/</p>	<p>〒029-0803 一関市千厩町千厩字石堂45-2 TEL: 53-2091 FAX: 52-3170 E-mail: sen-h@iwate-ed.jp</p>	<p>校長: 熊谷 道仁 副校長: 平田 勝彦 教職員数: 54名 生徒数: 458名 学級数: 15</p>
 <p>沿革 明治35年、県南の千厩の地に県下2番目の農学校(蚕業学校)として開校し、今年で創立122年を迎える伝統校です。 昭和49年の普通科独立を契機に、千厩高校と千厩農業高校に分離。その後、千厩農業高校に工業系学科である産業技術科が設置され、校名を千厩東高校に改めました。 平成14年、県の新高校再編計画に伴い、千厩高校と千厩東高校が統合し、県内唯一の普通科に専門学科2つを併置する高校としてスタートしました。さらに、平成20年度には藤沢高校と完全統合し、地域に根ざした学校として有為な人材の育成に力を入れています。</p>	<p>教育目標 自主・自律の精神に富み、生涯にわたり学ぶ意欲と国際的視野を持った心身ともに健康でたくましい人間を育成する。</p> <p>めざす学校像 どの生徒にとっても「居心地のよい学校づくり」を目指します。</p> <p>特色ある教育活動</p> <p>【普通科】 1年生では、高校での必修科目を中心に、3年間の基礎となる学習に取り組み、すべての進路に対応できる学力を身に付けます。 2年生から、それぞれの進路希望に応じて「文系」と「理系」のコースに分かれて学習します。 「文系」コースでは、国語、地理・歴史の科目が増え、1年生で学んだ芸術科目を継続します。3年生ではさらに「文系Ⅰ」と「文系総合」に分かれます。「文系総合」では芸術科目の継続と保育基礎の授業が開講されます。 「理系」コースでは、数学、理科の科目が増え、理学・工学・医療系の進学に対応した学習に取り組みます。</p> <p>【生産技術科】 農業学習を通して、地域社会に貢献できる人材育成を目的に、実践的・体験的な学習と、農業や生活等の関連産業での見学等を行い、深い学びと農業と生活への興味関心を持ちます。学習に関する沢山の資格を取得することができます。</p> <p>【産業技術科】 「ものづくり」を通して、地域社会に貢献できるように、実践的・体験的な学習活動を取り入れながら、機械や電気、情報技術など、工業の基礎的な知識や技術を重点的に学習します。電気工事士や各種技能検定などの資格を在学中に取得することができます。</p> <p>【部活動】 〔運動部14〕陸上競技、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、サッカー、バドミントン、ボクシング、剣道、弓道、ソフトボール、ワンダーフォーゲル、硬式野球、柔道 〔文化部8〕書道、美術、音楽、吹奏楽、演劇、写真、茶道、箏曲</p>	

学校法人一関学院
一関学院高等学校

URL: <https://www.ichinoseki-gakuin.jp>

〒021-0871
一関市八幡町5-24
TEL: 23-4240 FAX: 23-4245
E-mail: info@ichinoseki-gakuin.jp

校長: 藤田 一彦
副校長: 佐々木 格・橋野 智弘
教職員数: 37名
全日制生徒数: 353名 学級数: 12
通信制生徒数: 137名 学級数: 5



沿革

- 昭和13年 一関夜間中学校創立・初代校長 芳川顕雄
- 16年 一関商業学校認可
- 23年 財団法人岩手県開城高等学校と改称認可
- 26年 学校法人一関学院と改称
- 34年 開城高等学校(夜間)・一関商業高等学校(昼間)と改称
- 38年 一関商業高等学校に電気通信科を併設、夜間部を開城工業高等学校と改称
- 57年 一関商業高等学校と改称
- 59年 第2校舎落成式
- 62年 情報処理科を新設
- 63年 創立50周年記念式典・森林公園グラウンド完成・制度を改定
- 平成5年 情報ビジネス科を新設(商業科を募集停止)
- 6年 管理棟増築完成
- 11年 別科洋裁科新設
- 12年 実習棟増築完成
- 13年 一関学院高等学校と改称
- 15年 通信制課程新設、電子科廃止
- 16年 別科洋裁科廃止
- 19年 情報処理科生徒募集停止、制服改定
- 20年 創立70周年記念式典
- 21年 情報処理科廃止
- 25年 第3校舎建替
- 30年 創立80周年記念式典

教育目標

(本校の教育理念)
文武両道において全国レベルで活躍し、東北の私学の雄として地域に貢献できる人材育成を目指す。

(校訓) 勤労 [diligence] 敬愛 [reverence] 協調 [harmony]

(教育目標)

- (1) 個性豊かで知性に満ちた人間を育成する
- (2) スポーツ、文化活動を通じ、心身ともに健康な人間を育成する
- (3) 勤労の精神を体得し、活動的人間を育成する
- (4) 社会に貢献する有能な人材を育成する

(本校の目指す生徒像)

- (1) 明るく挨拶を交わし、時間を守る生徒(第一印象と信頼性)
- (2) 思いやりの心を持ち、責任感の強い生徒(誠実さ)
- (3) 常に自己を意欲的に切り拓く生徒(挑戦と学び)

特色ある教育活動

(全日制)

- 1 個々の進路目標を実現するために特別進学コース、進学コース、総合ビジネスコース、体育コースの四つのコースに分かれて学習します。
- 2 運動部では硬式野球部、陸上競技部、バスケットボール部、ソフトテニス部など全国大会に出場する実力のある運動部をはじめ、柔道部、バドミントン部、サッカー部が活躍しています。また、文化部では県大会で金賞を受賞する実力をつけてきた吹奏楽部の他に美術部、商業部、郷土史文化研究会、パソコン部、家庭サークル、ダンス同好会があります。
- 3 進学実績では、国公立大学2名をはじめ大学、短大、専門学校に80名が合格しました。就職については、例年高い内定率を実現しています。

(通信制)

- 1 通学コースと在宅コースのいずれかを選択し学習します。
- 2 スクーリングは毎週土・日(気仙沼教室は水・木・金)
- 3 添削指導によるレポート学習
- 4 進学、就職における手厚い指導。大学進学に向けて履修科目の指導や課外学習を行っています。

学校法人 健康科学大学
一関修紅高等学校

URL: <http://www.shuko.ed.jp>

〒021-0807
一関市宇東花玉町6-1
TEL: 23-3096 FAX: 23-3095
E-mail: shuko@shuko.ed.jp

校長: 中島 元子
副校長: 吉瀬 献策
教職員数: 36名
生徒数: 435名 学級数: 15

学びのカタチが大きく変わります



例えば...①

製菓衛生師
(パティシエ)
高校在学中に資格
取得が可能になります。

例えば...②

ドローン操縦・
公務員講座など多
彩な学びを用意。

3コースで進路実現

進学探究コース
キャリア探究コース
ライフデザインコース



沿革

- 明治32年 5月 小梨こま裁縫塾を開塾。(本校創立)
- 昭和23年 4月 学制改革により、一関修紅高等学校(被服科)開校。
- 平成21年 5月 創立110周年 記念式典挙行並びに記念講演会実施。
- 平成28年12月 体育館を新設。
- 平成29年 4月 「学校法人富士修紅学院」を「学校法人健康科学大学」に名称変更。
- 平成29年 4月 普通科に看護進学コースを設置。
- 平成30年 4月 普通科にライフデザインコースを設置。
- 令和元年 6月 創立120周年記念式典・講演会を開催。

校訓 「至心」・「自立」・「友愛」

教育目標

- ① 「至心(ししん)」すなわち、「まごころ」をつくす人間を育てる。
- ② 己を自覚し、自立する人間を育てる。
- ③ 視野の広い慈愛に満ちた人間を育てる。
- ④ 勤勉で感謝と奉仕のできる人間を育てる。

学校経営・指導の重点

より地域から信頼される学校を目指し、本校では、生徒・保護者、教職員が一体となった運営を実践体系化するため、次のことに努めています。
生徒の適性や多様性を理解し、個々の能力を伸ばす教育を実践する。
安全で楽しい学校生活を保障する。
読解力、計算力、一般教養などを身につけるなど、基礎的、発展的な学力向上を図る。
進路意識・職業意識の向上と適切な進路指導に努める。礼節、忍耐力などの人間力の向上を図る。

特色ある教育活動

令和6年度入学生より、従来のコースの特徴をさらにグレードアップした新たな学びのプログラムがはじまります。入学時には、各生徒の進路希望に応える3コース(進学探究・キャリア探究・ライフデザイン)でスタートします。2年進級次には、【アドバンスト・進学・看護医療・幼児教育・総合キャリア・ライフデザイン】の6コースに分かれます。さらに、従来の学習活動に加え、(ITプログラミング・公務員養成・資格検定取得・地域キャリア・フード系・ファッション系・アート系)などの多様なメニューで学習意欲の向上と実力を高めていきます。

県内の高校ではいち早く入試出願Web登録を開始するなど、ICT教育の推進と充実を図っています。全館Wi-Fi化の整備のもと、生徒は個人のiPadを活用し各アプリの補助教材などを駆使した学習スタイルへと移行していきます。これからは時代と個人のニーズに応える教育活動を展開してゆく学校を目指してゆきます。

(4) 高等専門学校・短期大学

<p>独立行政法人 国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校 URL: https://www.ichinoseki.ac.jp/</p>	<p>〒021-8511 一関市萩荘字高梨 TEL: 24-4700 FAX: 24-2146 E-mail: s-somu@ichinoseki.ac.jp</p>	<p>校長: 小林 淳哉 副校長: 中山 淳・照井 教文 谷川 享行・若嶋振一郎 千田 栄幸・福村 卓也 教職員数: 98名 学生数: 806名 学級数: 22</p>
	<p>教育目標 本校では、次のような素養と能力を身につけた技術者の育成を目標とする。 ・国際社会の一員として活動できる技術者 ・誠実で豊かな人間性と広い視野を持つ技術者 ・広い分野の基礎知識と優れた創造力・開発力をもつ技術者 ・継続的に努力する姿勢とさかんな研究心をもつ技術者 ・協調性と積極性をもち信頼される技術者 ・技術と社会や自然との係わりを理解し社会的責任を自覚できる技術者</p>	
<p>沿革</p> <p>昭和39. 4. 1 一関工業高等専門学校設置 機械工学科2学級、電気工学科1学級2学科で発足</p> <p>44. 3. 19 第1回卒業証書授与式挙行</p> <p>44. 4. 1 化学工学科1学級1学科設置</p> <p>59. 10. 23 創立20周年記念式典挙行</p> <p>平成元. 4. 1 機械工学科2学級のうち1学級を制御情報工学科に改組</p> <p>6. 10. 7 創立30周年記念式典挙行</p> <p>7. 4. 1 化学工学科を物質化学工学科に改組</p> <p>13. 4. 1 専攻科(生産工学専攻、物質化学工学専攻)設置</p> <p>15. 4. 1 電気工学科を電気情報工学科に名称変更</p> <p>16. 4. 1 独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校に移行</p> <p>16. 10. 1 創立40周年記念式典挙行</p> <p>17. 5. 12 「生産技術情報システム工学」教育プログラムが日本技術者教育認定機(JABEE)の認定を受ける。</p> <p>26. 4. 19 創立50周年記念式典挙行</p> <p>27. 3. 30 学生寮新棟(東寮)竣工</p> <p>29. 4. 1 機械工学科、電気情報工学科、制御情報工学科及び物質化学工学科を未来創造工学科に改組</p> <p>令和 2. 3. 24 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施する令和元年度「高等専門学校機関別認証評価」において、評価基準を満たしていると認定された。</p> <p>4. 4. 1 専攻科生産工学専攻、物質科学工学専攻をシステム創造工学専攻に改組</p>	<p>研究活動 国立の高等教育機関として、教員は機械・知能、電気・電子、情報・ソフトウェア、化学・バイオ、総合科学(人文社会及び自然科学)の分野における学術的な研究を行っています。また、学生も教員の指導を受けながら、本科の卒業研究、専攻科の特別研究として研究活動に取り組んでいます。 産学官交流の拠点及び学内共同教育研究施設として地域共同テクノセンターがあります。これは、教員等の研究活動を支援し学生の教育に還元するとともに、技術相談、共同研究、公開講座等を通じて産業界との交流を図っています。</p> <p>特色ある教育活動 創造性豊かで実践的な開発型技術者を育成しています。 本科では幅広い教養を身につける一般科目と高度な専門性を身につける専門科目をくさび形に配置した5年間の一貫教育により、効果的な教育を行っています。 また、本科の教育の上に、より高度な専門と広範な基礎知識や技術の習得を目的とする2年間の専攻科があり、大学学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得することができます。 本科卒業生の進路は、進学と就職がほぼ半数であり、進学先は専攻科及び国立大学等(3年次編入学)となっています。 専攻科修了生の進路は、大学院進学または就職であり、多様な進路が開かれています。 なお、毎年数名の外国人留学生を受け入れているほか、遠方からの入学生に配慮し、女子学生を含め約370名を収容できる学生寮があります。</p>	

<p>学校法人 健康科学大学 修紅短期大学 URL: http://www.shuko.ac.jp</p>	<p>〒021-0902 一関市萩荘字竹際49-1 TEL: 24-2211 FAX: 24-2213 E-mail: tandai@shuko.ac.jp</p>	<p>学 長: 吉 瀬 献 策 副学長: 中 島 元 子 教職員数: 13名 学生数: 58名 学級数: 3</p>
	<p>教育目標 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、建学の精神「信愛」「健康」「報恩」をふまえながら、旺盛な自主の精神と強い責任感を養うとともに、幼児教育学に係る高度な専門知識と技能を習得させることにより、心身の健康に関する豊かな感性を備えつつ実践力が強い、広く社会に貢献できる人材を育成する。</p>	
<p>沿革</p> <p>明32. 5. 小梨こまが裁縫学校を創立</p> <p>昭28. 3. 23 修紅短期大学設置許可あり、岩手県唯一の私立短期大学として家政科を設置</p> <p>33. 1. 10 短期大学に保育科増設</p> <p>33. 4. 1 修紅短期大学(保育科)が幼稚園教諭免許状「幼稚園2級」課程の認定</p> <p>47. 3. 30 保育科を保育養成所として指定</p> <p>49. 4. 1 家政科を家政学科、保育科を幼児教育学科に改称</p> <p>60. 4. 1 法人名称を学校法人第一麻生学園に、短期大学の名称を麻生東北短期大学に改称</p> <p>平13. 4. 1 法人名称を学校法人第一藍野学院と改め、短期大学の名称を修紅短期大学と改称</p> <p>13. 12. 27 修紅短期大学生活文化学科に栄養士養成施設指定の認定(平成14年度入学生より適用)</p> <p>15. 4. 1 修紅短期大学生活文化学科を食物栄養学科に名称変更</p> <p>15. 11. 7 修紅短期大学創立50周年記念式典及び祝賀会を挙行</p> <p>16. 2. 17 オーストラリア、マーティン大学・エンバン・CESとの間で学術交流及び姉妹校協定の締結</p> <p>17. 4. 1 修紅短期大学(食物栄養学科)栄養教諭2種免許課程の認定</p> <p>22. 3. 31 法人名称を富士修紅学院に改称</p> <p>25. 11. 12 修紅短期大学創立60周年記念式典挙行</p> <p>29. 4. 1 法人名称を学校法人健康科学大学に改称</p> <p>令 4. 4. 1 食物栄養学科の募集停止</p>	<p>研究主題 (幼児教育学科) ○乳幼児の心身の発達に関する研究 ○乳児のための表現に関する研究 ○様々なニーズをもつ子どもや、家庭の支援に関する研究</p> <p>特色ある教育活動 ○乳幼児のための音楽的身体表現、実践的な表現活動の充実 ○共同教育プロジェクト「かんがえる木」を始動。地域産業として営まれてきた林業を糸口に、木育をベースとした木にまつわる様々な事柄について考え、木と人の次世代を思い描くことを目的とし、人間主体ではなく、地域環境の中で共存する木と人という関係性でこれからの思考していきます。</p>	

(5) 特別支援学校

<p>県立 一関清明支援学校</p> <p>URL: http://www2.iwate-ed.jp/ich-r/ E-mail: ich-r@iwate-ed.jp</p>	<p>(本校舎) 〒021-0041 一関市赤荻字上台96番5 TEL: 33-1600 FAX: 33-1601 (山目校舎) あすなる分教室 〒021-0056 一関市山目字泥田山下48-12 TEL: 25-3210 FAX: 25-2770 (千厩分教室 小学部) ※千厩小学校内 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2 TEL: 53-2275 FAX: 34-4121 (千厩分教室 中学部) ※千厩中学校内 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場195-5 TEL: 53-3181 FAX: 53-3181</p>	<p>校長: 外館 慎 副校長: 鎌田 和茂・安久都 靖 鈴木 里香・齊藤 耕子</p> <p>教職員数: 128名 幼児児童生徒数: 147名 学級数: 48 (本校舎: 82名 25学級) (山目校舎: 30名 9学級) (あすなる分教室: 11名 5学級) (千厩分教室: 小学部14名 6学級 中学部10名 3学級)</p> 
 <p>本校舎</p>  <p>山目校舎</p>  <p>あすなる分教室</p>  <p>千厩分教室小学部</p>  <p>千厩分教室中学部</p> <p>沿革</p> <p>平成19年 4月 1日 一関市立千厩小学校内に千厩分教室小学部を開設 20年 4月 1日 岩手県立一関豊学校と岩手県立一関養護学校を統合し、岩手県立一関清明支援学校として開校 21年 4月 1日 一関市立千厩中学校内に千厩分教室中学部を開設 24年 2月 18日 本校舎を赤荻の新校舎に移転 29年 10月 4日 創立10周年記念事業を祝う会開催</p>	<p>校訓 「清く 明るく たくましく」</p> <p>教育目標 (めざす幼児児童生徒像) ○自分のよさに気づき、自己実現のための向上心をもちつづける人 ○ほかの人を思いやるやさしい気持ちをもつ人 ○心と身体の健康を大切にすること</p> <p>研究主題 「児童生徒の主体性を育む支援のあり方について」</p> <p>特色ある教育活動 ○4障がい対応の特別支援学校 (聴覚、病弱、肢体不自由、知的) ○2校舎3分教室の学校(本校舎、山目校舎、あすなる分教室、千厩分教室小学部、千厩分教室中学部) ○共生社会の担い手にふさわしい人を育てる教育 ・地域、居住地の学校との交流及び共同学習 ・地域の教育資源を活用した教育の推進 ○外部専門家活用(言語聴覚士、作業療法士、茶道講師、音楽療法士等)の活用による専門性の向上 ○地域への特別支援教育に係わる専門性の提供</p>	

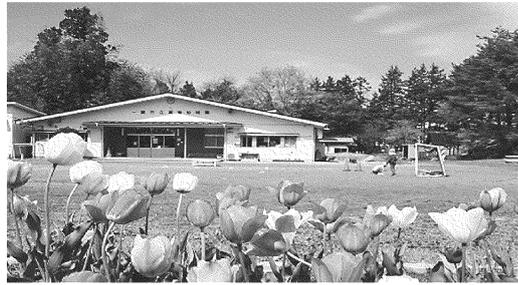
(6) 幼稚園・認定こども園

<p>市立 舞川幼稚園</p>	<p>〒021-0221 一関市舞川字館ノ越22-12 TEL・FAX: 28-2112 E-mail: maiyo@city.ichinoseki.iwate.jp</p>	<p>園長: 佐藤 千代 教職員数: 5名 園児数: 16名 学級数: 3</p>
 <p>沿革</p> <p>昭和54年 4月 一関市立舞川幼稚園創立 6月 園章制定・園門設置 57年 2月 園歌制定 62年 1月 遊戯室拡張 平成元年 6月 創立10周年記念式典挙行「ログハウス設置」 12月 園庭拡張 9年 4月 三年保育開始 11年 11月 創立20周年記念式典挙行 17年 8月 教育課程研究協議会発表 11月 「おはごあこことば標識」設置 20年 8月 園扉の設置 10月 創立30周年記念式典挙行「園名パネル設置」 21年 10月 市教委・一関公立幼稚園研究協議会指定保育園 22年 1月 岩手県公立幼稚園教育研究大会研究発表 岩手県教育委員会学校安全優良校表彰 全国公立幼稚園教育研究協議会岩手大会研究発表 24年 7月 全国公立幼稚園教育研究会福井大会ポスターセッション発表 25年 3月 園舎耐震改修工事完了 28年 1月 園庭遊具設置工事完了 29年 4月 預かり保育開始 令和 2年 1月 創立40周年記念事業「感謝状贈呈式」 2年 9月 園庭遊具一部撤去 3年 3月 ブランコ、すべり台、鉄棒設置</p>	<p>教育目標 園児の実態に即し、幼児期にふさわしい豊かな生活経験を通して、心身ともに健康で心の豊かな意欲ある子どもの育成に努める。 ・明るくたくましい子 ・友だちとなかよく遊べる子 ・よく聞き、考え、工夫する子</p> <p>研究主題 主題 「言葉に対する感覚を豊かにし、伝え合いを楽しむ幼児を目指して」 ～心を動かされる体験を通して～</p> <p>特色ある教育活動 ○豊かな遊びを育てる ・幼児自ら働きかけ、遊びが展開できるよう、環境を工夫する。 ・心を動かされる体験を通して、伝え合いを楽しむ幼児を育てることを目指して研究を推進する。 ・自然とのふれあい等五感を使った直接体験を大切にする。 ○幼小中及び地域、PTAとの連携推進を図る ・小学校への滑らかな移行ができるよう、舞川小学校との連携に工夫を凝らし、教師同士の相互理解と共感を得られるようにする。 ・幼小中及び地域、PTAとは状況に応じて連携の在り方を工夫し、地域の教育施設としての役割の一端を担う。</p>	

市立 真滝幼稚園

〒029-0132
 一関市滝沢字水口103-103
 TEL・FAX：21-2156
 E-mail：matayo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：千葉登美
 教職員数：5名
 園児数：18名 学級数：3



沿革

昭和55年 4月 一関市立真滝幼稚園創立 二年保育
 56年11月 園歌発表披露
 平成元年11月 創立10周年記念式典挙行
 「ジャブジャブ池」「なかよしハウス」設置
 9年 4月 三年保育開始
 12年10月 創立20周年記念式典挙行
 「園門」「園名プレート」設置
 18年 3月 ガス管改修・廊下床板張り替え
 19年10月 市教委・両警察立幼稚園教育研究大会研究発表
 21年 5月 プール更新設置
 22年 3月 園庭南側花壇の整備及び駐車場の整備
 10月 創立30周年記念事業の実施
 23年 9月 屋根全面塗装塗り替え
 25年11月 園舎耐震工事終了
 29年 4月 預かり保育開始
 30年10月 市教委・一関地区公立幼稚園教育研究大会研究発表
 31年 3月 遊具更新 ブランコ・はん登棒新設
 令和 2年10月 園門設置
 5年 4月 狐禅寺幼稚園・弥栄幼稚園との統合

教育目標

みんなあつまれ げんきいっぱい たくましく
 一心豊かなたくましい幼児の育成—
 ・まごころあふれる子 …なかよく遊び思いやりのある子
 ・たくましい子 …じょうぶでたくましい子
 ・きがつきかながえる子…よく考え進んで行動する子

研究主題

「しなやかな心」の育ちを目指して
 ～友達との関りを深めるための環境の構成や教師の援助の在り方を探る～

研究のねらい

自分の思いも相手の思いも大事にしながら関わる心地よさや、楽しさを感じられる環境の構成や教師の援助を探る。

特色ある教育活動

- ・豊かな自然環境を生かした保育活動
 (動植物に触れる)
- ・健康づくりの推進
 (園内外様々な地形を活用した健康な体づくり)
- ・開かれた幼稚園
 (PTA、小・中学校、市民センター等と連携し、情報を発信・交換することで幼稚園教育を理解してもらう)

市立 赤荻幼稚園

〒021-0041
 一関市赤荻字桜町237-2
 TEL・FAX：25-4188
 E-mail：akoyo@city.ichinoseki.iwate.jp

園長：千葉敏之
 教職員数：6名
 園児数：28名 学級数：3



沿革

昭和59年 4月 1日 一関市赤荻幼稚園創立
 11月 27日 一関地区公幼研指定保育公開
 60年 2月 5日 園歌制定
 62年 2月 18日 水洗トイレの改築
 63年10月21日 岩手県教委指定保育公開
 平成 4年10月16日 市教委・両警察指定保育公開
 5年 8月 13日 創立10周年記念式典
 6年 8月 18～19日 教育課程研究集会発表
 7年 4月 7日 幼稚園バス運行開始
 10年 4月 1日 3歳児保育開始
 7月 29日 教育課程研究集会発表
 14年10月11日 市教委・両警察指定保育公開
 15年11月 1日 創立20周年記念式典
 19年 7月 27～28日 全国公立幼稚園研究大会(奈良大会)
 ボスターセッション
 21年 5月 ボスターセッション
 22年 1月 幼稚園専用バス更新
 22年 8月 平成22年度岩手県幼稚園教育研究協議会発表
 22年10月 第48回東北特別支援教育研究大会発表
 23年 3月 東日本大震災により被災(浄化槽等)
 25年 3月 園庭門扉の改修
 26年11月 創立30周年記念式典
 28年 2月 ホームページ開設
 29年 4月 預かり保育開始
 31年 3月 遊具移設完了
 令和 1年 8月 絵本作家「真珠まりこ」さん来園
 2年 3月 コロナ対策のため加湿空気清浄機、飛沫防止パーテーション等備え付ける
 5年 4月 赤荻幼稚園・弥栄幼稚園との統合
 5年 8月 スクールバス安全装置装着

教育目標

- ・自分のことは自分でできる子
- ・みんなと仲良しになれる子
- ・明るく元気に遊ぶ子
- ・話をよく聞き はっきり話す子

研究主題

「一人一人の心の育ちをつなぐ幼小連携」
 ～ウェルビーイングの根っこ育てる幼稚園教育を考える～

ねらい

- (1) 「ウェルビーイングを保障する保育」につながるための環境の構成や教師の援助について探る。
- (2) 幼児の育ちを10の姿を手掛かりに教師間で共有し、小学校以降のつながりについて探る。

研究の方法

1. 文献研究
2. 保育研究や写真評価を通した保育カンファレンス
3. 就学先、幼児教育施設の先生を招いた公開保育研究の実施
4. 実践発表を通した幼児教育や幼小連携についての発信

特色ある教育活動

1. 様々な人との交流：赤荻小・厳美小・赤荻保・清明支援との交流、介護施設ちやごみ招待、地区・交流館祭りへの参加、勤労感謝訪問、サッカー教室等、様々な人々とのふれあい活動。
2. 田植体験など直接体験を重視した活動：土や砂、水、草花等へ直接働きかけて遊ぶ活動。
3. 食育：行事での会食や苦手な食材を親が料理で工夫し弁当に入れるチャレンジ弁当、栄養士による訪問指導等の活動。
4. 幼稚園サポートボランティア：教育環境のための花壇の整備や園庭の草取り、保護者や地域の連携によるお話し等の活動。
5. ことばの力を育てる教育の推進。「ことばの時間」の充実。

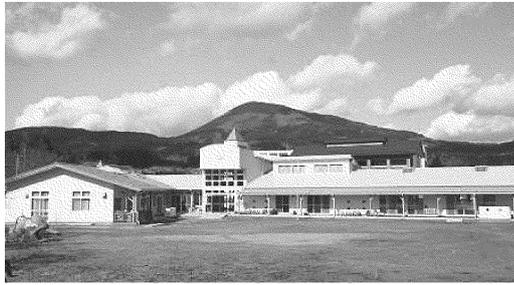
市立 摺沢こども園	〒029-0523 一関市大東町摺沢字沼田10-2 TEL・FAX：75-2232 E-mail：surihoiku@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：及川由美 教職員数：9名 園児数：52名(6) 学級数：6(3) ()内は幼稚園部分
	教育目標 ◎小学校への円滑な接続を目指し、園児一人一人を大切にし、個々の発達に即した教育・保育に努める。 ・楽しくのびのびと遊ぶ子ども ・心豊かで思いやりのある子ども ・よく考え工夫する子ども ・自分で考え行動できる子ども 研究主題 主体性を発揮できる保育を探る ～安心できる環境を通して～	
沿革 摺沢幼稚園 昭和40年 4月 私立幼稚園を創立 50年 9月 大東町立摺沢幼稚園と改称 平成12年 4月 3歳児保育開始 17年 9月 一関市立摺沢幼稚園と改称 摺沢保育園 昭和26年 7月 摺沢町立摺沢保育園を設立 30年 4月 大東町立摺沢保育園と改称 平成17年 9月 一関市立摺沢保育園と改称 令和 6年 3月 「摺沢幼稚園」「摺沢保育園」閉園 6年 4月 「一関市立摺沢こども園」開園 (摺沢幼稚園と摺沢保育園が統合)	特色ある教育活動 1 ふれあい活動 ・園活動の中で、父母との触れ合いや異年齢層の人々との触れ合いによって、交流の輪を広げていく。 (1) 園活動：畑・親子遠足・運動会・発表会等 (2) 他機関との提携：敬老会出演・寿会と交流 2 園外活動 ・日常の園内活動で経験できないことを実際に体験したり、見聞したりして経験領域を広げる。 ・野外観察・地域の方との交流活動等	

市立 東山こども園	〒029-0302 一関市東山町長坂字西本町130-1 TEL：47-2145 FAX：47-2147 E-mail：higakodo@city.ichinoseki.iwate.jp	園長：佐々木里美 教職員数：16名 園児数：83名(3) 学級数：6(3) ()内幼稚園分
	教育目標 「一人一人の発達を的確に捉え豊かな人間性を育むことを目指す」 ○心豊かで健やかな子ども ○楽しく友達とあそぶ子ども ○思いやりのある子ども ○自分で考え行動できる子ども 研究主題 「自ら伸びようとする力 主体性を育む」 ～人との関わりを通して～	
沿革 げいび幼稚園 昭和42年 4月 「げいび学園」として設立 43年 4月 「げいび幼稚園」と称する 48年 4月 「東山町立げいび幼稚園」発足 平成 5年 2月 新園舎落成記念式、落成祝賀会開催 長坂保育園 昭和32年 6月 「長坂保育園」開設 53年 4月 「長坂保育園」移転改築 平成31年 3月 「げいび幼稚園」「長坂保育園」閉園 31年 4月 「東山こども園」開園 (げいび幼稚園と長坂保育園が統合)	特色ある教育活動 ○人や自然とのかかわりを大切に感性を育む体験活動 登龍門祭・デイサービス訪問・親子遠足・畑の野菜栽培 唐梅館公園散策・七五三参り・運動会 ○町内の2園での交流(年長児) 唐梅館絵巻参加 ○小学校・中学校との交流 幼保小交流会・保育体験・職場体験 ○園児の身体づくり活動の充実 季節に応じた運動的な遊びの継続	

市立 室根こども園

〒029-1201
一関市室根町折壁字八幡沖373-1
TEL: 64-3219 FAX: 61-2077
E-mail: murokod@city.ichinoseki.iwate.jp

園長: 小野文枝
教職員数: 13名
園児数: 52名(1)
学級数: 6(3) ()内は幼稚園部分



沿革

- 昭和40年 4月 折壁保育所開園(定員60名)
- 50年 4月 折壁保育所ポニークラブ結成
- 57年 2月 折壁幼年消防クラブ結成
- 63年 3月 財団法人日本名火協会より表彰
- 平成 2年 9月 東北管区警察局長表彰
- 3年 9月 社会福祉協力所指定
- 13年 3月 新築移転(定員90名)
子育て支援センター開設
- 17年 9月 一関市立折壁保育園と改称
- 27年 6月 園舎増改築開始
- 27年 9月 岩手県幼少年婦人防火委員会会長表彰
- 28年 3月 室根地域5保育施設閉園
- 28年 4月 室根こども園開園(定員110名)
- 令和 5年 4月 室根こども園定員変更(定員95名)

教育目標

豊かな保育環境の中で教育と保育が一体となり、豊かな人間性を育てることを目標とします。

- 心も体も健康で 明るい子ども
- 友達と仲良く遊び 思いやりのある子ども
- 人間や自然を愛し、心豊かな子ども
- よく聞き、よく話し、ことば豊かな子ども
- 意欲的に活動し、創造性豊かな子ども

研究主題

「豊かな保育環境の中で教育と保育が一体となり、豊かな人間性を育てること」

特色ある教育活動

- 健康でたくましい心と身体づくりのため、積極的な戸外活動をする。
- 豊かな自然や地域の教育力を活用した保育を進める。
- 家庭との連携を密にし、園教育と家庭教育との融合に努める。
- 「スマイル図書デー」の定着と「園の図書貸し出しコーナー」の充実を努め、親子読書の推進を図る。
- 一人ひとりの発達段階をとらえた保育を行う。

市立 川崎こども園

〒029-0202
一関市川崎町薄衣字上段46-1
TEL・FAX: 43-3120
E-mail: kawahoiku@city.ichinoseki.iwate.jp

園長: 今野三枝
教職員数: 13名
園児数: 58名
学級数: 5(3) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和34年11月 川崎村立川崎保育所設立
- 43年 4月 定員増に伴い増設 定員60名
- 平成 5年 3月 施設老朽化に伴い増設 定員90名
- 16年 3月 高成保育所との統合により増設
- 17年 9月 一関市立川崎保育園に改称
- 24年 4月 門崎保育園と統合
- 令和 5年 3月 一関市立川崎保育園閉園
- 5年 4月 一関市立川崎こども園開園
定員 1号認定10名
2号認定50名・3号認定30名

教育目標

「豊かな保育環境の中で健康的な身体と感性を育て、生命の保持と情緒の安定を図り、意欲的に生活できるようにする。」

- 積極的に運動し健康な身体を作る子ども
- 友だちと協力して意欲的に活動する子ども
- まわりのものに興味と関心を寄せ、思いやりの心をもつ子ども

研究主題

「子どもたちが夢中になって遊びこめる環境づくりを探る」
～砂遊びをとおして～

特色ある教育活動

- 1 地域との連携、交流活動
 - ・食育農園活動 ・園庭開放 ・地区行事への参加
 - ・キューピーサロン参加 ・川崎まちづくり協議会との連携
- 2 幼小連携教育の推進
 - ・園児、児童の交流 ・交流活動、行事への参加
 - ・通信の交流、情報交換
- 3 地域資源の活用
 - ・カレンダープロジェクト(関係各所カレンダー配布・訪問)
 - ・図書館によるお話し会 ・川崎茶道教室によるお茶会

市立 藤沢こども園	〒029-3405 一関市藤沢町藤沢字仁郷41番地2 TEL: 63-2124 FAX: 63-2427 E-mail: fujiho@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 小山博恵 教職員数: 23名 園児数: 71名(7) 学級数: 6(3) ()内幼稚園分
	教育目標 「自ら進んで生活し、心も体も健康な子ども」 <input type="checkbox"/> 友だちと、やさしくなかよく遊ぶ子ども <input type="checkbox"/> 様々なことに興味関心を持って、取り組む子ども <input type="checkbox"/> 「早寝・早起き・しっかりご飯」で元気な子ども 研究主題 主体的な活動を促すための援助の在り方 ～園児理解を深めるための見える化の工夫～	
沿革 昭和34年 4月 藤沢保育園開園（定員60名） 51年 2月 園舎新築移転（柳平118番地） 55年 4月 藤沢幼稚園開園（定員40名） 藤沢保育園開園（定員90名） 57年 4月 幼稚園増築（定員80名に改正） 59年 4月 西口保育所統合 61年 4月 本郷児童館統合 平成13年 4月 幼稚園定員70名に改正 21年 4月 藤沢・徳田・保呂羽・大籠4園統合 23年 9月 一関市立藤沢幼稚園・保育園に改称 24年 4月 一関市立藤沢こども園に改称 25年 4月 園舎新築移転（仁郷41番地2） 令和 5年 4月 幼稚園定員15名に改正	特色ある教育活動 1 地域にある施設を活用した保育として、図書館による絵本の読み聞かせや絵本の貸し出し、通年の温水プール体験。 2 地域の伝統や文化に触れ交流する機会として、野焼祭、産業文化祭、火伏祭等への参加。 3 子ども達を取り巻く生活環境の課題をさぐり、家庭と連携し、生活習慣の確立を図る。いちのせきの家庭教育10か条の活用。	

市立 黄海こども園	〒029-3311 一関市藤沢町黄海字天堤11-1 TEL・FAX: 63-2125 E-mail: kinoho@city.ichinoseki.iwate.jp	園長: 小野寺美紀 教職員数: 13名 園児数: 29名(3) 学級数: 3(2) ()内幼稚園分
	教育目標 「人と人のかかわりを大切にし、心豊かな子どもの育成を目指す」 【心豊かに たくましい子】 <input type="checkbox"/> 自分でできることは自分でする子 <input type="checkbox"/> よく考え行動できる子 <input type="checkbox"/> 早寝・早起き・元気な子	
沿革 昭和28年 4月 黄海小学校に幼児教室開設 29年 4月 福祉協議会による幼児教室開設 37年 4月 藤沢町立黄海保育園創立 56年 4月 町立黄海幼稚園設立 57年 2月 現在地に園舎新築移転 平成23年 9月 一関市立黄海幼稚園・保育園に改称 24年 4月 一関市立黄海こども園となる 27年 4月 定員 1号認定15名 2号認定30名・3号認定20名	研究主題 「人と人のかかわりを通して」 特色ある教育活動 1 地域との連携、交流活動 ・農園活動、食育指導（JA青年部） ・きのみっこ広場開催 ・環境整備友の会との交流 ・地区行事への参加 2 幼小連携教育の推進 ・園児、児童の日常交流 ・交流活動、行事への参加 ・通信の交流、情報交換 3 地域資源の活用 ・温水プール利用 ・図書館によるお話し会、図書貸し出し ・福祉施設ふれあい訪問	

**学校法人 東北カトリック学園
愛心幼稚園**

〒021-0884
一関市大手町7-5
TEL : 23-5431 FAX : 23-7166
E-mail : aishin@tohoku-catholic.ac.jp

園長：力石智子
教職員数：15名
園児数：84名
学級数：4



沿革

- 1953年 5月 オスカー・エグロフ師（スイス人宣教師）により定員120名で設立
- 1957年 2月 設置者をベトレヘム外国宣教会に変更
- 1959年 1月 新園舎落成、定員240名6学級に変更
- 1967年 3月 園舎増築、木造モルタル103㎡
- 1967年 4月 設置者を宗教法人ベトレヘム外国宣教会からカトリック仙台司教区に移管
- 1978年12月 定員265名8学級に変更
- 1982年10月 新園舎落成、鉄筋コンクリート2階建て
1,272㎡
- 1986年 4月 宗教法人立から学校法人「東北カトリック学園立」となった。
学園は28園、青森に11園、岩手県に6園、宮城県に8園、福島県に3園を擁する。
- 2020年 4月 子ども・子育て支援新制度に移行

教育目標

本学園の教育は、幼児が神の愛に生かされていることを喜び、神から与えられた心身の能力を伸ばし、個性を認め、主体的に行動できる人間となるようになるための基礎の育成を目指します。

研究主題

関係性（子ども同士、身近な大人）の中での育ちの理解と保育実践

特色ある教育活動

- ・自分から意欲的に行動するように励まし、一人一人と向き合っ
て保育します。
- ・自分の思う事を言葉で伝えられるよう、また自分のことは自分
でできるように援助します。
- ・友達と夢中になって遊ぶことができるように環境を整えます。
- ・子供の中にある興味や関心をよびさますように喜んで取り組める
活動を支援します。
(体操教室、楽器演奏、英語教室、書道教室、水泳教室、田植え、
クッキング、等)

**学校法人 東北カトリック学園
カトリック清心幼稚園**

〒029-0803
一関市千厩町千厩字町浦47-1
TEL : 52-2485 FAX : 52-2911
E-mail : s-seishin@tohoku-catholic.ac.jp

園長：菅原裕子
教職員数：5名
園児数：17名
学級数：3



沿革

- 昭和30年 2月 設立認可を受ける
設立母体(宗法)ベトレヘム外国宣教会
定員120名4学級
- 30年 4月 第1回入園式挙行
初年度110名入園
- 45年 4月 園名を「カトリック清心幼稚園」と改称
- 50年 4月 設置者変更「宗教法人カトリック仙台司教区」と変更
- 61年 4月 学校法人東北カトリック学園設立に伴い移管（岩手7園、青森12園、宮城8園、福島3園を擁す）
- 平成 7年 3月 新園舎完成
- 30年 4月 子ども・子育て支援新制度に移行

教育目標

当園の教育は、幼児たちがキリストの愛に生かされ、神から与えられた心身の能力を最大限に生かしながら、個性を豊かにし、主体的に行動できる人間となることを願い、その基礎育成を目指します。

人間には素晴らしい能力、素晴らしい自然が与えられていることを踏まえ、価値ある人生を送ることができるために、神を、隣人を、自分を、そして自然界を大切に愛の心を育てる事が当園の教育目標です。

研究主題

インクルーシブな保育を目指し、共に育ちあうという視点での保育実践

特色ある教育活動

- 剣道と茶道と英語を取り入れています
- ・剣道では、身体各部の発達を促し、併せて積極的にことに当た
る精神を養っています。
- ・茶道では、日常におけるマナーを知り、礼儀正しく行動し、
豊かな心を養っています。
- ・英語では、歌・踊り・ゲームを通して英語とふれあいながら、
アルファベットや挨拶などの基本を楽しく学ぶ活動を行っています。

学校法人 里中山学園
認定龍澤寺こども園

URL : <http://rityuzan.ac.jp/>

〒021-0011
一関市山目町三丁目2-19
TEL : 26-4821 FAX : 21-5600
E-mail : kodomoen@rityuzan.ac.jp

園長 : 塩竈 素明
教職員数 : 38名
園児数 : 143名(27)
学級数 : 8(5) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和23年 6月 6日 県知事により龍澤寺幼稚園認可
- 23年 9月 1日 龍澤寺幼稚園開園
- 30年 4月 10日 新園舎開園
- 51年 7月 27日 (学)里中山学園へ設置者変更
- 平成10年12月12日 新園舎落成並びに創立50周年記念式典
挙行
- 14年12月 1日 「なかさと保育園」開園
- 20年 9月 1日 創立60周年記念式典挙行
- 25年 5月 31日 遊戯室「希望館」新築
- 25年 9月 1日 幼保連携型 認定龍澤寺こども園認定
- 27年 4月 1日 子ども・子育て支援制度に移行
- 30年 3月 31日 園舎改築及び「子育て支援室」増築
- 令和 2年 8月 20日 運動場、駐車場竣工
- 5年 3月 23日 仙台大学連携協定締結
- 5年 3月 23日 SDGs宣言
- 6年 5月 30日 いちのせきSDGsパートナー登録

基本理念

～仏教保育を通じて『ともに学び ともに育つ』

基本目標

- のびのびと心豊かな自己表現ができる子ども
- 思いやりと思考力が豊かな子ども
- 丈夫で元気に遊び、毎日が楽しく過ごせる子ども
- 基本的な生活習慣を身に付け、自主的に行動できる子ども

研究主題

「こども理解」
遊びの様子から子どもの発達と育ちを可視化して共通理解する

特色ある教育活動

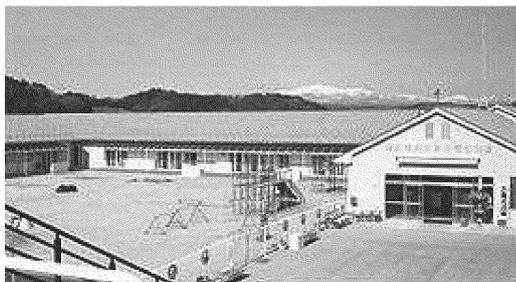
- 〈仏教教育〉 日常の活動や、週1回の本堂参りの中で「仏教の教え」を知り、命の大切さや感謝の気持ちを持つ
- 〈遊 び〉 自然豊かな環境の中で主体的な遊びが充実できるようにする
- 〈食育活動〉 食育指導や米・野菜作りとクッキングを通して食に関心を持つ外部講師による活動
- 〈お茶会〉 お茶会の「静」の時間の中で、日本の文化や礼儀を学び、豊かな心を育む
- 〈音楽リズム教室〉 歌ったり踊ったり演奏したりする中で音楽を楽しく学ぶ
- 〈体育教室〉 楽しみながら運動することで健康な体をつくり、集団活動のルールも学ぶ
- 〈英語教室〉 歌・ダンス・ゲームを取り入れて、楽しく英語を学ぶ

学校法人 健康科学大学
修紅短期大学附属認定こども園

URL : <http://www.shuko.ac.jp/kg/>

〒021-0902
一関市萩荘字竹際71-2
TEL : 24-5005 FAX : 24-5006
E-mail : youchien@shuko.ac.jp

園長 : 黒澤 由佳
副園長 : 小野寺 郁子
教職員数 : 33名
園児数 : 121名(30)
学級数 : 9(3) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和32年 1月 修紅短期大学附属幼稚園の設立許可を受ける (2学級)
- 32年 4月 修紅短期大学附属幼稚園小梨良園長に就任
- 52年 8月 定員180名を270名に変更 (7学級)
- 60年 4月 麻生東北短期大学附属幼稚園に名称変更
- 平成12年12月 満3歳児学級ひよこ組開設
- 13年 4月 修紅短期大学附属幼稚園に名称変更
- 21年 4月 新園舎完成 (所在地を東花王町から修紅短期大学校地に移す)
- 25年 3月 満3歳児学級ひよこ組終了
- 25年 4月 修紅短期大学附属認定こども園の認定取得

教育目標

- 「にこにこ びんびん みんななかよく なにかでひとより」
1. 未分化時代の幼児の夢の世界を大切に育てる。
 2. 心身の発達段階に応じた基礎能力を養う。
 3. 情緒の安定した創造力のある明るい元気な子どもを育てる。

研究主題

幼児一人ひとりの主体性を育む環境の構成と教師の援助の在り方を探る。

特色ある教育活動

- 遊びを中心とした生活を展開し、友達との関わりの中で一人一人の幼児が生きていくための基礎となる力や生活の規律を身につけるために自然体験、社会体験など様々な体験活動を重視している。
- ・水と砂をふんだんに使った遊びを豊富に体験する。
 - ・小動物の飼育や、花や野菜を育て収穫の喜びを味わわせるなど、四季折々の自然を身近に体得する。
 - ・外国人英語教師を招き、遊びを通して異文化に触れ、国際理解の素地を育成する。
 - ・未就園児教室を開設し、子育て支援の一助としている。
 - ・体育講師による幼児体育は、身体を動かす楽しさや、情緒の安定をはかり、子どもらしさ、自分らしさを表現する喜びへとつなげる。

学校法人 願成寺学園
認定こども園一関幼稚園
 URL : <http://www.at-ml.jp/57703>

〒021-0874
 一関市字釣山31-4
 TEL : 23-5153 FAX : 23-5259
 E-mail : ichi-you@samba.ocn.ne.jp

園長 : 千田 智明
 教職員数 : 37名
 園児数 : 144名(42)
 学級数 : 9(6) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和32. 4. 1 一関学院幼稚園開園
- 32. 9. 1 学校法人 一関学院に編入
- 46. 12. 17 放火により園舎全焼
- 47. 8. 20 新園舎完成
- 52. 8. 10 一関学院幼稚園設置者変更により願成寺学園一関幼稚園となる
- 54. 4. 1 「リズム遊び」に取り組む
- 61. 4. 7 預かり保育開始
- 平成10. 1. 1 理事長芳川顕一氏死去
- 10. 12. 28 竹内一信理事長就任
- 17. 8. 24 芳川春彦理事長就任
- 18. 4 園舎外装の整備
- 19. 11 創立50周年記念式典
- 21. 4 満3歳児学級たんぼ組開設
- 26. 12 新園舎完成
- 27. 4 幼保連携型認定こども園に移行

基本理念

『慈悲心と菩薩道』
 人の喜び、悲しみを自分も共感し、自分のこととして感ずることのできる、そして人に対する思いやりを重んじることです。

教育目標

1. 健康で明るい子供
2. 力を合わせて仲良く遊ぶ子供
3. 優しい思いやりがあって素直な子供
4. 自分の事は自分で出来る子供
5. のびのびと表現し創造性豊かな子供

研究主題

「子どもの内面理解・発達経過を記録化・可視化するための手法と活用」

特色ある教育活動

- 《遊びを通しての学び》
 子供が興味や関心をもって環境に関わりながら、自ら考え工夫して遊びが展開される経験を重ねていける機会を大事にする。
- 《リズム遊び》
 心身共に健康で伸び伸びとした子供に育ててほしいという願いを込めて、音楽に合わせて這うこと、歩くこと、走ることを主とした、リズム遊びに取り組んでいる。
- 《読み聞かせは心のスキニップ》
 絵本を見ながら先生のお話を聞き、子供達はイメージを膨らませ、物語を通して言葉や絵、音の世界が心を豊かにし、感性や想像力を育みます。
- 《坐禅》
 坐禅を通して自分と向き合い、心を整えることを学ぶ。
- 《英語で遊ぼう》
 カナダ人講師を迎え、遊びや生きた英語を通して異文化に触れ、国際性を学ぶ。

社会福祉法人 一関南保育園
認定こども園
一関南保育園

〒021-0851
 一関市関が丘30-1
 TEL : 26-2521 FAX : 25-2526
 E-mail : minami07@ec4.technowave.ne.jp

園長 : 川村 公美子
 教職員数 : 20名
 園児数 : 50名(5)
 学級数 : 6(3) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和48年 9月 法人設立
- 50年 4月 一関南保育園開園
- 平成26年 3月 園舎改築
- 28年 4月 認定こども園認可
 幼保連携型認定こども園
 「認定こども園 一関南保育園」開園
 (定員2、3号認定60名 1号認定10名)

教育目標

- 「心も 身体も たくましい子どもに育てる」
1. 親から保育士へ 保育士から親へ
 2. 返事、挨拶ができる子ども
 3. 明るく、和やかな雰囲気

研究主題

家庭との食育活動の連携を目指して、日々の保育の在り方を探り、子どもの心身の健康と発達を促す

特色ある教育活動

- ・生活を通して生きる力を育成するように、認定こども園法第9条に規定する教育及び保育の目標の達成に努めます。
- ・毎月1回のお話の会(専門ボランティアの先生による読み聞かせ)など本に親しむ機会を設けています。
- ・栄養士による食育講座、毎月一回のクッキング(3歳以上児)、異年齢児で野菜を育てる活動を通して食育活動に力を入れています。
- ・音楽に合わせてリトミック・ストレッチなどを取り入れたり、投てき板、雲梯、室内鉄棒や跳び箱、縄跳びやマット運動などの運動遊びを充実させています。5歳児は卒園までに逆上がり、側転、縄跳び、跳び箱ができることを目標にしており、できるんだ!という達成感を味わわせて自信につなげています。

社会福祉法人 赤荻保育園
認定こども園
赤 荻 保 育 園

〒021-0041
一関市赤荻字清水8-5
TEL: 25-4327 FAX: 25-4344
E-mail: akaho@vega.ocn.ne.jp

園 長: 荻 野 直 人
教職員数: 24名
園 児 数: 93名(9)
学 級 数: 6 (3) ()内幼稚園分



沿 革

昭和52年 8月26日 保育園設立認可
53年 4月 1日 保育園設置認可
平成 3年 4月 1日 厚生省エンゼルプランによる乳
児保育開始
7年 4月 1日 延長保育
平成 8年10月 1日 休日保育
22年 3月20日 改築・移転
28年 1月25日 認定こども園認可
28年 4月 1日 認定こども園設置

教育目標

- 子どもの健康と安全を基本として、清く 明るく 直く
正しく 強い子に育てる
- 立派な社会人としての基礎を培い育てる
- 正しく考えやりぬく子
- 豊かな心を持ってみんなと協力できる子
- すなおでたくましい子
- 他人に迷惑をかけず心身共に健康な子

研究主題

神道精神の理念のもと
社会、家庭生活の中で敬神崇祖の観念を中心とした思想道徳
における根幹的存在を保育にいかす

特色ある教育活動

- ・お茶会
- ・体育教室
- ・豊栄舞・浦安の舞
- ・食育活動

社会福祉法人 ふじの園
認定こども園
一 関 藤 保 育 園

〒021-0864
一関市旭町5-15
TEL: 23-3356 FAX: 23-3357
E-mail: i-fujihoikuen@jupiter.ocn.ne.jp

園 長: 斎 藤 志 華 子
教職員数: 23名
園 児 数: 87名(18)
学 級 数: 6 (3) ()内幼稚園分



沿 革

昭和34年10月 ベトレヘム宣教会司祭の招きでキリ
スト教の精神に基づき「一関藤保育
園」の名称で開園
35年 5月 定員60名にて設置認可
42年 4月 0歳児保育の受諾と定員30名増90名
となる
56年 4月 モンテッソーリ教育法による一環保
育をめざし縦割制を実施
令和 2年 4月 認定こども園に移行
幼保連携型認定こども園一関藤保育
園開園
2年 5月 新園舎落成

教育目標

明るく元気で困難、失敗を恐れず、意欲的に最後まで取り組む力
思いやり、感謝の心、奉仕の心
自ら考えて行動する力

研究主題

- ・キリスト教的精神のもと、教育指導の中における宗教的諸理念
の結合
- ・モンテッソーリ教育の精神指導を通じ園児ひとりひとりに備わ
る創造的能力と人格の独立性の発展

特色ある教育活動

- ◎キリスト教的情操教育
- ◎モンテッソーリ教育
モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活
動の環境を設定し、午前中の保育時間に取り組み、集中して活
動することで、自己決定、自立へ導く
- ◎クッキング教育・食育
- ◎特別支援教育・音楽療法
- ◎リズム運動・リトミック・わらべうた
- ◎英語教室

社会福祉法人 さいわい会
認定こども園
幸町保育園

〒021-0024
一関市幸町1-14
TEL : 21-0370 FAX : 48-3480
E-mail : fuku-saiwai-ho@echna.ne.jp

園長：千葉 知恵子
教職員数：20名
園児数：74名(10)
学級数：6(3) ()内幼稚園分



沿革

昭和55年 4月 開園（社会福祉法人認可）
平成元年 4月 特別保育事業実施（乳児保育事業実施施設として指定）、その後、延長保育事業、休日保育事業、障害児保育事業を実施
10年 4月 定員変更 45名から55名に。
一時保育事業を実施
12年 7月 定員変更 55名から80名に。
一関市真柴に分園（定員25名）を開設
13年 4月 地域子育て支援センター（小規模型）を開設。（現在活動休止等）
15年10月 本園・園庭整備完了
23年 2月 本園・新園舎完成
23年 4月 定員80名から100名に。（内、分園25名）
令和 2年 4月 幼保連携型認定こども園に移行。
定員100名から106名に。（内、分園25名）
5年10月 分園・定員変更 25名から20名に。

教育目標

- 健康な子どもの育成
- 思いやりのある子どもの育成
- 善悪の区別がわかる子どもの育成
- みんなと仲良くする子どもの育成
- 自分のことは自分でする子どもの育成

研究主題

一人ひとりの子どもたちが主体性をもち、様々な遊びや経験をとおして生きる力の基礎を育むための援助の仕方を探る。

特色ある教育活動

- 小学校就学に向け、幼児期に身につけておきたい基礎作り
「英会話教室」
「ダンス教室」
「体育教室」
- 身体機能を高める運動あそび（0～5歳児）
- リズムあそび（0～5歳児）
- 和太鼓指導（3～5歳児）
- 分園園児（0～2歳児）との異年齢児交流
- 地域社会との交流
- 0歳児から行う食育活動

様々な経験をとおし、思いやりの心や社会生活のルールを身につけられるよう働きかけるとともに、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることで、健全な心身の発達を図ります。

認定こども園
桜保育園

〒021-0807
一関市字東花王町3
TEL : 23-5386 FAX : 23-7386
E-mail :

園長：佐藤 美保子
教職員数：30名
園児数：90名(8)
学級数：6(3) ()内幼稚園分



沿革

昭和23年 桜子供会結成
24年 6月 季節保育園開園
7月 桜保育園開園
8月 岩手県知事認可
53年 3月 社会福祉法人認可
54年 2月 新園舎落成
61年 4月 定員120名から90名に変更
平成 3年 4月 定員60名に変更
11年 4月 定員80名に変更
18年 4月 定員90名に変更
令和 3年 4月 幼保連携型認定こども園へ移行
定員99名に変更
5年10月 定員89名に変更

教育目標

「明るく たくましく」を合言葉に、子どものより良い成長を目指す。

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 健康な心とからだ | やさしくたくましい子 | 考える力 |
| ・明るくたくましい子 | ・友達を思いやるやさしい子 | ・よく考えて行動できる子 |
| ・運動を楽しむ子 | ・豊かな感情をもった子 | ・あきらめずにやり遂げる子 |
| ・食事を楽しむ子 | ・自ら進んで行動をする子 | ・自分の意思を表現できる子 |

研究主題

「いろいろな運動あそび、体験を通して自己発揮できる子を育むために」

特色ある教育活動

- ・外部講師を招いての習字教室や体育教室を行っている。習字教室では字への興味を育み、集中力を培っている。体育教室では、幼児体育で身体を動かす楽しさや情緒の安定を図り、子どもらしさ、自分らしさを表現する喜びを味わう。
- ・花や野菜の栽培、散歩などを通じ、四季を通して自然に親しむとともに、「食」への興味や意欲を持たせる。そして、様々な体験を通して、感動を味わうことができるような保育活動。

**社会福祉法人 たんぽぽ会
幼保連携型認定こども園
たんぽぽこども園**

〒021-0041
一関市赤荻字下谷地212番地1
TEL : 33-2277 FAX : 25-6353
E-mail : tanpopo33@brown.plala.or.jp

園長 : 中川 玲子
教職員数 : 24名
園児数 : 75名(18)
学級数 : 6(3) ()内幼稚園分



沿革

昭和41年 9月 一関共同乳児保育所たんぽぽ保育園開設
平成15年10月 社会福祉法人たんぽぽ会設立
16年 3月 児童福祉施設認可・定員45名
16年 4月 たんぽぽ保育園開園
延長保育事業・一時預かり保育事業を開始
22年 4月 定員60名に変更
31年 4月 第3園庭を取得(1502㎡)
ジャングルジム、鉄棒、タイヤ、登攀棒、
築山整備
令和 4年 3月 幼保連携型認定こども園認可
4年 4月 たんぽぽこども園に改称
定員75名
(2・3号保育認定60名・1号教育認定15名)

理念 子どもを真ん中に共育ち・共育て

保育・教育目標

- ・身体の丈夫な子
- ・自分で考え、行動する子
- ・楽しむ子

基本方針

- ・一人一人の発達に応じた保育及び教育を実践する
- ・保護者と連携し、保育及び教育の方針を共有する
- ・保育及び教育の内容の質を高める

研究主題

こどもの絵をどう読み解くか

特色ある教育活動

- ★自然と触れあう活動
水と土と太陽に触れる保育・教育
はだし保育、テレビを見せない保育
散歩(年齢×1kmを目安)
うたとリズムを取り入れた保育、園内お泊り
年中・年長の登山
園外お泊り(沢遊び、雪遊び、交流合宿)
- ★食を重視
食べ物や自然に関心を育てるための畑づくり
完全無農薬米、きび砂糖、醸造調味料
オリーブオイル等添加物の少ない食材
完全給食(主食も含む)、一汁三菜・手作りのおやつ

**学校法人 華泉学園
幼保連携認定こども園
花泉こども園**

〒029-3103
一関市花泉町老松字水沢9番
TEL : 82-4248 FAX : 82-4493
E-mail : hanaizumiyoutien@muc.biglobe.ne.jp

園長 : 高橋 仁省
教職員数 : 24名
園児数 : 63名(10)
学級数 : 6(3) ()内幼稚園分



沿革

昭和27年 7月 開園
30年 4月 花泉幼稚園として知事認可
50年 4月 学校法人華泉学園
花泉幼稚園として法人認可取得
10月 新園舎完成
60年 4月 定員120名を170名に変更
園舎増築(3クラス→5クラスへ)
平成11年 3月 園舎内外改修工事
26年 4月 移転改築(花泉地区から老松地区へ)
幼保連携型 認定こども園認可取得
花と泉の保育園開所
27年 4月 新幼保連携施設へ移行し
認定花泉こども園へ名称変更

教育目標

1. げんきで、あかるく、すなおなこどもになろう。
2. よくみ、よくきき、よくかんがえるこどもになろう。
3. 決まりをまもり、いたわりのきもちをもつこどもになろう。

研究主題

子どもの内面理解・発達経過を記録化・可視化するための手法と活用

特色ある教育活動

- ◇恵まれた自然環境を生かし心ゆたかに、かしこく、たくましい子どもになるように、幅広い領域に渡って保育を行っています。
- ◇一人ひとりを尊重し個性に合わせて保育を行っています。
- ◇教育は家庭と園の一体が大切なことから、連携を図り保育を行っています。
- ◇子どもの個性と創造性のある遊びを通して育てる知能教育(知能教材:めんたるぶれい)や専任教師との関わりを楽しみながら行う英語教室、体育教室など幼児期における学ぶ楽しさや、体を動かす楽しさに触れ、様々な活動を行っています。

社会福祉法人 花泉福祉会
認定こども園
はなほこども園

〒029-3101
 一関市花泉町花泉字田東93
 TEL : 82-2167 FAX : 82-3123
 E-mail : hana-ho@r6.dion.ne.jp

園長 : 宇津野 泉
 教職員数 : 39名
 園児数 : 78名(15)
 学級数 : 6(3) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和44年 4月 花泉保育園開設
- 47年 2月 社会福祉法人認可取得
- 3月 花泉保育園設置認可
- 56年12月 園舎改築、乳幼児保育開始
- 平成15年 3月 園舎移転新築・園章制定
- 4月 一時保育事業開始
- 26年 4月 体調不良児対応保育事業開始
- 30年 4月 幼保連携型認定こども園設立認可
- 令和 5年 4月 病児病後児対応型保育事業開始

教育目標

3つの目標を掲げ、豊かな経験を通して「生きる力」の基礎を育みます。

1. 命、友達、物を大切にする子ども
2. 自分のことは自分でする子ども
3. 考えて行動できる子ども

研究主題

「子ども主体の教育保育環境」
 子どもたちがともに考え、学び、育ちあうための環境づくり

特色ある教育活動

- 仏教の教えのもと「思いやりの心」「うやまう心」を育てます。
- 広い園庭には、自然に触れる環境を整え、じゃぶじゃぶ池や築山、身体機能育成に有効な遊具などの豊かな環境を通して、たくましい身体作りに努めます。
- 専門員による体育指導や英語レッスンを導入し、年間を通してたくさんの活動を行っています。
- 音楽に合わせてからだを動かす「リズム遊び」や「よさこい」、伝承文化「和太鼓」「茶道おけいこ」などの経験をし、豊かなこころを育てます。

社会福祉法人 洗心福祉会
公私連携幼保連携型認定こども園
わくつこども園

〒029-3205
 一関市花泉町字涌津字悪法師38-312
 TEL : 82-4143 FAX : 82-4285
 E-mail : sensinfukusikai@abelia.ocn.ne.jp

園長 : 菊池 昌弘
 教職員数 : 25名
 園児数 : 64名(2)
 学級数 : 6(3) ()内幼稚園分



沿革

- 昭和43年 1月 1日 涌津保育園(定員60名)開園
- 4月 15日 社会福祉法人洗心福祉会涌津保育園として法人認可
- 平成 8年 9月 園舎を増築
- 10年 4月 1日 定員を90名に変更する
- 14年 4月 1日 定員120名に変更
- 28年 4月 1日 定員90名に変更
- 31年 4月 1日 公私連携幼保連携型認定こども園わくつこども園へ名称変更
定員123名
- 令和 3年 4月 1日 定員を95名に変更
- 5年10月 1日 定員を85名に変更

基本理念

素直な心
 相手を思いやる心を育む

教育目標

- 1 心豊かで健やかな子ども
- 2 自分で考え行動できる子ども
- 3 みんなと仲良くする子ども

研究主題

様々な関わり、経験を通して豊かな人格形成の基礎を促していく環境と保育教諭の在り方を考える

特色ある教育活動

- 〈坐禅〉
礼拝、坐禅を通して、心を整える時間を設ける。
- 〈広々とした園庭〉
自然豊かな恵まれた園庭でのびのびと自主的な遊びを展開。
- 〈いけばな教室〉
草花に親しみ、落ち着いた雰囲気の中で活動に取り組んでいく。
- 〈創造教室〉
0歳児から5歳児各クラスに応じた造形活動を中心にダイナミックな活動や遊びの時間。
- 〈茶道教室〉
お互いを思いやりながら、挨拶の大切さや皆でお抹茶、お菓子を頂く楽しさを味わう。

社会福祉法人 かざわ福祉会
認定こども園
金沢保育園

〒029-3102
 一関市花泉町金沢字大柳60-1
 TEL : 82-3312 FAX : 82-3373
 E-mail : kazawa_ho@ad.auone-net.jp

園長：村上国城
 教職員数：17名
 園児数：83名(6)
 学級数：6(3) ()内幼稚園分



沿革

昭和30年 4月 金沢保育園開園
 32年 8月 社会福祉法人認可取得
 平成13年 3月 園舎新築
 令和 2年 3月 乳児室増築
 2年 4月 幼保連携型認定こども園
 金沢保育園へ移行(定員118名)

教育目標

～豊かな人間性をもった子どもを育成します～
 明るく元気に、仲間と助け合いいろいろな体験を通し豊かな感性と創造ができる子を育てます。

1. 元気な子ども
2. 仲のよい子ども
3. 考える子ども

研究主題

「いきいきと活動する子どもの育成」
 友達とのかかわりを重視した遊びや体験活動を重視し、安心して遊べる環境作りを考える。

特徴ある教育活動

- 〈食育〉
 「食」についての興味や関心を育て、野菜作りやクッキング等各年齢に応じた食育に取り組んでいます。
- 〈仏教〉
 仏教の行事や坐禅会にて、「生命を大切にする」「仲間を大切にする」「善い行いをする」ことを学び、感謝の心や道徳心を育てます。
- 〈学び〉
 専門の講師を招いて、楽しく遊びながら体育教室と英語教室を学んでいます。また、日常生活の体験を通じて「自分」「仲間」「社会」を知る学びを大切にしています。
- 〈遊び〉
 恵まれた自然環境を活動に生かし、野山の散歩等の活動や遊びを通して自然を大切にする心と、健康な心を培います。

学校法人 愛泉学園認定こども園
千厩小羊幼稚園
千厩こひつじ園
 URL : <http://www.kohituji-kk.com/>

〒029-0803
 一関市千厩町千厩字北方130-2
 TEL : 52-5244 FAX : 52-5841

園長：三浦静子
 教職員数：24名
 園児数：75名(42)
 学級数：7(4) ()内幼稚園分



沿革

昭和27年 4月 千厩町千厩字北方(及川正夫氏、当時東山病院院長宅)で、月一回家庭集会開催。桜井重秀牧師が月例会会
 昭和29年 4月 千厩町千厩字構井田に千厩伝道所開設
 湯澤 裕牧師着任
 昭和30年 4月 千厩町千厩字北方154番地で近隣の入学前児童を集め、「週間教会学校幼児科」
 昭和36年 4月 堀 友三郎牧師夫妻、千厩教会着任
 昭和42年 3月 「こひつじ幼稚園」の認可を得る
 昭和56年12月 「学校法人愛泉学園」寄附行為及び千厩小羊幼稚園が認可される
 平成20年 9月 「認定こども園」幼稚園型(認可外保育施設併設)認定
 平成22年 5月 保育園設置認可を受ける。(千厩こひつじ園)
 平成22年 6月 認定こども園「幼保連携型」に変更する
 平成23年 3月 東日本大震災により、園地及び園舎が半壊する
 平成25年 1月 新園舎にて保育開始(千厩字北方130番地2)
 平成27年 4月 「子ども・子育て支援新制度」に移行
 認定こども園 千厩小羊幼稚園・千厩こひつじ園とする

園教育目標

幼児の与えられている可能性は計りしれないものがあり、その人格形成は、一朝一夕でなるものではありませんが、私どもは、その基礎を作り、その充実発展を期待しながら心身ともに健康で心豊かなたくましい人間づくりを目指し、次の幼児像を設定して、園・地域ぐるみでこれに取り組むようにしています。

1. 神を愛し人々を愛する子ども
2. 自分のことは自分でする子ども
3. 友だちと仲良く遊べる子ども
4. 物を創り出す子ども

研究主題

特別な支援を必要とする幼児の状態等に応じた計画的・組織的な指導のあり方について考える。

特色ある教育活動

- ① 礼拝を守る
 一日の中で友達と一緒に祈りをしながら私たちの気持ちをやさしい神様に向け、心から感謝や望み、そして願いを語りかける平和な落ち着いたひとときを持つようになっている。
- ② 積極的な体力づくり
 イ、長期にわたるプール遊び5月～10月
 ロ、皮フ鍛練(乾布摩擦、園内裸足運動)
- ③ 地域交流
 イ、地域との触れ合いを求めて職場慰問(花の日、収穫勤労感謝)
 ロ、高校生との共同作業(さつまいも苗植え～収穫)
- ④ 乳幼児と学童児の交流
 おやつ作り体験や季節の行事を通して交流を深めている。
- ⑤ 食育
 農園作りと食育への関連を深める。

V 学 校 保 健

1 児 童 ・ 生 徒 の 健 康

◆令和5年度身長・体重（男女別平均値）

学 年		区 分	身 長 (cm)			体 重 (kg)		
			全 国	岩手県	一関市	全 国	岩手県	一関市
小 学 校	1年	男	117.0	117.4	116.8	21.8	22.5	22.3
		女	116.0	116.6	116.1	21.3	22.0	22.3
	2年	男	122.9	123.6	122.6	24.6	25.8	25.5
		女	122.0	122.9	122.0	24.0	24.9	25.1
	3年	男	128.5	129.4	128.8	28.0	29.2	29.3
		女	128.1	128.7	128.1	27.3	28.3	28.1
	4年	男	133.9	134.3	134.1	31.5	32.5	32.8
		女	134.5	134.8	134.7	31.1	32.1	32.7
	5年	男	139.7	140.4	140.4	35.7	37.2	37.3
		女	141.4	141.9	141.5	35.5	36.9	36.2
	6年	男	146.1	147.5	146.1	40.0	42.5	40.5
		女	147.9	148.5	148.0	40.5	41.8	41.8
中 学 校	1年	男	154.0	154.0	153.8	45.7	46.0	46.1
		女	152.2	152.3	151.7	44.5	46.3	46.0
	2年	男	160.9	161.0	161.3	50.6	51.5	51.7
		女	154.9	155.3	154.9	47.7	48.7	48.8
	3年	男	165.8	165.9	166.2	55.0	56.7	56.4
		女	156.5	156.4	156.3	49.9	50.7	51.4

2 学校保健団体等

(1) 令和6年度一関市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

【小学校】

R6.4.1現在

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関小学校	中野 淳平 佐藤 円 木村 義人	二宮 修也	宍戸 潔	小家 雅子 小野寺 大 齊藤 晃也	小野寺 秀俊
	山目小学校	加藤 卓 小野寺 威夫 寺崎 公二	小原 啓之	菊池 淳	根本 昌幸 本田 徹 千葉 航	小野寺 佳美
	赤荻小学校	伊藤 久雄 阿部 俊也	桑島 研一	小岩 哲夫	根本 昌幸 明石 雅江	伊藤 民子
	中里小学校	佐藤 伸孝	桑島 研一	笠原 正明	加藤 史仁	下田 はる美
	滝沢小学校	及川 登	小原 啓之	宍戸 潔	小岩 竜太郎	小野 佐由美
	南小学校	佐藤 重雄 桂島 忠俊	小原 啓之	宍戸 潔	中川 善浩 久保田 宗次	小笠原 妃恵子
	弥栄小学校	千葉 英俊	小原 啓之	宍戸 潔	橋本 和彦	星 牧子
	萩荘小学校	長澤 仁嗣 中野 淳平	二宮 修也	笠原 正明	梁川 輝行 近江 健司	小財 直子
	巖美小学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	村上 哲	畠山 歩
	舞川小学校	西城 寛	小原 啓之	笠原 正明	伊藤 廣明	小野 泰孝
花泉	花泉小学校	菅原 忠興 本多 聡 蓬田 邦彦	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦 佐藤 奨 室星 賀一	高橋 浩太郎
大東	大原小学校	吉田 浩昭	桑島 研一	笠原 正明	本多 洋之	鈴木 敏晃
	大東小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	桑島 研一	笠原 正明	熊谷 博伸	星 牧子
	興田小学校	菊池 宰	二宮 修也	笠原 正明	佐藤 博幸	鈴木 里沙
	猿沢小学校	薄田 徹 (猿沢診療所)	二宮 修也	笠原 正明	石岡 真理絵 (猿沢診療所)	佐藤 千香
千厩	千厩小学校	角田 健也 岩本 浩之	小原 啓之	宍戸 潔	畠山 康人 吉田 文和	白石 恵一
東山	東山小学校	阿部 康弘	桑島 研一	笠原 正明	伊藤 伸也	和賀 珠美
室根	室根小学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	村上 智彦 (室根歯科診療所)	矢部 文彦
川崎	川崎小学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	三浦 完爾	皆川 登
藤沢	藤沢小学校	佐藤 俊郎 (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	小家 雅幸	佐藤 一朗
	黄海小学校	佐藤 俊郎 (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	菊池 光博	佐藤 一朗

【中学校】

地域	学校名	内科	眼科	耳鼻科	歯科	薬剤師
一関	一関中学校	長澤 茂	小原 啓之	宍戸 潔	本田 徹	小笠原 慈夫
	磐井中学校	小野寺 威夫 寺崎 公二 木村 義人	桑島 研一	小岩 哲夫	梁川 輝行 加藤 史仁 千葉 航	鈴木 敦
	一関東中学校	菅野 記豊	小原 啓之	宍戸 潔	村上 哲	中野 輝美
	桜町中学校	及川 登 小川 千恵子	二宮 修也	宍戸 潔	近江 健司 橋本 和彦	高橋 諭
	萩荘中学校	及川 登	二宮 修也	笠原 正明	細井 隆夫	佐藤 涉
	巖美中学校	山田 昌彦	桑島 研一	笠原 正明	清野 精仁	岩井 確司
	舞川中学校	桂島 忠俊	小原 啓之	笠原 正明	小岩 竜太郎	小野寺 左岐子
花泉	花泉中学校	木村 義人 菅原 忠興	二宮 修也	小岩 哲夫	吉原 睦 佐藤 奨	工藤 鮎美
大東	大東中学校	菅野 孝 菊池 幸	桑島 研一	笠原 正明	佐藤 博幸 石岡 真理絵 (猿沢診療所)	和賀 珠美
千厩	千厩中学校	谷藤 正人 盛合 理	小原 啓之	宍戸 潔	小原 健 (千厩歯科診療所) 小家 雅幸	多門 真知
東山	東山中学校	水野 生一	桑島 研一	笠原 正明	三浦 康弘	村上 達郎
室根	室根中学校	古澤 健一 (室根診療所)	二宮 修也	笠原 正明	村上 智彦 (室根歯科診療所)	矢部 文彦
川崎	川崎中学校	千田 貴之	二宮 修也	小岩 哲夫	三浦 完爾	皆川 登
藤沢	藤沢中学校	佐藤 俊郎 (藤沢病院)	二宮 修也	宍戸 潔	遠藤 壘	佐藤 一朗

(2) 一関市学校保健会役員

役職名	氏名	職業等	勤務先・所属先等
顧問	秋保茂樹	医師	秋保クリニック (一関医師会 会長)
〃	吉原睦	歯科医師	ヨシハラ歯科医院 (一関歯科医師会 会長)
〃	小笠原慈夫	薬剤師	かたくり薬局 (一関薬剤師会 会長)
〃	木村博史	保健所長	一関保健所
〃	時枝直樹	教育長	一関市教育委員会
会長	佐藤弘幸	校長	中里小学校 (市校長会)
副会長	木村義人	医師	木村消化器科内科 (医師会)
〃	伊藤善信	市P連 会長	市PTA連合会会長
理事	齊藤純也	医師	斉藤産婦人科医院 (市医師会)
〃	小岩哲夫	医師	こいわ耳鼻咽喉科・アレルギー科クリニック (市医師会)
〃	佐藤伸孝	医師	佐藤循環器内科医院 (医師会)
〃	千葉航	歯科医師	ちば歯科クリニック (歯科医師会)
〃	千田敬	薬剤師	昭和病院 (薬剤師会)
〃	菅原佳織	養護教諭	大東小学校 (養護教諭部会)
〃	千葉弘恵	養護教諭	千厩小学校 (養護教諭部会)
〃	菅原良枝	栄養教諭	萩荘中学校(西部第二 中学校給食センター)
〃	菊地美和子	栄養教諭	花泉中学校(花泉学 校給食センター)
〃	八木浩司	副参事	一関市教育委員会
監事	小笠原浩	校長	赤荻小学校(市校長 会)
〃	吉田リカ	市P連 監事	舞川中学校PTA会 長(市P連)

番号	氏名	所属校等	番号	氏名	所属校等
6	菅原祝子	一関西地域PTA	27	千葉弘恵	千厩小
7	小野寺達也	一関北地域PTA	28	二橋綾乃	東山小
8	関東楨志	一関東地域PTA	29	山形知美	室根小
9	熊谷貴典	花泉地域PTA	30	須藤智織	川崎小
10	北田大祐	千厩・室根地域PTA	31	玉川真衣	藤沢小
11	熊谷啓	東山・川崎・藤沢地域PTA	32	村上みなみ	黄海小
12	佐藤聖子	一関小	33	千葉比佐子	一関中
13	千葉友子	山目小	34	増井幸美	磐井中
14	渡邊幸子	赤荻小	35	伊藤萌野	一関東中
15	三浦和江	中里小	36	住吉美保	桜町中
16	門田治子	滝沢小	37	小野寺雅子	萩荘中
17	千葉いづみ	南小	38	中田幸子	巖美中
18	内田理利子	弥栄小	39	菅原幸代	舞川中
19	佐藤貴子	萩荘小	40	吉川美奈子	花泉中
20	山田晴香	巖美小	41	小山ゆかり	大東中
21	佐々木文子	舞川小	42	今野優真	千厩中
22	山田理恵	花泉小	43	大友久美子	東山中
23	佐久間典子	大原小	44	千葉トヨ子	室根中
24	菅原佳織	大東小	45	高橋紀子	川崎中
25	千葉初代	興田小	46	尾形千春	藤沢中
26	蛭子井楓	猿沢小	47	千葉百合子	一関一附中

(3) 一関市学校保健会評議員

番号	氏名	職業等	勤務先・所属先等
1	二宮修也	医師	二宮眼科医院 (医師会)
2	村川泰徳	院長	岩手県立南光病院 (医師会)
3	菅原恒	医師	菅原整形外科クリニック (医師会)
4	細井隆夫	歯科医師	ほそい歯科医院 (歯科医師会)
5	小野寺佳美	薬剤師	れもん薬局 (薬剤師会)

事務局：一関市立中里小学校内 TEL23-2231

事務局長：千田 祐子

事務局員：三浦 和江

(市教委) 金野 幸 吉田 傑

3 学校給食

(1) 学校給食の現状

令和6年5月1日現在

① 年間予定回数

小学校 170回

中学校 164回

② 給食費

小学校 単価 279円 年額 47,430円

中学校 単価 336円 年額 55,104円

③ その他

米飯給食は、週4日実施。

食物アレルギーを有する児童生徒に対しては、個別に対応。

④ 学校給食センター配食状況等

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
西部学校給食センター 所長：千葉 稔	21	栄養教諭 1名 学校栄養職員 1名	委 託
山目小学校	478		
萩荘小学校	328	〒021-0902	
巖美小学校	100	萩荘字境ノ神173	
磐井中学校	502	電話 32-2220 FAX 32-1115	
巖美中学校	65	開設：平成17年4月	
小3 中2 計5校 小計	1,494		
西部第二学校給食センター 所長：黒川 俊之	18	栄養教諭 1名	委 託
赤萩小学校	283	〒021-0902	
中里小学校	195	萩荘字境ノ神170-1	
萩荘中学校	192	電話 32-1600 FAX 32-1601	
他 平泉中学校 ※給食事務委託	179	開設：平成28年4月	
小2 中2 計4校 小計	867		
真滝学校給食センター 所長：千葉 一枝	25	栄養教諭 1名	委 託
一関小学校	639	〒029-0132	
南小学校	351	滝沢字水口103-63	
舞川小学校	85	電話 21-1320 FAX 21-1321	
滝沢小学校	149	開設：平成22年4月	
弥栄小学校	52		
一関東中学校	107		
舞川中学校	48		
小5 中2 計7校 小計	1,456		

施設名	喫食者数 (教職員含む)	調理場の職員構成等	
		栄養教諭・学校栄養職員等	調理員
花泉学校給食センター 所長：猪股 浩子	20	学校栄養職員 1名	委 託
花泉小学校	510	〒029-3205	
黄海小学校	78	花泉町涌津字松子沢21	
花泉中学校	322	電話 82-3615 FAX 82-3357	
一関中学校	202	開設：昭和48年4月	
桜町中学校	297	改築：平成13年4月	
小2 中3 計5校 小計	1,429		
大東学校給食センター 所長：菅原 春彦	21	栄養教諭 1名	委 託
大原小学校	100	〒029-0523	
大東小学校	201	大東町摺沢字上塚ノ沢37-1	
猿沢小学校	62	電話 75-2774 FAX 75-2789	
興田小学校	67	開設：平成20年4月	
東山小学校	210		
大東中学校	243		
東山中学校	137		
小5 中2 計7校 小計	1,041		
千厩学校給食センター 所長：橋本 雅郎	22	栄養教諭 1名	委 託
千厩小学校	363	〒029-0803	
清明支援学校千厩分教室小学部	21	千厩町千厩字上駒場290-1	
室根小学校	158	電話 51-3066 FAX 51-3067	
川崎小学校	136	開設：平成25年4月	
藤沢小学校	192		
千厩中学校	238		
清明支援学校千厩分教室中学部	17		
室根中学校	86		
川崎中学校	61		
藤沢中学校	167		
小5 中5 計10校 小計	1,461		
全体 6施設	合計 7,748	人 7	

(2) 学校給食センター

<h3>西部学校給食センター</h3>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神173 TEL : 32-2220 FAX : 32-1115 E-mail : seikyu@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 千 葉 稔 職 員 等 : 職員 4 人、委託 17 人 配食校数 : 5 校 調理能力 : 2,100 食			
 <p>沿 革</p> <p>平成17年 4 月 旧一関市初の給食センターとして、萩荘小学校の隣接地に開設。達古袋小学校、厳美小学校、厳美中学校、中里中学校、山目中学校、萩荘小学校、萩荘中学校の 7 校へ供給。 調理能力 2,100 食</p> <p>平成22年 4 月 山目小学校へ供給を開始し、8 校へ供給。</p> <p>平成25年 4 月 達古袋小学校が厳美小学校に統合し、7 校へ供給。</p> <p>平成27年 4 月 中里中学校と山目中学校の統合と、本寺小中学校の共同調理場の廃止に伴う本寺小中学校への供給開始により、8 校に供給。</p> <p>平成28年 4 月 調理業務を民間委託。萩荘中学校が西部第二給食センターからの供給となり、7 校に供給。</p> <p>平成30年 4 月 本寺小学校と厳美小学校、本寺中学校と厳美中学校の統合により、5 校に供給。</p>	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。 ③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供することになっている。 ④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。 <p>食材の確保 産直代表等で組織する「食材供給産直連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p>学校との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6 月の食育月間には、春の交流給食として、地元の食材生産者等や食材取扱い業者の団体（給食センター食材供給産直連絡協議会）の代表が、希望のあった学校の子供たちと一緒に給食を食べる機会を作っている。 ② 1 月には全国学校給食週間に合わせ、いろいろな地方の郷土料理や様々な国の料理などを提供するとともに、実際に給食を作っている調理員全員による、萩荘小学校での交流給食を実施している。 <p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ドライシステムを採用した衛生的な環境。 ② 食育に対応するため、2 階に調理室を見学できるようギャラリーを設置。 <p>施設の概要</p> <table border="0"> <tr> <td>【構 造】鉄骨造平屋建</td> <td>【床 面 積】1,002.62㎡</td> </tr> <tr> <td>【敷地面積】40,062.75㎡</td> <td>【厨房方式】ドライシステム方式</td> </tr> </table>	【構 造】鉄骨造平屋建	【床 面 積】1,002.62㎡	【敷地面積】40,062.75㎡	【厨房方式】ドライシステム方式
【構 造】鉄骨造平屋建	【床 面 積】1,002.62㎡				
【敷地面積】40,062.75㎡	【厨房方式】ドライシステム方式				

<h3>西部第二学校給食センター</h3>	〒021-0902 一関市萩荘字境ノ神170-1 TEL : 32-1600 FAX : 32-1601 E-mail : seikyuni@city.ichinoseki.iwate.jp	所 長 : 黒 川 俊 之 職 員 等 : 職員 3 人、委託 18 人 配食校数 : 4 校 調理能力 : 1,000 食			
 <p>沿 革</p> <p>平成28年 4 月 一関市内の小中学校全給食センター化を実現するため、西部学校給食センターの隣接地に開設。赤荻小学校、中里小学校、萩荘中学校、平泉中学校の 4 校へ供給を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理は業者委託とし、調理能力は 1 日 1,000 食。 ・熱源は電気とガスの併用。 ・配送はコンテナ車 3 台による業務委託。 	<p>魅力ある食事の工夫</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元食材を積極的に使用している。 ② 目で楽しむことを念頭に彩り良い食材を選択している。 ③ 季節に合ったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。 ④ その日のメニューの意味やいわれを説明したものを学校に提供し、昼時間に放送するなど給食に興味が出るよう工夫している。 <p>食材の確保 産直代表等で組織する「食材供給産直連絡協議会」の協力により、地元中心の食材の確保に努めている。</p> <p>施設の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 調理場の床を常に乾いた状態にして菌の繁殖や水はねによる二次汚染を防止するドライシステムを採用。 ② 食材検収前室を 2 ヶ所とし、魚肉卵類と野菜果物類を分けて搬入し、食材の交差による汚染防止や作業の安全性を確保。 ③ アレルギー児童生徒に対応するため、アレルギー調理室を完全個室として設置。 ④ 食育に配慮するため、下処理室・調理室内を広く見学できるよう 2 階に研修室を配置。 <p>施設の概要</p> <table border="0"> <tr> <td>【構 造】鉄骨造一部 2 階建</td> <td>【床 面 積】749.98㎡</td> </tr> <tr> <td>【敷地面積】5,385.44㎡</td> <td>【厨房方式】ドライシステム方式</td> </tr> </table>	【構 造】鉄骨造一部 2 階建	【床 面 積】749.98㎡	【敷地面積】5,385.44㎡	【厨房方式】ドライシステム方式
【構 造】鉄骨造一部 2 階建	【床 面 積】749.98㎡				
【敷地面積】5,385.44㎡	【厨房方式】ドライシステム方式				

真滝学校給食センター

〒029-0132
一関市滝沢字水口103-63
TEL: 21-1320 FAX: 21-1321
E-mail: matakikyu@city.ichinoseki.iwate.jp

所長: 千葉一枝
職員等: 職員3人、委託28人
配食校数: 7校
調理能力: 1,600食



沿革

平成22年4月19日 一関地域の滝沢小学校、弥栄小学校、一関中学校、一関東中学校、桜町中学校、舞川中学校、川崎地域の薄衣小学校、門崎小学校、川崎中学校の9つの小中学校に学校給食を開始(約1,600食)。
平成24年4月 平泉町からの要望により、平泉町立平泉中学校に学校給食を供給開始。
平成27年4月 平成26年度までの自校給食校の一関小学校、中里小学校、舞川小学校に供給を開始。川崎小学校、川崎中学校が千厩学校給食センターからの供給に変更。一関中学校、桜町中学校が花泉学校給食センターからの供給に変更。中里小学校、平泉中学校が西部第二学校給食センターからの供給に変更。
平成28年4月 平成27年度まで自校給食校の南小学校に供給を開始。
令和4年4月 調理業務を民間に委託

現在の供給校

一関小学校・南小学校・滝沢小学校・弥栄小学校・舞川小学校・一関東中学校・舞川中学校

魅力ある食事の工夫

- ① 栄養バランスのとれた食事内容とし、健康の保持増進を図る。
- ② 地場産品を取り入れた献立の実施。
- ③ 郷土食・行事食の実施(年間を通じた行事に合わせて提供します)。
- ④ リクエスト給食の実施(学校ごと及び小学6年生・中学3年生のリクエスト)。

施設の特徴

- ① 施設内の厨房機器や空調はオール電化方式を採用。
- ② より衛生的で安全性が高い調理システムを導入し、働く人にとっても快適で作業効率の良い環境を整備。

施設の概要

【構造】 鉄骨造一部2階建
【敷地面積】 4,374.82㎡
【床面積】 993.85㎡
【厨房方式】 ドライシステム方式

花泉学校給食センター

〒029-3205
一関市花泉町涌津字松子沢21
TEL: 82-3615 FAX: 82-3357
E-mail: hanakyu@city.ichinoseki.iwate.jp

所長: 猪股浩子
職員等: 職員3人、委託23人
配食校数: 5校
調理能力: 1,950食



沿革

昭和48年4月 花泉町老松地内に開設し、町内の小中学校に給食を配食(直営)。給食輸送車3台配車。
平成2年4月 調理業務を民間委託。
平成13年3月 花泉町涌津字松子沢地内に移転新築。完全ドライシステム方式を採用。
平成24年4月 給食配食校を花泉町内の小中学校(8校)と藤沢町内の小中学校(4校)を加え、1,908食を供給。
平成25年4月 給食配食校が花泉町内の小中学校と藤沢町黄海小学校に変更になり、1,300食を供給。
平成26年4月 厨房内の空調設備・ボイラー・配管の更新工事を行う。
平成27年4月 給食配食校に一関中学校・桜町中学校が加わり、1,853食を供給。新たに給食配送車2台を増車し、5台を保有。
令和5年4月 花泉町内6校の小学校統合により、5校に1,472食を供給。給食配送車は4台となる。

現在の供給校

花泉小学校、黄海小学校、花泉中学校、一関中学校、桜町中学校

表彰履歴

平成28年1月8日 岩手県学校給食センター協議会長表彰(調理コンクール)
平成28年10月15日 全国学校給食甲子園実行委員会表彰(第11回全国給食甲子園)
平成30年7月28日 厚生労働大臣表彰(栄養関係功労者表彰)

魅力ある食事の工夫

- ① 地元食材を積極的に使用している。
- ② 希望献立&セレクト給食
希望献立は、各学校で考案した献立を給食で提供している。
セレクト給食は、卒業祝いの意味を込めて6年生を対象に実施している。
- ③ アンコール給食(中学校)
中学校3年生を対象に「卒業おめでとう。」の気持ちを込めて、もう一度食べたい献立を募り、1~3月に取り入れている。その際、給食の思い出なども記録してもらい情操教育の一助としている。

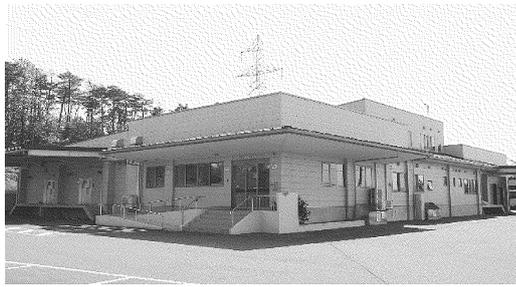
施設の概要

【構造】 鉄骨造一部2階建
【敷地面積】 3,256.66㎡
【建築面積】 871.90㎡
【床面積】 841.50㎡
【厨房方式】 ドライシステム方式

大東学校給食センター

〒029-0523
一関市大東町摺沢字上塚ノ沢37-1
TEL : 75-2774 FAX : 75-2789
E-mail : daikyu@city.ichinoseki.iwate.jp

所 長 : 菅原春彦
職 員 等 : 職員3人、委託22人
配食校数 : 7校
調理能力 : 2,000食



沿革

平成20年4月1日 従来の大原、摺沢、興田及び東山学校給食センターを一本化し、合併後の一関市で初めて旧町村枠を超えた施設として開設
当初は大原小、内野小、摺沢小、興田小、猿沢小、浜民小、菅慶小、長坂小、田河津小、松川小、大原中、大東中、興田中、猿沢中、東山中、内野保育園、摺沢幼稚園、丑石児童館の15校、3施設に供給

平成26年4月 学校統合等により、大原小、大東小、興田小、猿沢小、東山小、大原中、大東中、興田中、東山中の9校と摺沢幼稚園に供給

令和5年4月 学校統合等により、大原小、大東小、興田小、猿沢小、東山小、大東中、東山中の7校と摺沢幼稚園に供給

令和6年4月 摺沢幼稚園の廃止により、大原小、大東小、興田小、猿沢小、東山小、大東中、東山中の7校に供給

魅力ある食事の工夫

- ① 地元食材を積極的に使用している。
- ② 郷土料理や行事食を取り入れ、地域性のある献立にしている。
- ③ 季節の行事に合わせた食事やデザートを提供している。

学校との連携

- ① 6月の食育月間に合わせて、調理作業の様子がわかる掲示資料やDVDを配布している。
- ② 学級担任や給食担当者と連携し、児童生徒の実態に合わせた食に関する指導を行っている。
- ③ 生産者が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べる「生産者交流会」を実施している。食材を育てる大変さや生産者の思いを知ることによって、生産者や給食への感謝と理解が深まる。
- ④ 子ども達が給食センターを訪問し、調理作業の見学を行っている。

施設の特徴

- ① ドライシステム、交差のない動線を採用し衛生的な環境。
- ② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用することにより衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。
- ③ 夜間電力利用の水蓄熱式空調システムと大型電気温水器を利用し経費削減を図っている。

施設の概要

【構造】鉄骨造一部2階建 【延床面積】991.58㎡
【敷地面積】6,159㎡ 【厨房方式】ドライシステム方式

千厩学校給食センター

〒029-0803
一関市千厩町千厩字上駒場290-1
TEL : 51-3066 FAX : 51-3067
E-mail : senkyu@city.ichinoseki.iwate.jp

所 長 : 橋本雅郎
職 員 等 : 職員3人、委託26人
配食校数 : 10校
調理能力 : 2,200食



沿革

平成25年4月1日 従来千厩及び室根学校給食センターを一本化し、新たに千厩学校給食センターとして開設。
千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室小学部、室根東小学校、室根西小学校、藤沢小学校、新沼小学校、千厩中学校、岩手県立一関清明支援学校千厩分教室小学部、室根中学校、藤沢中学校の14校に供給。

平成27年4月 川崎小学校、川崎中学校を加えた16校に供給。

平成30年4月 千厩小学校、小梨小学校、清田小学校、奥玉小学校、磐清水小学校の統合により、12校に供給。

令和4年4月 室根東小学校、室根西小学校の統合により、11校に供給。

令和5年4月 藤沢小学校、新沼小学校の統合により、10校に供給。

魅力ある食事の工夫

- ① 地元食材を積極的に使用している。
- ② 季節にあったメニューと合わせ、季節行事にこだわった食事やデザートを提供している。
- ③ 多様な食材を使用し、栄養価を高め、いろいろな味にふれ、味覚の幅を広げるとともに、児童生徒の食べやすさを考慮した調理方法や味付けをしている。

学校との連携

- ① 栄養教諭が学校を訪問し、子ども達と一緒に給食を食べながら食事の重要性や学校給食の献立の考え方などを学習する「ふれあい給食」を実施している。
- ② 児童生徒の食への興味関心を深め、知識や自分で選択する力を高めるため、学級担任と連携した食の授業を行っている。

施設の特徴

- ① ドライシステムを採用した衛生的な環境。
- ② 施設内の厨房機器や空調などはオール電化方式を採用、衛生的で安全性が高く、働く人にも快適な環境。

施設の概要

【構造】鉄骨造一部2階建
【延床面積】1,104.33㎡
【敷地面積】5,944㎡
【厨房方式】ドライシステム方式

VI 各種委員会

1 「中学生の社会体験学習」実行委員会

氏名	所属・職名
鈴木直子	一関商工会議所 事務局長兼総務課長
熊谷恵	一関商工会議所花泉支所 支所長
小野寺郁代	一関商工会議所藤沢支所 支所長
須藤美由紀	一関市役所商工労働部 商政・労政課長(兼)起業支援室長(兼)商工労働部次長心得
小野寺淳子	一関市役所商工労働部 商政・労政課長補佐(兼)労政係長(兼)起業支援室副主幹
伊藤晃	一関市役所商工労働部 工業振興課長(兼)起業支援室主幹(兼)商工労働部次長心得
金野馨	ジョブカフェ一関 センター長
鈴木理香	ジョブカフェ一関 副センター長
下田和子	ジョブカフェ一関 就職アドバイザー
小岩孝朗	一関中学校 校長
佐藤拓史	花泉中学校 校長
菅原正浩	大東中学校 校長
平間昭紀	一関中学校 P T A 代表
千葉康太	花泉中学校 P T A 代表
小山充	大東中学校 P T A 代表
時枝直樹	一関市教育委員会 教 育 長

<事務局>

氏名	所属・職名
八木浩司	一関市教育委員会 副参事兼学校教育課長
阿部和人	一関市教育委員会 指導主事
藤村和弘	一関市教育委員会 指導主事
柴田典夫	一関市教育委員会 指導主事
藤村誠毅	平泉町教育委員会 指導主事

2 一関市就学支援委員会

(1) 目的

特別な教育的支援を必要とする就学予定者、児童、生徒（以下「要支援児等」という）について適切な教育的対応を行うため。

(2) 業務

① 要支援児等の障がいの程度について専門的な検査診断を行い、特別支援学校又は特別支援学級への就学または入級に係る適正な判断を行うこと。

② 要支援児等に対する教育的対応について、適切な相談、助言及び支援を行うこと。

(3) 委員

	分類	所属	職名	氏名	備考
1	病院	岩手病院	医師	平野 貞夫	委員
2		南光病院	院長	稲 富 浩	委員
3	特別支援学校	一関清明支援学校	副校長	安久都 靖	委員
4			教諭	小笠原 志律	委員・調査員
5			教諭	伊 藤 起子	委員・調査員
6			教諭	小野寺 薫	委員・調査員
7	関係機関【市】	こども家庭課	療育指導員	小野寺 久美	調査員
8		こども家庭課	療育指導員	佐藤 千萩	調査員
9		こども家庭課	主任保健師	熊谷 聡美	委員・調査員
10		こども家庭課	幼児期特別支援コーディネーター	細川 彩子	委員・調査員
11		こども家庭課	幼児期特別支援コーディネーター	舘 澤 暁美	委員・調査員
12		北部健康推進室	保健師	及川 綾香	調査員
13		東部健康推進室	主任保健師	千葉 亮宗	調査員
14	幼稚園	真滝幼稚園	園長	千葉 登美	委員
15	小中学校 (校長)	山目小学校	校長	菊池 正人	委員 長
16		南小学校	校長	山村 淳	委員
17		大東小学校	校長	真壁 岳夫	委員
18		千厩小学校	校長	伊東 洋司	副委員 長
19		萩荘中学校	校長	村上 正和	委員
20	小中学校 (教諭)	山目小学校	教諭	金野 佳代子	調査員
21		山目小学校	教諭	菊地 由佳	調査員
22		南小学校	教諭	吉田 道子	調査員
23		花泉小学校	教諭	沼倉 みか子	調査員
24		花泉小学校	教諭	鈴木 昇	調査員
25		大東小学校	教諭	伊藤 さゆり	調査員
26		藤沢小学校	教諭	千葉 尋美	調査員
28		一関小学校	特別支援教育コーディネーター	高橋 由紀子	調査員

事務局	一関市 教育委員会	教育部次長兼学校教育課長	八木 浩司	
		主任指導主事	久保木 賢	一関地域担当
		指導主事	八重樫 陽子	一関地域担当
		指導主事	阿部 和人	大東・東山地域担当
		指導主事	藤村 和弘	千厩・室根地域担当
		指導主事	柴田 典夫	花泉・川崎・藤沢地域担当
		特別支援コーディネーター	佐藤 伸哉	西地区担当
		特別支援コーディネーター	須藤 壽弘	東地区担当

3 一関市生徒指導推進連絡協議会

(1) 目的

児童生徒の健全育成と非行防止の強化を図ることを目的とする。

(2) 事業

- ① 児童生徒の健全育成と非行防止に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。
- ② 健全育成対策と非行防止の調査研究に関すること。
- ③ その他目的達成のために必要な事業に関すること。

(3) 構成員

【顧問】

一関市教育委員会	教 育 長	時 枝 直 樹
一 関 警 察 署	署 長	阿 部 好 暢
千 厩 警 察 署	署 長	水 沼 正 彦

【委員】

組 織 名	役 職	所 属	職 名	氏 名
一関地域学校警察連絡協議会	会 長	舞 川 中 学 校	校 長	今 川 晋
花泉地域生徒指導連絡協議会	会 長	花 泉 中 学 校	校 長	佐 藤 拓 史
大東地域生徒指導連絡協議会	会 長	大 東 中 学 校	校 長	菅 原 正 浩
千厩地域生徒指導連絡協議会	会 長	千 厩 中 学 校	校 長	菊 池 弘 明
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	会 長	東 山 中 学 校	校 長	藤 原 洋
室根地域学校警察等連絡協議会	会 長	室 根 中 学 校	校 長	菅 原 宰 喜
川崎町生徒指導連絡協議会	会 長	川 崎 中 学 校	校 長	眞 島 繁 明
藤沢地域生徒指導連絡協議会	会 長	藤 沢 中 学 校	校 長	大 川 憲 一
県南生徒指導連合会	会 長	花 泉 高 等 学 校	校 長	橋 本 ゆかり
所 属	職 名・氏 名			
一 関 警 察 署	生 活 安 全 課 長			吉 田 直 樹
千 厩 警 察 署	生 活 安 全 課 長			伊 藤 佳 代
県 南 教 育 事 務 所	在 学 青 少 年 指 導 員			北 村 正 俊
一 関 市 教 育 委 員 会	副 参 事 兼 学 校 教 育 課 長			八 木 浩 司

【事務局】

組 織 名	役 職	所 属	職 名	氏 名
一関地域学校警察連絡協議会	事務局長	舞 川 中 学 校	副 校 長	岸 田 真 一
花泉地域生徒指導連絡協議会	事務局長	花 泉 中 学 校	教 諭	仙 内 弘
大東地域生徒指導連絡協議会	事務局長	大 東 中 学 校	副 校 長	菊 池 啓 志
千厩地域生徒指導連絡協議会	事務局長	千 厩 中 学 校	副 校 長	高 橋 走
東山地域生徒指導・学校警察連絡協議会	事務局長	東 山 中 学 校	副 校 長	村 上 花 恵
室根地域学校警察等連絡協議会	事務局長	室 根 中 学 校	副 校 長	那 須 聡
川崎町生徒指導連絡協議会	事務局長	川 崎 中 学 校	副 校 長	高 木 由 子
藤沢地域生徒指導連絡協議会	事務局長	藤 沢 中 学 校	副 校 長	菅 野 太 郎
県南生徒指導連合会	事務局長	花 泉 高 等 学 校	教 諭	新 岡 秀 一 郎
所 属	職 名・氏 名			
一 関 市 教 育 委 員 会	副 参 事 兼 学 校 教 育 課 長			八 木 浩 司
	学 校 教 育 課 主 任 指 導 主 事			久 保 木 賢
	学 校 教 育 課 指 導 主 事			藤 村 和 弘
	学 校 教 育 課 指 導 主 事			柴 田 典 夫

4 一関市いじめ問題対策連絡協議会

(1) 目的

いじめの防止等（いじめ防止、いじめの早期発見及びいじめの対処）に関する関係機関の連携推進を図るため、一関市いじめ問題対策連絡協議会を設置する。

(2) 所掌事務

- ① いじめの防止等に係る情報共有に関すること。
- ② いじめの防止等に係る関係機関等の連絡の推進に関すること。
- ③ その他いじめの防止等に関し必要と認める事項に関すること。

(3) 委員

所 属	職 名	氏 名	備 考
一 関 児 童 相 談 所	主 任 児 童 福 祉 司	石 田 俊 幸	
盛 岡 法 務 局 水 沢 局	総 務 課 長	白 岩 英 仁	
一 関 警 察 署	生 活 安 全 課 長	吉 田 直 樹	
千 厩 警 察 署	生 活 安 全 課 長	伊 藤 佳 代	
花 泉 小 学 校	校 長	門 田 徹	
舞 川 中 学 校	校 長	今 川 晋	
県 南 教 育 事 務 所	指 導 主 事	菊 地 光 史	
県 南 教 育 事 務 所	在 学 青 少 年 指 導 員	北 村 正 俊	
一 関 市 健 康 こ ど も 部	次 長 兼 こ ど も 家 庭 課 長	及 川 久 美 子	
一 関 市 教 育 委 員 会	教 育 長	時 枝 直 樹	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	小 山 祐 二	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	渡 邊 淳	
一 関 市 教 育 研 究 所	教 育 相 談 員	及 川 輝 美	

【事務局】

所 属	職 名	氏 名	備 考
一 関 市 教 育 委 員 会	副 参 事 兼 学 校 教 育 課 長	八 木 浩 司	
	主 任 指 導 主 事	久 保 木 賢	
	指 導 主 事	八 重 樫 陽 子	
	指 導 主 事 (担 当)	柴 田 典 夫	

5 一関市学校給食センター運営委員会

市内学校給食センターを適正かつ円滑に運営するため、保護者代表・学校長・学識経験者を委員として委嘱し、学校給食に係る運営全般、衛生管理、食育、地産地消などの諸問題について情報交換を行い、各地域との相互連携を図りながら、望ましい学校給食のあり方を協議する。

一関市学校給食センター運営委員名簿（令和6年度～令和7年度）

（順不同・敬称略）

No.	氏名	所属	区分
1	青 沼 徹	巖美中学校長	西部給セ 校長代表
2	小笠原 浩	赤荻小学校長	西部第二給セ 校長代表
3	今 川 晋	一関舞川中学校長	真滝給セ 校長代表
4	佐 藤 拓 史	花泉中学校長	花泉給セ 校長代表
5	藤 原 洋	東山中学校長	大東給セ 校長代表
6	伊 東 洋 司	千厩小学校長	千厩給セ 校長代表
7	小 岩 勇 樹	巖美小学校PTA会長	西部給セ 保護者代表
8	佐 藤 翼	平泉中学校PTA副会長	西部第二給セ 保護者代表
9	菊 池 利 行	滝沢小学校PTA会長	真滝給セ 保護者代表
10	小野寺 千 絵	花泉中学校PTA副会長母親委員長	花泉給セ 保護者代表
11	伊 東 研 二	大原小学校PTA会長	大東給セ 保護者代表
12	三 浦 雄 太	川崎中学校PTA副会長	千厩給セ 保護者代表
13	佐 藤 律 子	一関市食生活改善推進員協議会 会長	学識経験者
14	岩 館 幸 司	一関保健所環境衛生課 技術主幹兼環境衛生課長	学識経験者
15	三 上 貴 史	県南教育事務所 指導主事	学識経験者
16	小野寺 嘉 奈	一関市農林部生産流通課 課長補佐兼地産地消・外商係長	学識経験者

※ 任期：令和8年3月31日まで

6 一関市幼・小・中・高・特・高専・大学校運営推進協議会

(1) 目的

一関市の幼稚園の園長、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、工業高等専門学校校長、及び大学の学長等が、それぞれの教育の諸問題について情報を交換するとともに、共通の課題を明らかにし、その解決の方策を協議することにより、地域における一貫した教育の推進体制の充実に資する。

(2) 所掌事項

推進協議会は、学校教育に関する情報交換、研究協議、研修及び推進体制の整備等を行う。

- ① 豊かな心を育成する道徳教育の充実に関すること。
- ② 健全な個性の育成を図る生徒指導の改善に関すること。
- ③ 学力向上を図る学習指導の改善に関すること。
- ④ 体位・体力の向上及び健康教育の推進に関すること。
- ⑤ その他学校教育に関すること。

(3) 役員・運営委員

役職	氏名	職名
会長	金里 徹	東山小学校長
副会長	勝部 孝行	桜町中学校長
	三浦 立	一関第一高等学校長
運営委員	高橋 仁省	花泉こども園長
	千葉 敏之	赤荻幼稚園長
	小林 淳哉	一関工業高等専門学校長
	吉瀬 献策	修紅短期大学長

7 一関市奨学生選考委員会

一関市奨学金は、一関市に住所を有する者の子女であって、高等学校以上の学校に在学し、経済的な理由により就学が困難な者に対し一関市奨学金を貸与し、人材を育成することを目的とする。

- (1) 奨学金の額
- | | |
|--------------|------------|
| 高等学校等に在学する者 | 月額 12,000円 |
| 高等専門学校に在学する者 | 月額 20,000円 |
| 大学等に在学する者 | 月額 45,000円 |

- (2) 令和6年度の貸与の状況（令和6年6月1日現在）

※基準日時点において募集中のものは含まれていない。

区 分	高校生等(人)	高 専 生(人)	大学生等(人)	計 (人)
新 規	4	3	21	28
継 続	3	0	80	83
計	7	3	101	111

- (3) 奨学生選考委員会委員

委 員 長	勝 部 孝 行	委 員	佐々木 裕 子
委員長職務代理者	村 上 正 和	委 員	伊 師 みゆき
委 員	三 浦 立	委 員	岩 本 孝 彦
委 員	藤 田 一 彦		

Ⅶ 令和6年度 一関市教育研究所の運営について

1 運営方針

- 1 本市における教育課題に対応した調査研究や、教員の資質・能力の向上、学力向上の取り組みへの指導・助言などの学力向上推進事業を行うことにより、本市の学力の向上に努める。
- 2 児童生徒の学校適応を図るための教育実践や教育相談事業、各園・各校と連携した指導・援助などの教育相談事業を行うことにより児童生徒の健全育成に努める。
- 3 教育の今日の課題や授業の改善に対応した研究・研修を行うことにより、教員の資質向上と指導力の育成に努める。
- 4 教育に関する資料の収集・整備・保存や教育情報発行等の充実を図り、研究・研修活動に対する資料提供に努める。

2 運営の重点

- 1 本市における教育課題等に係る調査・研究・実践の推進
- 2 教員の資質・能力の向上、学力向上推進対策の助言・指導・支援
- 3 児童生徒の不登校等の学校不適応や生徒指導上の課題に係る実態把握・助言・指導・支援
- 4 わかる授業づくりに関する研修（講演会、拡大校内研等）の実施

3 運営組織

1 運営委員会

- (1) 運営委員は、9名とし、教育委員会がこれを委嘱する。
- (2) 運営委員会は、必要に応じ開催し、所長より提案された事項について協議し、運営委員会の意見を集約して具申する。

2 研究所員

- (1) 研究所員は以下の担当者で構成する。
 - ア 所 長：学校教育課長
 - イ 所長補佐：学習専門員または教育相談員から1名
 - ウ 所 員：学校教育課担当者、学習指導専門員、教育相談員、外国語指導専門員、ICT指導員
- (2) 研究所担当指導主事が研究所の主務にあたる。

3 研究員

- (1) 部会を設定し、研究員による研究活動を行う。(R6年度3部会)
- (2) 研究員は、部会に必要な人数を募集し、教育委員会がこれを委嘱する。
- (3) 研究員は、所長の命を受け、教育に関する専門的・技術的事項の研究に従事する。
- (4) 研究員は、各園、各学校の教育実践に役立てるため、必要に応じて実証的研究を行い、その結果を研究授業や研究報告書等をもって提示する。

4 組織・機構図



VIII 令和6年度 一関市教育研究所事業概要

1 運営の方針及び重点に基づく各事業内容

1 調査研究の推進と学力向上・指導力向上に関する指導助言【学習指導専門員担当事業】

- (1) 全国学力・学習状況調査、岩手県学習状況調査、C R T等により児童生徒の学習の定着状況を的確に把握するとともに、児童生徒の学習の定着状況に応じた指導方法の工夫改善に取り組む。
 - ・知能検査、C R Tの実施
 - ・学力向上に関する資料作成
- (2) 各学校を訪問し、授業参観を通しての指導・助言や各学校の学力向上の取り組みへの指導・助言を行う。
 - ・学力向上推進事業

2 学校適応と教育相談等の充実【教育相談員担当事業】

- (1) 児童生徒の不登校等学校不適応に関する実態を把握し、その解決に向けた教育実践に取り組む。
- (2) 不登校等学校不適応に関する教育相談事業の充実を図る。
 - ・子ども悩みごと教育相談
 - ・自然体験活動
 - ・適応支援教室「たんぼぼ広場」の開設
 - ・適応支援相談員会議の開催
- (3) 児童相談所、特別支援学校、警察等関係機関との連携を図る。

3 教員の資質向上と指導力育成【研究所事務局（指導主事）担当事業】

- (1) 本市における教育課題及び教育の今日的課題に対応した研究員研究を行う。
 - ① 架け橋期接続部会
 - ② ことばのテキスト「言海」編集部会
 - ③ I C T部会
- (2) 教育の今日的課題に対する見識を高めるために教育講演会を実施する。
- (3) 拡大校内研究会を継続する。

4 教育情報の提供、資料の整備

- (1) 教育実践「いちのせき」、研究報告書等を作成し、研究の成果を広めることに努める。
- (2) 日常の教育実践及び学校における教育研究推進に役立つよう研究資料の収集、整備、提供等のサービスに努める。

2 令和6年度事業計画

月	運営委員会	学力向上推進事業	教育相談事業	研究員研究	研修会	拡大校内研	諸検査	その他
4	第1回	学力向上資料配布 学校訪問開始 各校の学力向上対策提出	たんぼぼ広場開設 悩みごと教育相談 学校訪問開始				知能検査	
5				研究員会議		一覧表配布		研究所連盟総会
6			適応支援相談員会議	研究部会(随時)		参加(随時)		
7			夏季自然体験活動					
8								
9			秋季自然体験活動					研究所連盟研修会
10								
11			適応支援相談員会議					
12							CRT	
1	第2回	教育実践いちのせき19号		↓	研修会	↓		
2				成果物公表				県研究発表大会

3 各事業計画

1 学力向上推進事業（学習指導専門員）

- (1) 各学校の「学力向上推進対策」並びに授業参観を通して「構造的板書とテンポよい授業」等に関する各担任・教科担任等への助言・指導
- (2) 学力向上に関する資料並びに調査・研究に関する資料作成

2 教育相談事業（教育相談員）

- (1) 子ども悩みごと教育相談
 - ・窓口相談（「悩みごと相談電話」の設置、電話・来所・訪問による相談）
 - ・訪問相談（各小中学校に年間4回訪問、支援を必要とする小中学校に随時）
- (2) 自然体験活動（年2回実施）
- (3) 教育支援センター「たんぼぼ広場」の開設（週2日、火・木 9:00～12:00）
- (4) 適応支援相談員会議（年2回実施）

3 研究員研究（予定）

- (1) 架け橋期接続部会
 - ア 目的 「幼保小の架け橋プログラム」実施にかかり、架け橋期のカリキュラムの内容について検討・開発を行う。
 - イ 構成 幼稚園・こども園教諭5名、小学校教諭3名
- (2) ことばのテキスト「言海」編集部会
 - ア 目的 小学校における現行使用国語教科書の改訂に係り、ことばのテキスト「言海」もそれに準じた再編集、改定等を行う。
 - イ 構成 小学校教諭6名
- (3) ICT部会
 - ア 目的 ICT活用の充実をはかるため、部員がICT活用に係るモデル授業を行い、実践事例を提示する。
 - イ 構成 小学校教諭3名、中学校教諭3名

4 研修会

- (1) 目的 市内幼稚園・こども園・小学校・中学校の教職員を対象に、教育の今日的課題に対する見識を高める立場から講演等を実施し、教職員の資質の向上に資する。
- (2) 日時 令和7年1月7日(火) 13時00分～16時30分(予定)
- (3) 会場 一関文化センター大ホール(予定)
- (4) 対象 市立幼稚園・こども園・小学校・中学校教職員、教育関係者
- (5) 内容
- ・教育長講話
 - ・部会研究発表(3部会×各15分=45分)
 - ・阿部 隆幸寿氏(上越教育大学教職大学院 教授)
※学級づくり、授業づくりに関する講演(予定)

5 拡大校内研究会の継続

- (1) 目的 他校の教員に広く授業公開することで、校内研修を活性化させるとともに、市内の教員の資質向上と指導力向上及び校種連携を図る。
- (2) 概要
- ・各園、各校における研究会のうち、指導主事派遣事業を拡大校内研として位置付ける。
 - ・拡大校内研案内(5月に年間一覧表を配布)で実施学校、学年、教科、授業者を周知する。
 - ・申込みは当該校間で行う。

6 諸検査

- (1) 知能検査
- ア 期日 4月(4/8～4/26の期間で実施)
- イ 対象 小学校第2学年・第5学年、中学校第1学年
- (2) CRT
- ア 期日 12月(12/2～12/16の期間で実施)
- イ 対象 小学校第1学年～第6学年(国語・算数)
- ウ その他
- ・採点処理は、業者に委託
 - ・各学校では、検査結果を分析し、年度内の指導に生かす。

7 研究刊行物

- ・教育実践「いちのせき」19号

